

官報

號外

大正十五年二月二十二日 月曜日

內閣印刷局

○第五十二回衆議院議事速記第十九號

大正十五年二月二十一日(日曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第十八號

大正十五年二月二十一日

午後一時開議

- 第一 所得稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第二 大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第三 地租條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第四 明治三十七年法律第十二號中改正法律案(地租徵收ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第五 營業稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第六 營業收益稅法案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第七 資本金子稅法案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第八 相續稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第九 通行稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第十 酒造稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第十一 酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第十二 麥酒稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第十三 醬油稅則廢止法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)

- 第十四 自家用醬油稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第十五 織物消費稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第十六 賣藥稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第十七 骨牌稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第十八 清涼飲料稅法案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第十九 大正九年法律第五十一號中改正法律案(朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第二十 地方稅ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第二十一 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第二十二 市町村稅地租法案(山本健二郎君外十三名提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第二十三 市町村稅地租法ノ施行ニ關スル法律案(山本健二郎君外十三名提出) 第一讀會/續(前會/續)
- 第二十四 市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(床次竹二郎君外十三名提出) 第一讀會/續(前會/續)

○議長(柏谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
特別都市計畫法中改正法律案
提出者

- 關 直彦君 橫山勝太郎君
- 田崎 信藏君 高木 正年君
- 高木益太郎君 作間 耕逸君
- 佐々木安五郎君 林田龜太郎君
- 土屋清三郎君

京都市ニ關スル法律案
提出者

- 森田 茂君 鷺野米太郎君
- 田崎 信藏君 川崎安之助君
- 長田 桃藏君 村上 國吉君
- 木戶 豐吉君

舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案
提出者 大石 大君
(以上二月二十日提出)

戰病者遺族並廢兵ノ子弟ニ對シ官公立學校授業料減免ニ關スル建議案
提出者

- 松井 郡治君 山田 助作君
- 吉原 義雄君 中村 貞吉君
- 關矢 孫一君 山田 又司君
- 石塚 三郎君 石黒大次郎君
- 建部 遜吾君

越美線速成ニ關スル建議案
提出者

- 谷口宇右衛門君 土生 彰君
- 山口 嘉七君

報德社普及獎勵ニ關スル建議案
提出者

- 山宮 藤吉君 平野 光雄君
- 鹿兒島縣大島郡救済ニ關スル建議案
提出者 崎 苗代君

(以上二月二十日提出)

花柳病豫防法制定ニ關スル建議案
提出者

- 宮島幹之助君 山谷徳治郎君
- 八木 逸郎君 富田愿之助君
- 加藤謙五郎君 宜保 成晴君
- 大城幸之一君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
店舖飾窗損壞行為制裁の立法ニ關スル質問主意書
提出者 加藤 十四郎君
(以上二月二十日提出)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕
一昨二十日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ如ク變更セリ

- 三九 高橋 光威君
 - 二〇六 矢野 鈺吉君
 - 二一八 八並 武治君
 - 二一九 高田 耘平君
 - 二二〇 降旗元太郎君
 - 二二一 本田 恒之君
 - 二二二 片岡 直温君
 - 三〇〇 工藤 鐵男君
 - 三〇四 小野 寅吉君
 - 三六四 折原巳一郎君
 - 三六五 清水市太郎君
 - 三六七 八木 逸郎君
 - 四一八 山本 勝次君
 - 四一九 宮島幹之助君
- 一昨二十日鐵道敷設法中改正法律案委員佐藤重遠君高見之通君辭任ニ付其ノ補闕トシテ長峰與一君九山浪彌君ヲ、輸出生絲檢査法案委員岡本實太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ加藤六藏君ヲ、關稅定率法中改正法律案委員高橋光威君辭任ニ付其ノ補闕トシテ田中隆三君ヲ、勞働爭議調停

第七 資本利子税法案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第八 相續税法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第九 通行税法廢止法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第十 酒造税法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第十一 酒精及酒精含有飲料税法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第十二 麥酒税法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第十三 醬油稅則廢止法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第十四 自家用醬油稅法廢止法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第十五 織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第十六 賣藥稅法廢止法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第十七 骨牌稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第十八 清涼飲料稅法案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第十九 大正九年法律第五十一號中改正法律案(朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第二十 地方稅ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第二十一 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第二十二 市町村稅地租法(山本悌二郎君外十三名提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第二十三 市町村稅地租法ノ施行ニ關スル法律案(山本悌二郎君外十三名提出)

第一讀會ノ續(前會ノ續)

第二十四 市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(床次竹二郎君外二

十三名提出) 第一讀會ノ續(前會ノ續)

(湯淺凡平君登壇)

○湯淺凡平君 諸君、私ハ近時議院ニ於ケル言論ノ傾向ハ、動モスレバ一局部ニ偏シテ大局ヲ顧ミズ、枝葉末節ニ因ハレテ根本ヲ忘ル、ノ憾アルコトヲ甚ダ遺憾トスル者デアリマス(同感ニ同感)ト呼フ者アリ。昨日政友會諸君ノ御演說ヲ承リマシテ、私ハ一層其感ヲ深クセザルヲ得ナカッタノデアリマス(論旨ハ凡平ナリ)ト呼フ者アリ。笑聲起ル。政友會諸君ノ御演說ヲ承リマス。此議題トナッテ居ル所ノ稅制整理案ノ内容ニ付テ、箇々ノ問題ニ互リ、或ハ法文ノ末節ニ付テ、種々ナル御意見ヲ承、タノデアリマス。果シテ要旨何レニ在リヤヲ知ルニ苦シクデアリマス。諸君、或ハ此内閣ハ何故ニ國民負擔ノ輕減ヲ爲サ、ルヤト云フコトノ御議論デアリマス。吾々モ此國民負擔ノ輕減ニ觸レザル點ニ於キマシテ、致シマサルガ、免ニ角政友會諸君ノ口ヨリ此議論ヲ承ルト云フコトハ、吾々甚ダ意外ニ感ズル者デアリマス(拍手)今日ノ國民ノ負擔ノ過重ナルコトハ論ズルマデモナイノデアリマス。併ナガラ此過重ナル所以ノ原因ハ抑、何レニ在ルノデアリマセウカ、諸君、政友會内閣ハ我國財政ノ最モ好調ナル時代ニ於キマシテ、五箇年ノ間政權ヲ執、テ居ラレタノデアリマス。其時ニ於ケル所ノ財政狀態ハ、當時ノ高橋藏相ノ……(此時發言スル者多シ)

○議長(柏谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○湯淺凡平君(續) 言葉ヲ藉リテ申シマスレバ、政府ハ金ガ餘リテ豫算ノ無キニ苦シクデ居ルトマデ放言ヲサレタノデアリマス。此時代ニ於テ何故ニ國民負擔ノ輕減ヲ行ハレナカッタノデアリマセウカ(拍手)殊ニ先日来、本案委員會ノ質問ノ中ニ於キマシテモ、三土君ハ今日ノ我國ノ財政及經濟ノ上ニ於キマシテ、減稅ヲ爲スノ餘地ハ無キモノデアリ、然ルニ拘ラズ濱口大藏大臣ハ在野時代ニ於テ國民負擔ノ輕減ヲ要求サレ

テ、ソレガ今日果シテ如何デアルカ、負擔ノ輕減ノ餘地ナキコトヲ今日初メ認メラレタデアラウト云フコトヲ述ベラレテ居ルデアリマス。併ナガラ斯ノ如ク三土君ノ述ベタル、反對ニ於テ、大口君ノ御議論ヲ承リマスレバ、今日ノ我國國民負擔ノ増額致シタル所以ノモノハ、多ク各省割據ノ弊ニ歸スルモノデアリ、即チ豫算ノ分捕ヲ行フト云フガ如キ事實ニ依、テ、此國民ノ負擔ガ過重サレタノデアルト云フ御意味ノ意見ヲ承、タノデアリマス。是ニ於テ乎私ハ三土君ノ減稅ノ餘地ナシト言ハル、コトガ是ナルノデアルカ、大口君ノ今日ノ國費ノ中ニハ大ニ節減スベキ餘地アリト云フ意味ヲ述ベラレタノガ非デアアルカヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス。私ハ大口君トハ永年ノ間同政黨ニ屬シテ、此政友會ガ全盛時代ニ於キマシテ、金ガ餘リテ豫算ノ無イト云フ其時代ニ於キマシテ、屢、此負擔ノ輕減ヲ行ハネバナラヌト云フコトヲ切論ヲ致シ、此問題ニ依、テ當時ノ内閣ヲ彈劾ヲ致シタコトモアルノデアリマス。然ルニ此今日ノ政友會ニ於テ、此政友會内閣ノ末ヲ承ケタル今日ノ在野黨ノ政友會ガ、今ノ内閣ニ向、テ減稅ヲ要求サレタノデアリマス。朝野位置ヲ異ニスルハ申シナガラ、其餘リニ現金ナルニ驚カザルヲ得ヌノデアリマス(拍手)併ナガラ今日ノ國民負擔ノ輕減ヲ要求スルコトハ、決シテ不可ナル事デハナイノデアリ、人ニ依、テ私ハ言フ乘テハナイデアリマセウカ。政治家ノ言責ヲ問ハレル、即チ濱口藏相ガ在野時代ニ於キマシテ減稅ヲ主張サレタコトガ朝ニ立、チ之ヲ實行スルコトガ出来ナイト非難サル、ナラバ、然ラバ政治家ノ責任ハ決シテ野ニ在ル者ガ朝ニ立、チ時ニ於テ重シズル必要ガアルバカリデナイ。朝ニ立、チ居ル所ノ政治家ガ野ニ下、チ時ニ於テモ、其言論ニ責任アルコトハ同一デアラウト思フノデアアル(拍手)色ミト承、タノデアリマス。色ミト承、タノデアリマス。要スルニ政友會諸君ノ委員會ニ於テ、又本會議ニ於テ別扶サレタ所ノ政府案、或ハ修正案ノ點ハ

其一部分ハ吾々モ認メルモノデアアル、認メルガ故ニ所謂修正案ニ於テ之ヲ修正ヲ致シテ居ル、他ノ多クノ箇條ハ所謂法文ノ枝葉末節ニ過ギザレバ、此法律ヲ實行スル上ニ於テハ困難ガアルデアラウト云フ御心配ニ過ギナイ、政府ガ色ミ此法案ヲ實行スル上ニ於テ困難ガアラウ、之ニ對スル所ノ好意ノ同情アル御忠告トハ承、テ置クコトガ出来マス、ケレドモ此案ニ付キマシテノ根本的ノ反對理由トスルコトハ出来ヌノデアリマス。要スルニ政友會諸君ノ此案ニ對スル御議論ノ根本ハ地租委讓ナリ、地租委讓ヲ基調トスル所ノ稅制整理案ヲ作ルガ爲ニ、一先ヅ此稅制整理案ヲ返上スルト云フコトニ歸著スルモノト私ハ思フノデアリマス。併ナガラ諸君、此稅制案ノ返上論ハ、嘗テ吾々ガ屢、政友會内閣ニ向、テ求メ、而シテ政友會諸君ガ此問題ニ對シテ熱烈ナル反對ヲ爲サレタ、其同軌道ヲ辿ルモノデアアルト思ハネバナラヌノデアリマス。當時吾々少數黨デアアルガ爲ニ、此豫算ニ關スル所ノ立法ヲ爲シ、或ハ豫算ニ關スル所ノ組立ヲ爲スガ如キ事ハ、吾々ノ得テ爲シ能ハザルモノデアアルガ故ニ、已ムヲ得ズ一先ヅ豫算ヲ返上スベシト云フノ議論ヲ爲シタノデアリマス。併ナガラ今日ノ政友會ハ屢、内閣ヲ組織シ、多士濟々タル所ノ大多數黨、而モ近日此内閣ヲ倒シテ己レ取、テ代ラント種々ノ計畫ヲ運ラシテオキデニナル所ノ政友會ガ、今日ニ至、テ當テ反對爲サレタ所ノ稅制整理案返上論ヲ殆ド軌ヲ同ジスル所ノ稅制整理案返上論ヲ爲サルト云フコトハ、吾々ノ甚ダ解スルニ苦ム所デアリマス(拍手)諸君、又政友會諸君ハ租稅ノ體系ニ付テ御議論ニナッテ居リマス。現内閣ノ立テタ所ノ租稅體系ハ或ハ議論ノ餘地ガアリマセウカ、議論ノ餘地ハアリマセウカ、恐ラクハ今日マデ更ニ稅制ノ體系トシテ認ムベキモノ無カリシ我國ノ稅制ニ於テ、免ニモ角ニモ一貫シタル所ノ體系ヲ定メタコトハ、吾々之ヲ認メナケレバナラナイノデアリマス(拍手)全體我國ノ稅制ハ體系ニ基イテ租稅ノ制度ノ立テラレタモノデハナイ、所謂國家ノ必要

ニ應ジテ國民ニ負擔ヲ課シタノデアリマス、ソレ故ニ現行ノ稅制ニ於キマシテハ、極メテ不合理ナモノガアルト同時ニ、國民ノ負擔ニ於テ不均衡ナルモノ、過重ナルモノアルコトハ申ス迄モナイノデアリ、之ニ向テ一貫シタル所ノ體系ヲ定ムルコト云フコトハ、最も必要ナコトデアリト云フマス、然ルニ此體系論ニ對シテ御非難ハ爲サルケレドモ、然ラバ政友會ハ果シテ如何ナル體系ヲ立テ積リデアアルコト云フコトノ御議論ハ承ラナイノデアリマス(拍手)地租ヲ委讓スベシ、吾々モ此地租委讓論ニハ贊成デアリマス——地租委讓論ハ贊成デアリマス、此地租委讓論ハ政友會諸君ニ依リテ吾々ハ初テ承ルモノデハナイ、政友會ヨリ以前ニ、吾々國民黨八十數年ノ昔ヨリ此地租委讓論ヲ唱ヘタノデアリ、而モ吾々ノ先輩タル所ノ犬養先生ガ山本内閣ニ列セラレテ、續イテ政友會諸君ト聯立ノ内閣ヲ組織セラレタル時ニ於キマシテ、吾々ハ所謂多年ノ言責上、責任ノ地位ニ立テラレタル所ノ犬養先生ハ、其内閣ニ於テ地租委讓ノ問題ハ、必ズ實行ヲ爲サレナケレバナラヌ責任ガアルト心得テ、屢、犬養先生ニ此事ヲ御諮リ致シタルトキモ、犬養先生ハ吾々ニ教ヘテ曰ク、地租委讓、營業稅ノ地方委讓ハ爲スベキモノデハアルケレドモ、震災ノ結果、今日ノ財政ニ思ハザル所ノ非常ナル變化ヲ生ジタル此場合ニ於ケル、地租委讓論ヤ、營業稅ノ地方委讓ハ出來ルモノデハナイト、斯様ニ述ベラレタ、此事ハ吾々同僚悉ク之ヲ諒ト致シテ、震災善後ノ始末ノ付クマデハ、先少地租委讓ハ延期スベキモノデアルト云フ確信ヲ得タノデアリマス(拍手)然ルニ事ハ昨年ノ三月ノ問題デアリ、越エテ僅カ五月ニ至リマシテ、突然トシテ吾々ノ同僚諸君ノ参加サレタル政友會諸君ノ間カラ、地租委讓ノ即行論ノ出ルト云フコトハ、私共亦之ヲ甚ダ遺憾ト致シタノデアリマス(拍手)私ハ政友會諸君ノ所謂其稅制返上論ニ對スル所ノ一ツノ條件、即チ地租ヲ地方ニ委讓スベシト云フ御議論ノ根據ハ、要スルニ今ノ政府ハ唯、國稅ノ整理ヲ爲ス

ニ急ニシテ、地方稅ノ整理ヲ固却致シテ居ルト云フ御議論デアアルト思フ、併ナガラ今日ノ稅制ノ整理ヲ爲スコトハ、單リ地方稅ノミヲ整理スルコトヲ以テ目的トスルモノニアラズ、吾々ハ無論國稅ノ整理ヲ爲スト同時ニ、地方稅ノ整理ヲ行ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ靜ニ今日ノ問題トナツテ居ル所ノ政府ノ稅制案ヲ見マスレバ、或ハ中央ニ偏シテ地方ヲ閉却シタル所ノ憾モアルノデアリマス、是ト同時ニ政友會ノ地租委讓論ナルモノハ、餘リニ地方稅ノ整理ニ急ニシテ、國稅ヲ全ク閉却シテ居ルモノト謂ハナケレバナラヌ次第デアリマス(拍手)昨日ノ御演說見マス、政友會ハ國稅ト地方稅トヲ合セテ整理スベシト云フコトヲ御要求ニナツテ居ルシガ、若シ政友會ノ今日マデ御述ニナリマシタル所ノ御論旨カラ申シマスレバ、斯ノ如キコトハ望ムモ實行不可能ノ問題デアリマス(拍手)僅ニ七千四百萬圓ノ地租ヲ地方ニ委讓シ、之ニ依リテ其半額ヲ國ラントスル爲ニ、其財源ニ於ケル輕減ヲ圖ラントスル爲ニ、其財源ヲ果シテ何所ニ御求メニナルノデアリカ、關稅ノ引上ニ於テ四千萬圓、公債ノ増發ニ依リテ三千万圓、等シク是レ増稅デハナイカ、關稅ノ增收ハ種々ノ議論ハアリマスケレドモ、免ニ角增加スル所ノ關稅ノ金額ガ、國民ノ負擔トナルコトハ勿論ノコトデアリマス、更ニ又公債ヲ増發スルコト何トモ御考ニナツテ居ラヌヤウデアリ、公債ト雖モ是亦一種ノ任意的稅稅デアアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、殊ニ又此政府ガ折角立テタル——私ハ此政府トハ申サナイ、即チ聯立内閣ガ確立致シマシタル所ノ公債政策、之ヲ根本ヨリ破壞ヲ致シ、而シテ之ヲ財源ノ一部ニ充テナケレバ、地租ダケノ地方委讓モ出來ナイ、即チ地方稅ノ整理モ斯ノ如ク爲サザレバ行ハレナイト云フ程、諸君ガ財源ニ窮シテ居ラレル今日ニ於テ、更ニ國稅ノ大整理ヲ行ハントスルモ、其財源ヲ果シテ何所ニ求メントスルノデアリマスカ(拍手)私共ハ自ら信ズル所ガアリマス、國稅モ地方稅モ同時ニ整理シ、且ツ國民負

擔ノ輕減ヲ爲スニ付テハ、財源ノ餘裕ハ紳々タルモノガアルコトヲ信ジテ居リマス、政友會諸君ノ如キ立論ノ下ニ於テハ、決シテ行ハレルモノデハナイ、若シ政友會諸君ニシテ、政府ノ爲ス所ヲ以テ一種ノ增稅ヲ圖ルモノナリト御非難ナサルナラバ、政友會諸君モ亦增稅ニ依リテ地方稅ノ整理ヲ行ハントスルモノデアアルト云フ結論ニ到著シナケレバナラヌノデアリマス(拍手)惟フニ：：○議長(粕谷義三君) 湯淺君一寸御待下サイ——此場合一言致シマス、只今上程サレテ居リマス議案ハ、申スマデモナク實ニ重大ナル議案デアリマスカラ、贊否共二十分ニ其論議ヲ御盡シニナリタイト思ヒマス、是ガ爲ニハドウゾ雙方共、互ニ靜肅ニ演說ヲ御聽取アラント希望致シマス(拍手)○湯淺凡平君(續) 惟フニ只今ノ政府ト云ヒ、將タ政友會ト云ヒ、稅制整理ニ關スル所ノ根本ノ缺陷ニ陷レテ居ラレルノデアリ、其缺陷トハ何デアアルカ、即チ昨年ノ議會ノ後ニ於テ、稅制整理ノ計畫ヲ立テラレル、其方針ニ於テ一ツノ誤ガアルノデアリ、此方針ハ決シテ現内閣ノミニ責任ニアラズ、所謂三派聯立内閣ノ連帶責任デアリ、其連帶責任ノ缺陷トハ、稅制整理ヲ行フニ付テ國民ノ負擔ヲ輕減スルコトヲ忘レテ、整理ノ結果ハ、國家ノ歲入ニ對シテ著シキ減少ナカラシムル上云フ此方針ガ、即チ今日ノ如キ矛盾極マル所ノ整理ノ結果ヲ見ルニ至ラントデアリマス、勿論斯ノ如キ結果ヲ見ルコトハ當然ノ次第デアリマス、此方針ニ付テ連帶責任ヲ有セラル、以上ハ、新ニ財源ヲ求メテ地方稅ハ勿論ノコト、國稅ヲモ整理スルコト云フ餘地ハ無イノデアリマス、是ニ於テカ私ハ問題ハ極メテ簡單デアルト思フ、即チ國家ノ歲入ニ著シキ減少ヲ生ゼシメズシテ、稅制ノ整理ヲ行ハント欲セバ、國稅ノ整理ヲ爲スカ、然ラザレバ地方稅ノ整理ヲ爲スカ、二者其一ヲ擇ブヨリ外ニ方法ハ無イノデアリ、而シテ政府ハ即チ國稅ノ整理ヲ行ハント欲シ、政友會ハ地方稅ノ整理ヲ行ハントスルニ過ギナイ、爭ハ此點ニ限ラレテ居ルノデアリマ

ス、吾々國民ノ一員トシテ見ルトキハ、國稅ガ前ニ整理セラレマシテモ、地方稅ガ前ニ整理セラレマシテモ、吾々國民生活ノ全體ノ上カラ考ヘマスレバ、何ノ程度ハナイノデアアル、諸君、政府ノ豫計サレタル國稅ノ整理ハ、私ガ申スマデモナク、種々ナル惡稅、或ハ非社會政策的ノ今日ノ租稅ヲ行フ廢稅、之ニ依リテハ八千萬圓ノ減稅ヲ行フト云フコトニ在ルノデアリマス、政友會ノ案ハ七千四百萬圓ノ地租ヲ地方ニ委讓シテ、地方ノ稅制ヲ整理スルノ財源ト爲サント欲スルノデアリマス、政友會諸君ハ、稅制ノ根本的整理ヲ後年ニ譲リ、當面ノ問題ト致シテ自作農ヲ保護シ、義務教育費ノ國庫負擔額ヲ増額センガ爲ニ、約五千萬圓ノ程度ニ於テ、國民負擔ノ輕減ヲ爲サントスルノデアリマス、是等ノ問題ハ、之ヲ國民負擔ノ大體カラ考ヘテ見マスルナラバ、吾々ハ殆ド論ズルニ足ラザル所ノ金額デアルト思フノデアリマス、御承知ノ通り今日ノ國民ハ、國稅ニ於テ約二十六億圓——特別一般ノ兩會計ヲ通ジテ約二十六億圓、之ニ地方費、十四億圓ヲ加ヘマシタルナラバ、實ニ四十億圓ノ巨額ニ達シテ居ルノデアリマス(發言スル者多シ)○議長(粕谷義三君) 更ニ諸君ニ靜肅ニ御聽アラントト希望致シマス○湯淺凡平君(續) 此四十億圓ノ負擔カラ考ヘテ見マスレバ、最高額ノ政府案ト雖モ、僅ニ其五十分ノ一ニ過ギナイ、政友會ノ案ニ至ラテハ五十二分ノ一ツコトデアリ、本黨案ニ至テハ、又七十分ノ一ニシカ當ラナイノデアリマス、果シテ國民ガ今日ノ稅制ニ期待スル所ノモノハ、斯ノ如ク五十分ノ一ヤ或ハ七十分ノ一ノ負擔ヲ輕減サレルト云フコトデ満足ヲスル者デアリマセウカ、私ハ政府ノ國稅中ニ於ケル所ノ惡稅ノ改廢ヲ行ハントスルコトハ、最も贊成スル所デアリマス同時ニ、政友會ノ地租ヲ地方ニ委讓シテ、之ニ依リテ地方ノ惡稅ヲ改廢セントスルコトニ固ヨリ反對デハナイ、況ヤ義務教育費ヲ國庫ノ負擔トシテ増加スルト云フコトハ最も吾々ノ贊成スル

所デアリマス、併ナガラ此三ノモノヲ一ノ
綜合シタル所ノ問題ト爲サズシテ、別々ニ
其一部分ヲ解決スルコト云フコトハ、吾々
ノ甚ダ不満足スル所デアリマス、此三ツ
ノ金額ヲ合計致シマスレバ、恐ラクハ二億
圓ニ達スルデアリマセウ、此二億圓程度ノ
減稅ガ行ハレテ居ルモノデアルトスルナラ
バ、稍、吾々ノ理想トスル所ノ稅制整理案
ニ近イモノデアリマス、斯ク吾々ガ申セバ、
左様ナ財源ハ果シテ何所ニ在ルカト問ハレ
ルデアリマセウ、之ニ答ユルコトハ極メテ
簡單明瞭デアリマス、即チ行政財政ノ整理
ヲ更ニ徹底ノ行ヒマスルナラバ、吾々ハ
二億圓ノ財源ヲ得ルコトハ決シテ難カラザ
ルモノデアルト思フデアリマス、此財源
ヲ調達スル上ニ於テハ、積極ノニハ私ノ主
張スル所ノ酒ノ專賣モアルデアリマセウ、
併ナガラ此問題ハ他日ノ問題トシテソレヲ
除キマシテモ、消極ノニハ行政ノ整理ヲ更
ニ徹底ノ行フナラバ、決シテ財源ノ無キ
ニ苦ムコトハナイデアリマス、諸君、昨
年三派内閣ハ所謂行政整理ヲ政綱ノ一ニ加
ヘ、著々トシテ其歩ヲ進メラレマシタケレ
ドモ、由テ得ル所ノ金額ハ僅ニ一億五千萬
圓、而モ其半額ハ事業ノ繰延ヲ爲シ、中止
ヲ爲シタニ過ギナイ、眞ニ政費ノ節約ヲ爲
シタル所ハ僅ニ六千八百萬圓ニ過ギナカ
タコトハ諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、
所謂泰山鳴動シテ鼠一匹ノ憾アツタコトヲ
免レナイデアリマス、ケレドモ此金額ニ
對シテ三土君ハ又曰ク、「此金額ハ實ハ無
理ヲシテ出シタル金額デアアル、今日ノ我國
ノ行政ノ上ニ於テハ決シテ冗費ノ節約スベ
キモノハ無イデアアルカラ、減稅ヲ爲スコ
トナドハ思ヒモ寄ラナイト述ベラレタノデ
ゴザイマス、諸君、今日ノ我國ノ行政事務
ノ上ニ於キマシテ、其取扱ニ大整理ヲ加ヘ
ル餘地アルコトハ、天下何人ト雖モ疑フ者
ハ無イデアリマス、事務ノ簡捷ヲ圖リ、
能率ヲ擧ゲル上ニ於キマシテハ、私ハ今日
ノ政府ノ義務ニ屬シ、或ハ法律ノ結果ニ屬
セザル所ノモノ、範圍ニ於テ、其三分ノ一
ヲ減ジ、若クハ半額ヲ減ズルコトハ決シテ

難クナイコトヲ確信シテ疑ハザル者デアリ
マス(ヒヤ) 既ニ斯様ナ餘地アリトスル
ナラバ、行政整理ヲ徹底ノニ行フテ財源ヲ
求メテ、國稅ト地方稅ト雙方ノ整理ヲ爲ス
コトハ決シテ難イ事デアリナイデアリマ
ス、併ナガラ私ハ今日ノ如キ現狀ノ下ニ於
ケル、此議會ニ向テ斯ノ如キ大英斷ヲ求
メルト云フコトハ、求メテモ得ベカラザル
所ノ事實デアルト思フ、吾々ノ理想ハ普通
選舉ヲ行ヒ、吾々ノ要求スル所ノ政黨ガ生
レ、吾々ノ要求スル所ノ政府ガ出來タ時デ
ナケレバ實現ヲ致サズ、吾々ハ昨年ノ八月、
吾々ノ革新俱樂部ノ事務對策トシテ天下ニ
公表シタル所ノモノガアル、即チ吾々ノ總テ
ノ國政ニ對スル所ノ理想ハ、期スル所種々
アリト雖モ、是ハ畢竟普通選舉實現ノ曉ニ
アラザレバ目ノ達スルコトガ出來ナイノ
デアリマス、サリトテ吾々ハ今日國民ノ倚
託ヲ受ケテ此議會ニ列シテ居ル以上ハ、今
日當面ノ事、現實ノ問題ニ對シテ之ヲ如何
ニ處理スルカト云フコトニ付テハ、又別ニ
考ヘナケレバナラヌ、即チ當面ノ問題ニナ
テ居ル所ノ地租ノ問題デアルトカ、或ハ法
律ノ問題デアルトカ、各種ノ問題ニ付テノ
所謂事務對策ナルモノヲ確立シナケレバナ
ラヌ、此事務對策ノ根本方針ト致シマシテ、
地租ニ於テハ相當ノ免稅點ヲ設ケ、義務教
育費ニ於キマシテハ益、之ヲ增加スル、又
行政ノ整理ヲ爲スト云フガ如キモ吾々ノ方
針ト致シテ居ル、而シテ此度此議會ヲ迎ヘ
テ、吾々ノ事務對策デアアル所ノ稅制整理ノ
問題ニ付テ、吾々ノ意見ヲ定メナケレバナ
ラヌデアアル、然ラバ吾々ノ理想ヲ離レ、
吾々ノ期待ヲ離レテ、徐ロニ今日ノ問題ニ
即シテ、吾々ガ態度ヲ決スル上ニ於キマシテ
ハ、其自ラノ結論ト致シマシテ、委員長報
告ノ修正案ニ賛成ヲスルト云フコトハ、已
ムヲ得ザルコトデアアルデアリマス(拍手)
諸君政府ガ所謂惡稅ト呼バレタル所ノ、非
社會政策的ノ租稅、或ハ綿織物稅デアルト
カ、或ハ交通稅デアルトカ、醬油稅デア
ルトカ、賣藥稅デアルトカ云フガ如キ惡
稅ヲ撤廢シ、更ニ天下非難ノ的トナツテ居

タル營業稅ヲ撤廢シ、加フルニ地租、所得
稅ニ於テ免稅點ヲ引上ゲ、或ハ增加スルガ
如キコトニ向テハ、決シテ反對スベキ理
由ハ少シモ無イト思フ(拍手)之ヲ社會政策
的ト謂ハズシテ將タ何レニ社會政策ガ在ル
デアリマセウカ、尤モ或ル一部ノ論者ノ如
ク、酒ハ醬油ヨリモ生活必需品ナリト云フ
ガ如キ暴論ヲ爲サル、ナラ格別デアリマス
ケレドモ、私共ハ決シテ酒ヲ以テ醬油ヨリ
モ必要ナル生活品トハ思ハナイ、煙草ヲ以
テ綿織物ヨリモ生活必需品ナリトハ思ハナ
ト、吾々ハ酒ノ價ノ騰貴スルコト、煙草ノ
價ノ騰貴スルコトヲ好ム者デアリナイケレド
モ、併ナガラ酒ノ値ヲ騰貴セシメ、煙草ノ
値ヲ引上ゲテモ、是ガ爲ニ眞ノ國民ノ生活
ニ必要ナル所ノ綿織物ヤ、或ハ醬油稅ガ低
減ヲサレ、撤廢ヲサレルト云フコトデアアル
ナラバ、爾ク致シテ吾々ハ比較シテ、其ヨ
リ善キモノヲ採ラナケレバナラヌデアリ
マス(拍手)諸君、若シ綿織物ガ生活ノ必需
品デアリト云フナラバ、或ハ裸體デ酒ヲ飲
ンデ居ルテモ宜シイカ、或ハ又醬油ヲ一
是ハ必要品デアリ、或ハ鹽ヲ用ヒテモ宜シ
イト云フ議論カモ知ラナイガ、原始的ノ國
民ナラバ率知ラズ、生蕃人ノ生活ナラバ率
知ラズ、今日ノ國民生活ノ現狀ニ於テ、醬
油ニ代ユルニ鹽ヲ以テスレバ足レリト云フ
ガ如キ議論ニ吾々ハ與スルコトハ出來ナイ
デアリマス(拍手)斯ク考ヘテ見マシレ
バ、政府ノ今回撤廢スル所ノ諸稅ハ、全ク
社會政策的ノ見地ニ立ツモノトシテ、吾々
ガ賛成スルコトハ何ノ不可ハナイデアリ
マス、唯、問題ハ此諸稅ノ撤廢ヲ行フニ付テ、
其財源ヲ酒ヤ煙草ニ求メタト云フコトガ吾々
ノ反對スル所ノ一ツデアアル、若シ之ヲ行
政或ハ財政ノ整理ニ依テ政費ノ節減ヲス
ルト云フコトニ求メルデアレバ...

ズ、行政財政ノ徹底ノ斷行ガ出來ルナラバ
問題ハ無イ、是ハ今日ノ議會ノ諸君ヤ政府
ニ求メテ出來ナイ以上ハ、吾々ハ已ムヲ得
ズ次善ヲ取ツテ、比較的是等ノ惡稅ヲ撤廢
サレルト云フコトニ賛成セザルヲ得ナイデアリ
マス(拍手)更ニ賣藥稅ニ付テ或ハ之ヲ撤廢
スルト雖モ、製造者、販賣業者ヲ利スルノ
ミニシテ、之ヲ利用スル所ノ細民ニ及フモ
ノデナイト云フガ如キ議論ヲ承リマス、實
ニ自由競争、商賣ノ機密ニ通ゼザルモ亦甚
シト謂ハザルヲ得ナイデアリマス(拍手)
要スルニ商業ノ秘訣ハ良貨ヲ廉賣スルニ
アル、然ルニ廉賣スルニ付テは三租稅ト云フ
如何ニシテモ減ズルコトノ出來ナイ所ノ負
擔ガアリマシタナラバ、廉賣ヲ爲スコトハ
出來ナイデアリマス、此廉賣ヲ爲ス上ニ
於テハ、細民ノ苦痛ヲ增加スルガ如キ賣藥稅
ノ撤廢ハ、固ヨリ當然ナ次第デアリマス、
(拍手)色々ノ御議論ヲ承リマスケレドモ、
常識ヲ以テ判斷致シマスナラバ、賣藥稅
ハ即チ細民ノ負擔デアルト云フコトハ言フ
マデモナイデアリマス(拍手)若シ醫者ニ
掛カレル程ノ餘裕ガアルナラバ、何ヲ苦シ
ンデ賣藥ヲ買ヒマセウ、賣藥ヲ買フ者ハ醫者
ニ掛カルコトガ出來ナイカラ、已ムヲ得ズ
賣藥ヲ以テ満足ヲ致シテ居ルデアアル、何
レノ點カラ論ジマシテモ、賣藥稅ノ撤廢ハ
社會政策的デアアル、細民ノ爲ニ爲スモノデア
ルト云フコトハ論ヲ要シナイデアリマス、
斯ク考ヘテ見マシレバ、政府ノ撤廢セント
欲スル所ノ惡稅ハ、當然吾々ノ賛成ヲセナ
ケレバナラヌ善ノモノト思フ、殊ニ是等ノ
諸稅中ニ於キマシテ、吾々ガ困却スルコト
ノ出來ナイノハ戰時稅デアリマス、全體我
國ノ國民負擔ハ、總テ戰時ノ場合ニ於キマ
シテ、急激ナル所ノ負擔增加ヲ致シテ居ル
デアアル、固ヨリ國運ヲ賭シテ乾坤一擲ノ
戰ヲ爲ス場合ニ於キマシテハ、其負擔ガ不
合理的デアルト、其負擔ガ過重デアルト、
之ヲ顧ミル違ハ無イデアリマス、然ルニ
若シ此戰爭ノ目的ヲ達シテ最早其負擔ノ整
理ヲ爲スベキ時代、即チ戰後經營ノ時代ニ
於キマシテハ、何ハ倍措イテモ、此戰時總

テノ關係ヲ顧ミル邊ナクシテ課セラレタル所ノ税金ノ整理ヲ爲スト云フコトハ、政治道徳ノ上カラ申シマシテモ當然ノ次第デアルト思フノデアリマス(拍手)而モ政府ノ今回廢減セント欲スル所ノ税金ノ中ニハ、斯ノ如キ戰時稅ガアリマス、此戰時稅ヲ戰後ニ於テ撤廢セズシテ、其儘平時稅ト爲シ、而シテ我國ノ財政ヲ戰時其儘踏襲ヲ致シタト云フ其備ヲ作タル者ハ是皆政友會ト謂ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)全體戰時稅ヲ其儘ニ致シマシテ、果シテ國民ノ負擔ガ輕減出來スカ、國民生活ノ安定ガ圖ラレマスカ、歐米諸國ノ例ヲ見マシテモ、戰時ノ諸稅ヲ戰後ニ於テ或ハ之ヲ半額ニ減ジ三分ノ一二減ジタルコトハ吾々ノ明ニ認ムル所デアリマセヌカ、然ルニ日本ノ財政ニ限リテ戰時其儘却テ年々歲々其膨脹ノ度ヲ増スト云フガ如キハ、斯ノ如クニシテ果シテ吾國ノ經濟ノ恢復ガ求メラレマスカ、斯ノ如クニシテ吾々國民生活ノ安定ヲ求メラレマスガ、此點ニ關シテ私ハ特ニ諸君ノ考慮ヲ願ハナケレバナラスノデアリマス、

斯様十次第デアリマシテ、私ハ今日ノ稅制整理ノ中ニ於キマシテ、先ヅ政府ガ國稅ヨリ手始トシテ之ヲ整理スルト云フコトハ、誠ニ緊急ニシテ已ムベカラザル所ノモノデアルト贊成ヲスルト同時ニ、若シ政友會諸君ガ更ニ進ンデ地租ノ委讓ヲ爲シ、而シテ地方稅ノ整理ヲ行ハント欲スルナラバ、吾々ト同ジ様ニ今日ノ財政ノ上ニ於テ、厘毛節減ノ餘地ナシト云フガ如キ愚論ヲ御廢シニナシテ、更ニ進ンデ大ニ國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フ見地カラ、積極的ト云フガ如キ空若ニ因ハレズ、眞ニ今日ノ財政ノ現狀ニ立脚致シマシテ、大ニ整理緊縮ヲ行ヒ、而シテ其安定ヲ待テ後ニ初テ積極的ノ仕事ヲスルト云フコトニ順序ヲ御變ヘニナルコトヲ切望セザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)斯ノ如キ理由ノ下ニ吾々ハ洵ニ遺憾千萬ナ次第デアリマスレドモ、今日ノ現狀已ムヲ得ズ、今日ノ程度ニ於キマシテハ此修正案ヲ以テ吾々ハ最モ適當ナルモノト信ジテ贊成ヲスルノデアリマス、併ナガラ唯々茲ニ

私共ハ一ツノ希望ヲ述ベテ置カケレバナラスコトハ、社會政策ヲ行フ——私ハ此社會政策ト云フコトニ付テハ、政府ノ說明ニ依リマシテモ、或ハ政友會ノ下サレタル定義ニ關シマシテモ、甚ダ満足ヲ表セザル者デアリマス、ケレドモ今日社會政策論ノ定義ニ付テ議論スル場合デアアリマセヌ、若シ社會政策ガ必要デアリ、現内閣ノ社會政策ノ不徹底ヲ攻撃サレルナラバ、私ハ政友會自身ハ……發言スル者アリ……

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○湯淺凡平君(續) 政友會ガ内閣ヲ組織シタ場合ニ於テ、如何ナル社會政策ヲ御立テニナツカト云フコトヲ、先ヅ御反省ヲ願ハナケレバナラスノデアリマス、今日普通選舉ガ近日ニ行ハレルカラト云テ、周章狼狽致シテ、無產者ノ機嫌ヲ買ハンガ爲ニ一夜造リノ社會政策呼ハリヲ爲サレルト云フコトハ、果シテ其眞意ヲ疑ハザルヲ得ザリノデアリマス、唯、此社會政策ノ見地カラ申シマスレバ、私ハ此修正案ニ對シテ尙ホ一段ノ希望ガアル、即チ私共ガ委員會ニ於キマシテ修正ヲ出シマシタ所ノ營業收益稅法ノ中ニ於キマシテ、穀物、青物、魚類、石油、薪炭、斯ノ如キ國民ノ生活ニ即スル、最モ必須ノ物件ノ販賣ヲ爲シマス營業ニ對シテハ、無論、法人ハ除イテ、個人ノ小營業ニ對シテハ相當ノ減率ヲ行フト云フコトガ、最モ必要デアルト思フノデアリマス、更ニ又此營業收益稅ヲ實行スル中ニ於キマシテモ、稅務官吏ガ帳簿ノ検査ヲ爲スト云フガ如キ、其事ノ爲ニ今日マデニ國民ガ如何ナル迷惑ヲ蒙ツカト云フコトヲ考ヘテ見マスレバ、其點カラ見マシテモ、帳簿ノ検査ト云フノ規定ヲ除クコトハ、最モ必要ナ事デアリナカト思フノデアリマス、更ニ出版業ヲ營業稅ノ課稅物件トスルコトモ、私ハ國民ノ文化、知識啓蒙ノ上カラ申シマシテモ、大ニ考慮ヲ要スルコトデアルト思フノデアリマス、更ニ又清涼飲料稅ノ中ニ於キマシテ、玉「ラムネ」ニマデ課稅ヲスルト云フコトハ、細民ヲ苦ムル所ノ結果ニ陥リ、社會政策ノ趣旨ニ最モ反スルモノデアルト思フ

ノデアリマス、(拍手)斯様十次第デアリマシテ、私共ハ是等ノ點ニ對スル所ノ修正意見ヲ述ベタケレドモ、遂ニ少數ニ依テ否決サレタルコトハ甚ダ之ヲ残念トスル者デアリマス、併ナガラ吾々ハ少數ニ於テ此度敗レテモ、恐クハ普通選舉ノ行ハレマスル先ニ、最早國論ハ吾々ニ後援ヲ致シテ、近日是等ノ問題ハ必ズ解決スルモノデアルト信ジテ疑ハザル者デアリマス、吾々ハ結論ニ於テ委員長報告中ノ修正案ニ贊成ヲシ、而シテ政友會ノ稅制返上論ニ對シテハ、斷乎トシテ反對スル者デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 砂田重政君
○砂田重政君 諸君、私ハ只今議題ニ相成テ居リマスル稅制ニ對シテ、政府案並ニ委員長ノ報告ニ反對ヲ致シ、政友會ノ地租委員論ヲ支持スル者デゴザイマス、而シテ更ニ政友本黨ノ提案ニ係リマスル教育費國庫支辨ニ關スル法律案ノ委員長ノ報告ニ贊成ヲスル者デアリマス、昨日來此教育費ニ對シテ吾々ガ贊成ヲスルコトガ恰モ矛盾ノ如ク、恰モ吾々ノ主張ヲ拋棄スルガ如キ口調ヲ以テ、小川君ヲ始メ此壇上ニ於テ御議論ヲ爲サレタデゴザイマスガ、其要點ハ既ニ大口君ニ依テ一端ヲ反駁サレマシタガ、小川君ノ政友會ガ之ニ贊成スルコトニ對シテ疑ヲ持タレタ點ハ、小學校教育費ノ教員俸給ノ中ニハ、義務教育ニ屬スルモノトガアル、(詭辯々々ト呼ブ者アリ)詭辯デハナイ、小川君ガ言フテ居ル事ヲ其ノ通り言ウテ居ル、斯様ニ二ツニナツテ居ルカラ(發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○砂田重政君(續) 義務教育費ガテ計算ヲスルナレバ、七千圓ト云フ金ハ半額以上ニ上ルデハナイカト云フコトガ小川君ノ御議論デアリマス、然ルニ是ハ大正六年ニ臨時教育會議ガ出來マシテ以來、義務教育ト高等小學校教員トノ區別ヲ明瞭ニスルコトガ出來ナイ故ニ、臨時教育會議ニ於テハ教育給ノ半額主義ト云フコトハ、小學

校教員ヲ通ジタル計算ト相成テ居ルノデアリマス(拍手)是ハ諸君ガ、憲政會ノ諸君モ本黨ノ諸君モ御承知ノ如ク、初メノ間ハ義務教育費國費負擔ノ増額ト云フコトガ論議サレ、其後ニ小學校教員給上云フコトニ一切ノ見出シマデガ改正サレタ事ニ依テモ、明瞭ニ分ルノデゴザイマス(拍手)願クハ小川君ガ此壇上ニ於テ論議サレル場合ニ於テハ、當ニ今少シク眞面目ニ御研究ニナシテ御議論ヲ願ヒタイト思ヒマス(拍手)此壇上ニ於ケル演說ハ忽チ全天下ニ響キ、國民ニ響クノデアリマス、好イ加減ナ出鱈目ナコトヲ壇上デ言フコトハ御控ヘテ願ヒタイノデアリマス、而シテ此問題ニ付テ昨日小川君ノ舉ゲラレタル小學校教員俸給ノ十三億八千萬圓ト云フノハ、是ハ(桁違ヒダ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ)一億三千万圓——取消シマス

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○砂田重政君(續) 數字ノ間違ヒノアツタガアル、一億三千八百萬圓ト云ハレタ、此一億三千八百萬圓ト云ハレタ數字ハ、大正十三年度ノ豫算デゴザイマス、而シテ教員俸給ハ毎年六百萬圓乃至七百萬圓宛八年々ニ増加シテ居ル事實ハ爭ナイ事實デアアル、サウスレバ大正十四年度ノ豫算ニ於テ、小學校教員給ノ總高ハ一億四千萬圓ヲ突破シテ居ルコトハ明瞭ナ事實デアリマス(拍手)更ニ十五年度ニ於テハ之ニ六七百萬圓ノ増加ヲ見ル譯デゴザイマスカラ、一億五千萬圓ニ近イ數字ニ相成テ居ル筈デアアル、而シテ今日七千萬圓ニ改正サレルコトニ吾々ガ贊成スルコトニ何ノ不思議ガアルノデアアル、更ニ小川君ハ來年ニナツタナレバ、政府ハ緊急必要ナル經費ト共ニ篤ト考慮ヲスルト言ウタノデアアルカラ、來年度ニナツタナレバ更ニ一千万圓ヲ殖スニ相違ナイト仰セラレテ居ルノデゴザイマスガ、ソレダケ間違ノナイ事實ナラバ、大藏大臣ガ此處ニ居ラル、ノダカラ此壇上デ明言ヲサセレバ宜イノデアアル、大藏大臣ニ明言ヲサスコ

ト能ハズシテ、篤ト考慮スルト云フコトヲ以テ確實ニ是ガ増加サレルト云フ御議論ハ、吾々ニハ分ラナイ、併ナガラ政府ガ篤ト考慮シテ之ヲ提案サレルト云フコトニナラナラバ、吾々モ篤ト考慮シテ賛否ヲ決シタイト思フノデアアル(拍手)併シ吾々ノ小學校教員給増額スルコト云フコトハ固ヨリ必要デアアルガ、是ハ稅制ノ問題トハ全く別箇ノ問題デアアル、是カラ稅制ニ對スル問題ノ吾々ノ主張、政府ノ主張又妥協ニ依リテ出来上リマシタ修正案ノ主張ヲ對比シテ、而シテ吾々ハ眞面目ニ之ヲ論議シテ見タイト思フノデアリマス(拍手)先刻來元ト多年手ヲ携ヘテ居リマシタ湯淺君ガ、此壇上ニ於テノ御議論ヲ吾々ハ謹ンデ拜聴ヲ致シタノデゴザイマスガ、此湯淺君ノ御議論ハ私共ハ多クノ反駁ヲ加ヘルコトハ必要ハ無イト思フ、即チ湯淺君ノ御議論ハ、政友會ノ案モ不徹底デアアル、又政府ノ案モ不徹底デアアル、何方モ不徹底デアアルガ、政府ノ方ガ善ササウデアアルカラ已ムヲ得ズ之ニ贊成スルト云フノデアアル、吾々ガ革新俱樂部ニ居タ時代ニ於テハ、斯様ナ已ムヲ得ズ贊成スルト云フヤウナコトヲ言ウタコトハ無イノデゴザイマス(拍手)必ズ自己ノ主張ヲ此壇上デ明瞭ニシテ去就ヲ決シタノデアアル(拍手)殊ニ中正俱樂部ノ諸君、革新俱樂部ノ諸君ガ吾々ト共ニ多年地租、營業稅ノ地方委讓ヲ唱ヘタ所以ノモノハ、其財源ハ常ニ行政ノ整理ニ依リテ得ルト云フコトヲ長イ間唱ヘ來タノデアアル(拍手)而シテ其行政整理ノ一部ヲ以テ、地租委讓ノ財源ニ與ヘルト云フコトニ今日反對ヲサレルト云フコトハ、如何ニ考ヘテモ吾々ハ了解ガ出来ナイノデゴザイマス(拍手)又昨年ノ一月議會ノ施政方針ノ演說ノ當時ニ於テ、加藤總理大臣カラ來ル十五年度ニ於テハ稅制ノ根本整理ヲスルト云フ言明ヲ得タ當時ニ、吾々ハ湯淺君ト手ヲ握リテ茲ニ年來ノ主張デアアル——吾々ノ主張シ來タ地租營業稅ノ委讓ノ實現スル機會ノ來タコトヲ喜ビ合ヒ、仲デアリマス、今日俄ニ政府ノ案ニ贊成スルト云フガ如キ考ハ、當時ノ湯淺君ニ於テモ無カッタ

ト思フノデゴザイマス(拍手)又殊ニ稅制ノ改正ノ問題タルヤ、我ガ國民ノ生活上ニ最モ重大ナル關係ヲ持つノデゴザイマス、徒ニ朝令暮改、度々幾度モ變ヘルコトノ出来ナイ、此案ノ通過スルトセザルト、此案ノ改廢如何ト云フコトハ長ク我ガ國民ノ負擔ノ上ニ大影響ヲ持つ問題デアリマス、好イ加減ナモノデアアルガ仕方ガナイカラ贊成スルト云フ如キコトニ依リテ、此問題ヲ輕々ニ付シ去ルベキ問題デアナイイト思フノデアアル(拍手)而シテ稅制ノ問題ヲ論議致シマスル上ニ於テ、固ヨリ第一ハ其體系デゴザイマス、第二ニハ其負擔ノ均衡ノ問題デアリマス、第三ニハ社會政策ノ施設デアリマス、第四ニハ更ニ其内容ニ互テノ論議デナケレバナラヌノデアリマスガ、吾々ノ地租ヲ地方ニ委讓スルト云フ議論ノ出發點ハ、又第一ニ此體系ノ上ニ歸著スルノデゴザイマス、政府ノ主張ハ國稅ハ國稅トシテ體系ヲ整理スル、而シテ地方稅ト國稅トハ別箇ノモノトシテ體系ヲ考ヘルコトガ適當ナリト信ジタト云フノガ、濱口大藏大臣ノ主張デアリマス、吾々ノ地租委讓ハ續イテ財源ヲ得テ、營業稅ヲ委讓シテ之ヲ府縣ニ委讓シ、地租ヲ地方ノ町村ニ委讓スルト云フニ依リテ府縣ノ町村、國家相合シタル體系ヲ具ヘルト云フノガ吾々ノ主張デアリマス(拍手)此體系ヲ具ヘルニ非ザレバ、如何ニ國稅ノ上ノ體系ヲ具ヘテモ、地方稅ノ體系相合セザル場合ニ於テ、國民ノ懷中ニ持ツ金ハ國稅ト町村稅トノ間ニ差別ハ無イノデアアル、之ヲ公平ニスル上ニ於テハ、連絡脈絡ヲ取リタル稅體系ヲ具ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、此意味ニ於テ今政府ノ提案セラレマシタ此案ニ依リテ、果シテ眞ニ體系ヲ具シテ居ルヤ否ヤト云フコトハ、昨日大口君ノ此壇上ノ演說ニ依リテ、體系ノ紊レテ居ルコトハ明瞭ニ相成タノデアリマス(二重ニナルヨ)ト呼フ者アリ(二重ニナル點ハ成ベク之ヲ省キマス——省キマスガ、併ナガラ吾々ガ此政府ノ國稅タケノ體系ヲ具ヘタコトガ、地方稅ノ上ニ如何ニ體系ヲ紊ル結果ニナルカト云フコトダケ

ハ、此機會ニ申上デテ置カケレバナラヌ、即チ今回ノ改正ニ依リテ、國稅ノ上ニ於テハ所得稅ヲ根幹トシテ營業收益稅ト云フ特別稅、所謂特別稅ニ屬スベキ純益ニ課スル稅金、土地ヲ土臺トシテ是ノ貸賃價格、即チ推定收益ニ對スル課稅、之ヲ設ケテ之ヲ國稅ノ上ニ體系ト爲シ、更ニ地方稅ノ上ニ於テハ家屋稅ヲ取ルト云フコトニナリテ居ルノデアリマス、其地方稅ト國稅トノ上ニ如何ナル矛盾ヲ生ジ、如何ナル重複ヲ生ズルカト云フコトハ、今度ノ國稅ノ改正ノ上ニ於テハ、營業收益ノ中カラハ土地ニ對スル收益ヲ除クコトニナリテ居リマスルガ、此家屋稅ニ於テハ全然之ヲ引去ルコトニナリテ居ナイ、其結果ハ例ヘバ茲ニ家屋稅土臺トシタル營業ガアル、例ヘバ倉庫業ノ如キ、若クハ旅館業ノ如キ、家ヲ離レテ絶體ニ營業ノ出來ナイモノガアル、此營業家屋ト云フコトニ對シテ、收益稅ハ之ヲ基調トシタル利益ノ全部ニ課稅サレルノデアアル、而シテ家屋稅モ其貸賃價格ヲ土臺トシテ此收益ニ課稅サレルノデアアル、隨テ一ツノ家屋ヲ持テ營業スル者ハ、例ヘバ五十圓ノ家屋稅ヲ納メル者ガ、更ニ其上ニ營業收益稅百圓ヲ納メル場合ニ於テハ、百五十圓ノ課稅ヲ營業者ハ負擔スルノデアアル、若シ營業ヲシナイ者ハ唯、五十圓ノ家屋稅タケニ止マルト云フ結果ヨリ之ヲ見マシレバ、營業稅ト家屋稅ノ間ニハ明瞭ニ重複ヲ免レナイト云フコトハ、如何ニ大藏大臣ト雖モ認メラレナケレバナラヌノデアアル(拍手)是ハ全國二百萬ノ營業者ハ悉ク家屋ヲ持テ經營シテ居ル、其二百萬ノ家屋有スル營業者ニ、家屋稅ト收益營業稅ガ重複ノ結果ニナルト云フコトハ、明ニ國稅ト地方稅ノ體系ヲ別々ニスルコトノ結果ガ此所ニ至ルト云フコトハ明瞭ナ事實デアアル(拍手)斯ノ如キ誤レル體系ヲ以テ此稅制ノ改正ヲシヤウト云フコトハ、斷ジテ吾々ノ反對ヲシナケレバナラヌ點デアリマス(拍手)而シテ更ニ進ンデ今回ノ此稅制ノ整理ガ、果シテ稅制ノ上ニ於テ均衡ヲ得テ居ルカドウカト云フ問題デアリマス、即チ今回妥協ニ依リテ修

正ヲサレマシタ點ハ、地租ノ一分減ヲ撤廢スルト云フコトデアアル、地租ノ一分減ヲ行フト云フコトノ出發點ハ何所ニ在ラタカ、大藏大臣ハ此壇上ニ於テ演說ヲサレテ、ドウ言ハレテ居ル、地租ノ一分減ヲ行フト云フコトハ、大正十二年營業稅ノ減稅ヲ行ウタ爲ニ、土地ノ所有者ニ對シテハ負擔ガ不公平ニナリテ、重クナリテ居ルカラ、此十二年ニ減稅ヲシタル營業稅トノ均衡ヲ保ツ爲ニ、土地ノ稅金ニ一分減ヲ行フノデアアルト云フ、是ガ此一分減改正ノ理由デアラ、然ルニ今回ノ修正ニ依ルト、此一分減ヲ行フト云フ、此政府ノ稅制ノ均衡ヲ保ツト云フ計畫ヲ打破シテ、教育費ヲ以テ千萬圓與ヘルコトニシテ、負擔ハ不均衡ナ備デ置クト云フコトガ、稅制整理ノ如何ナル意味ヲ爲スノデアアル(拍手)大藏大臣ガ今回ノ稅制整理ノ中ニ於テ、負擔ノ均衡ガ最モ重大ナル問題ナリト唱ヘラレタル負擔ハ元ノ通りノ不均衡ノ儘ニ置クト云フコトハ、是デ果シテ稅制ノ整理ヲスルト天下ニ呼號シタル大藏大臣ノ御議論ハ、何所ニ在ルカヲ疑ハザルヲ得ナイ(拍手)或ハ是ハ教育費ノ方面ニ移スナレバ、隨テ是ハ農村ニ多額ニ行ク、即チ市町村ニハ一割、殘リノ九割マデハ農村ニ行クノデアアルカラ是デ緩和ガ出來ルト言ハレルガ、是ハ負擔ノ問題、稅制ノ問題デハナイ、數字ノ問題ニ止マツテ、稅制ノ改革ト云フコトヲ没却シテシマハナケレバ左様ナコトハ言ハレナイノデアアル、又其次ニハ地租ノ二百圓以下ノ免稅點ノ問題デアアル、二百圓以下ノ免稅點ト云フコト、收益營業稅ノ四百圓ヲ免稅スルト云フコト、其間ニ二百圓ノ差ガアル、是ハドウ云フ譯デアアルカト云フコトヲ此壇上ニ於テモ、又委員會ニ於テモ屢々質問應答ヲ重テ點デゴザイマス、其當時大藏大臣ハ之ニ對シテドウ答辯ヲサレタカ、是ハ營業稅ト地租ノ間ニ斯様ナ差別ヲ設ケタ所以ノモノハ、土地ハ即チ純然タル資產デアアル、其資產ニ課スル稅、營業稅ハ資產ト勤勞トノ共同作用ニ依リテ得ルモノデアアル、隨テ勤勞ト資產ヲ併セタルモノニ對シテハ、四百圓ヲ限度

ト爲シ、資産ノミヲ共調トシタル地租ニ付テハ二百圓以下ヲ免稅スルコトトシ、初メテ均衡ヲ保ツコトガ出來ルノデアルト云フノガ、此差別ヲ設ケテ理由デアッタノデアリマス、然レニ今回ノ修正案ニ依ルト、此地租ノ免稅ト云フモノハ悉ク自作ト云フ勤勞ガ附加タモノニ改正セラレタノデアリマス、即チ土地ヲ有スル外ニ、此土地ヲ自ら耕スト云フ、勤勞ト云フ併シタルモノニ對シテノ免稅點デアリマス、營業稅ハ資本ト之ニ對シテ勤勞ノ加ハタル租稅デアルト云フコトニナレバ、營業者ト農村ノ間ニ何モノ區別モナイ筈ニ相成タノデアリ、斯様ニ修正セラレタノデ、商工業者ト農民ノ間ニ區別ヲ付ケタル理由ハ、根柢ヨリ破壊サレテシマッタノデアリマス(拍手) 斯様ニ租稅ノ均衡ハ根柢ヨリ打崩サレテシマツ、大藏大臣ノ言ハレタル租稅ノ均衡ヲ保ツ爲ニ改正シタト云フ言葉ハ、此稅制ノ中カラ悉ク取拂テシマハナケレバナラヌ(拍手) 吾々ハ年來尊敬致シテ居テ濱口大藏大臣健在ナリヤト疑ハナケレバナラヌノデゴザイマス(拍手) ソレハ詭辯ナリト呼フ者アリ) 若シ吾々ノ此主張ガ詭辯ナリト云フナラバ、此壇上ニ於テ堂々ト反駁シタラ宜イノダ、斯様ニ見テ參リマスナラバ、此今回ノ改正ハ商工業者ト農民トノ間ニ極端ナル差別ヲ設ケテ、農民ハ悉ク之ヲ虐ゲルト云フコトガ此改正ノ骨子ヲ成スモノデアリ、是ガ憲政會ノ諸君、政友本黨ノ主張トハ吾々ハ考ヘラレナイノデアリ、併ナガラ其結果ヨリ見レバ、明ニ農村ニ對スル虐ゲト相成ルノデゴザイマス、更ニ進んで政府ノ稅制ノ改正案ガ、社會政策的ニ如何ナル意味ヲ持ツカト云フコトニ付テハ、私ハ大藏大臣ガ此壇上ニ於テ演說サレマシタ此稅制ノ根本整理ト云フモノ、趣旨ハ、何所デ社會政策的ニナルカト云フコトニ付テ、第一ニ數字ノ上デ明瞭デハナイカト云フコトヲ言ハレテ居ル、即チ直接稅タルト間接稅タルトヲ問ハズ、主トシテ中産階級以下多數國民ノ負擔ヲ輕減センガ爲ニ、實ニ七千七百七十萬圓ノ減稅ヲ行ヒタルニ拘ラス、間接稅ノ増額

ハ嗜好品タル酒類、清涼飲料及煙草等ニ對スル負擔ニ於テ六千餘萬圓ニ過ギナイ、隨テ此數字ノ上ニ於テ社會政策的効果ノ顯著ナルコト疑フ容レザルナリト演說ヲサレタノデアリ、而シテ此七千七百七十萬圓ノ中カラ地租ノ一十萬圓ヲ差引キマスルト、差引數字ノ上ニ於テ社會政策的ノ意味ハ一モ實行シテ居ナイト云フ結果ニナツテ居ルノデハナイカ(拍手) 是ハ明瞭ナル事實デアリ、更ニ之ヲ内容ニ這入テ、箇々ノ租稅ニ付テドウ云フ結果ニナルカト云フコトヲ研究致シテ參リマス、極メテ明瞭ニナルノデアリ、即チ今回ノ租稅ノ中ニ於テ、中産階級ノ中ニ分割シテ考ヘナケレバナラヌ、即チ今回ノ社會政策的ノ意味ニ於テ、中産階級ノ中ノ最モ低イ人ニ對シテ減稅ヲ行フト云フ社會政策ト見エルモノハ所得稅ノ改廢デアリマス、營業收益稅ノ免稅點ノ引上デアリマス、是ハ併ナガラ事實ハサウハナラヌガ、後ニ是ハ論ジマスガ、是ト更ニ地租ノ免稅點ヲ設ケタトノ三ツデアリマス、此三ツニ對シテ資本利子稅ト今一ツハ相繼稅ノ改正ノ二ツデアリマス、是等ノモノハ此改廢増減ニ依リテ、中産階級ノ最下級ノ人ニ補助ケルト云フノデアリガ、其助ケタ結果ガ、大多數ノ是等ノ程度ニ及バザル一千万以上ノ大多數ノ細民ニ如何ニ響イテ來ルカト云フ問題デアリ、此點ニ對シテ大藏大臣ハ過日本員ノ此壇上ノ質問ニ對シ、此點ハ重要ナル點デアツテ、絕對ニ多數ノ無産階級ニ増稅ニナルト云フヤウナコトハ之ヲ認メマセヌト明瞭ニ御答ニナツタ、隨テ私共ハ委員會ニ於テ、大藏省ガ是ダケノ確信ヲ有セラル、ナレバ、其明瞭ナル統計ヲ示サレタト云フコトヲ要求シタガ、遂ニ其統計ハ吾々ハ之ヲ見ルコトガ出來ナカッタ、今日ニ至ルマデ御提出ニ相成ラヌ、ソコデ吾々ハ更ニ進んで之ヲ政府ノ統計ニ依リテ研究シタノデアリ、即チソレハ内閣統計局ニ於テ出來マスル家計調査參考資料、職工生計狀態調査此二ツハ内務省ノ社會局ト内閣ノ統計局ニ於テ、職工ガ日々ノ生活ノ狀態ヲ調査シテ、

被服費ニハ幾ラ要ル、通行稅ニハ幾ラ要ル、若クハ嗜好品ト云フ或ハ酒ニハ幾ラ要拂フ、煙草ニハ幾ラ要拂フト云フコトガ明瞭ニ記載サレタル統計表ガアルノデアリ、又小作人ニ對シテハ更ニ大正十四年ノ六月農務局ニ於テ調査シタル、大正十一年度ノ農家經濟調査書ト云フモノガ出來テ居ル、此統計書ニ依リテ被服費ニ幾ラ要リ、通行費ハ幾ラ要リ、又嗜好品デアル酒トカ煙草トカ云フモノニ幾ラ金ガ要ルト云フコトガ明瞭ニ調査サレテ居ルノデアリ、而モ更ニ本年度ノ豫算ノ中ニハ、健康保險ニ對スル歲入豫定表ガ出テ居ルノデアリ、此歲入豫定ハ健康保險法ニ依リテ明瞭ニ收入ノ百分ノ三以上ニ上ルコトヲ許サレテナイコトニナツテ居ルカラ、此保險料ヲ基礎トシテ我ガ政府ガ日本ノ勞働者ノ一箇年ノ歲入、一箇月ノ收入ヲ幾ラニ見テ居ルト云フコトヲ算出シテ來ルト、其總高ハ實ニ政府ノ見ル所ノ一箇月五十二圓乃至五十四圓ト云フノハ、日本ノ勞働者ノ收入ノ平均點デアルト云フコトガ明瞭ニナルノデアリ、ソコデ此五十二圓乃至四圓ト云フ生活ヲ營ム者ヲ、此職工生計狀態表ト内閣ノ家計調査參考資料トヲ共調シテ數字ヲ割出シテ被服費ニ幾ラ要ル、交通費ニ幾ラ要ル、保健衛生ノ爲ニハ幾ラノ金ガ掛カルト云フ、之ニ對スル稅金ノ總高ト、嗜好品デアル酒ガ幾ラ要ル、煙草ガ幾ラ要ルト云フコトノ數字ヲ割出シテ參リマスルト、少クトモ五人一家族ノ、而モ一箇月五十一圓ヲ基調トシテ生活ヲ營ム者、一人當リ十圓ニ足ラザル生活ヲ營ム勞働者ニ對シテハ、差引是等ノ者ニ對シテ六圓七十錢ノ増稅トナルノデアリマス(何ダ何ダ) 何ダカ分ラヌト呼フ者アリ) 分ラナケレバ細カキコトヲ悉ク言ヒマスガ、委員會ニ於テ一切吾々ハ政府ニ提出シテ居リマスカラハ是ハ略シマスガ、要スルニ一家五人ノ生計ヲ營ミ、一箇月五十一圓ノ生活ヲ營ム細民ノ家庭ニ於テ、其被服費、保健衛生費ノ中ノ風呂錢デアルトカ、床屋ニ行ク費用トカ云フモノヲ引イテ、一部分ノ醫療費ヲ除イタ賣藥——賣藥ヲ買フ費用、交通通

信費ノ中ノ交通費ニ對スル費用、是等ノモノト嗜好品デアル酒ガ幾ラ要ルカ煙草ガ幾ラ要ルカト云フコトガ悉ク此表ニ載ツテ居ルノデアリ、之ヲ基調トシテ計算ヲシテ、今回ノ稅制ト消費稅ニ對シテハ減稅ヲ對照スルト、此細民階級ニ對シテハ六圓七十錢ノ増稅ニナルト云フコトハ明瞭ナ事實デアリ(拍手) (違フ々々、違フ々々ト云フ言フナ) 呼フ者アリ) 是ハ吾々ガ言フノデアリ、現政府ガ調ベタル統計書ニ依リテ言ウテ居ルノデアリ(拍手) 而モ大正十四年六月農家經濟調査書ト云フ農商務省ノ農務局ニ於テ調査シタル統計書ニ依リテ之ヲ見ルト、一箇月六十圓四十七錢ノ生活ヲスル小作人ニ對シ、少クトモ八圓六十錢四厘ノ増稅ニナルト云フコトハ、此表デ明瞭ナノデアリ(拍手) (ソレガ違フノダ) 呼フ者アリ) 是ガ若シ違フナラバ、吾々ハ此統計表ヲ示シテ委員會ニ於テ政府ニ質問シタノデアリガ、政府ハ之ニ對シテ明瞭ニ答辯ヲ今日マデシナイノデアリ(ソレナコトヲシナクテモ宜イ) 出來ナイノダラウト呼フ者アリ) 若シ此私ノ主張ガ誤ガアルト云フナラバ(アルト呼フ者アリ) 政府自ら發行ヲシタル統計書ノ誤レルコトヲ天下ニ現内閣ハ謝罪ヲシナケレバナラヌト思フノデアリ(拍手) 見様ガ間違テ居ルノダ) 呼フ者アリ) 吾々ハ固ヨリ租稅ノ改廢ト云フ上ニ於テ、中産階級ノ最モ中堅ヲ成スベキ人ニ對シテ、社會政策的施設ヲ行フトニ反對スル者デアリマセヌガ、是ト同時ニ是等ノ人ミヲ助ケル爲ニ、大多數ノ細民階級ニ増稅ヲ強ヒ、是等ノ者ヲシテ更ニ一層塗炭ノ苦ミニ陥レシムルガ如キハ斷ジテ之ヲ許サナイノデアリ(拍手) 殊ニ諸君、先程來湯淺君モ御述ニナツタ一點デアリマスガ、吾々ノ考ヘテ居ル今回ノ稅制ノ改正ノ中ニ於テ、幾多テ政府案ノ適當ト認ムルモノモアリマス、湯淺君ハ先程來、通行稅ノ廢止ガ何所ガ惡イ、或ハ賣藥稅ノ廢止ガ何所ガ惡イ、織物消費稅ノ廢止ガ何所ガ惡イト云フコトヲ御述立テニナリマシタガ、此廢稅ノ背後ニハ之ニ代ルベキ大増稅ノ附イテ居ルト云フコ

トヲ忘レテハナラヌノデアアル(「ヒヤ〜」
 拍手)廢ルモノハ成程結構デアアルガ、廢
 メル代リニ増稅ガ附イテ居ル、此新ニ作り、
 若クハ稅額ヲ上ゲル爲ニ、如何ナル結果
 ヲ及ボスカト云フコトヲ相突合セテ
 見タ上デナケレバ、贊否ヲ決スルコ
 トハ出來ナイノデアアル(拍手)ソコ
 綿織物消費稅ヲ廢止スルト云フコト、又更
 ニ通行稅ヲ廢止スル、又賣藥印紙稅ヲ廢止
 スル、醬油稅ヲ廢止スル、斯様ニ生活必需
 品ニ對シテ絶對的ノ社會政策ヲ行フノデア
 ルカラ、煙草ト酒ニ對シテ増稅スルコトモ
 已ムヲ得ナイト云フコトガ、大藏大臣ノ主
 張デアリマスルガ、私ハ此壇上ニ於ケル質
 問、並ニ多數ノ同僚ヨリ、委員會ニ於テ質
 問シタル結果ニ依レバ、通行稅ニ付テハ其
 減稅ヲ國民ニ徹底セシムルコトニ付テハ、
 大藏大臣ハ極力其監督權ヲ利用シテヤル
 ガ、其他ノモノニ對シテハ消費者自ラノ威
 カニ依リ、若クハ消費者ノ宣傳ニ依リ、或
 ハ又自然ノ自由競争ノ結果ニ依リ、或ル時
 期ニ於テハ徹底スルコトガ出來ルデアラウ
 ト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアアル、言葉
 ヲ換ヘテ言フナラバ、大藏大臣ハ、是等ノ
 消費稅ノ廢止ハ或ル期間ハ直ニ徹底の減
 稅ガ、其消費者ニ及バザルコトヲ明瞭ニ認
 メラレテ居ルノデアアル(拍手)而シテ減稅ハ
 直ニ國民ニ徹底セズ、増稅ハ既ニ、煙草ハ
 昨年ノ十一月ヨリ徹底の三行ハレ(拍手)酒
 ハ來ル四月一日ヨリ徹底の三行ハレ、減
 稅ハ國民ニ及バズシテ、増稅ハ悉ク直ニ行
 ハレルト云フ結果ニナルノデアアル(拍手)斯
 様ニ論議シテ來ルト、大藏大臣ハ二言目ニ
 ハ、サウ云フコトヲ言ウテ居レバ生活必需
 品ノ廢稅ヲスル時期ハ無イデハナイカト御
 議論ニナル、吾々ハ斯様ナモノニ對シテ
 ハ、是ガ徹底のニ民衆ニ及ボス計畫ヲ取ル
 カ、然ラザレバ増稅ニ依ラザル方法ニ依
 テ、自然ニ此減稅ガ徹底スル時期ヲ待ツ政
 策ヲ執ルト云フコトガ、政府當局ノ責任デ
 ナケレバナラヌト信ズルノデアアル(拍手)然
 ルニ此點ニ對シテ、唯、消費者ノ威力ニ俟
 ツ、消費者ノ宣傳ニ俟ツト云フコトヲ言ハ

レルガ、御覽ナサイ、此間中カラ織物業者
 ハ大舉シテ大藏省ニ出掛ケテ行ッテ居ルデ
 ハナイカ、ソレハ減稅ヲ行フト云フコトガ
 噂ニ上ルト同時ニ、段々價格ガ下ッテ來ル、
 之ヲドウシテ呉レル、戻稅ヲ呉レルカト
 云フコトヲ談判ニ行ッタ時、大藏省ノ或ル
 有力ナル人ミハドウ云フコトヲ以テ之ニ答
 ヘタカ、宜シク機休ミヲシテ値上ヲシタラ
 宜カラウト云フコトヲ明瞭ニ言ウテ居ルデ
 ハナイカ(拍手)即チ此消費稅ガ國民ニ徹底
 セザルコトヲ、大藏省當局ハ明瞭ニ認メテ
 居ルコトハ、此一事ニ依リテ明カデアアル(拍
 手)此結果ハ今日既ニ靜岡縣ニ於テハ機休
 ミノ決議ヲシテ居ルデアアリマセカ、又吾々
 ハ賣藥稅ヲ廢止スルト云フコトニ反對デ
 ハナイ、反對デハナイガ、現在ノ狀態ヲ其
 儘ニ廢止スレバ、是ハ中間ノ樂屋ノ利益ニ
 ナッテ、國民ノ頭ノ上ニ何等ノ利益ノ無イ
 ト云フコトハ、昨日平井君ト淺賀君ガ喧嘩
 爲サツトモ此爲デアアル(拍手)ドウダウ
 「ダ」呼フ者アリ國民ニハ徹底シナイと言
 フ、大藏大臣ガ馬鹿ダト言ハレタノデ喧嘩
 ニナツタノデハナイカ(拍手)餘計ナコトヲ
 言フナ、眞面目ニヤレト呼フ者アリ)與黨
 ノ中ニ於テスラ此通りデアアル、況ヤ今日賣
 藥印紙稅ノ廢止ヲ要求シ居ルノハ、全國ノ
 樂屋ガ要求ヲシテ居ルノデアアル
 (此時發言スル者アリ)

○議長(稻谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
 ○砂田重政君(進) 而シテ是等ノモノニ對
 シテ、中間ノ經營者ハ悉ク團體ヲ作ッテ居
 ルカラ、此團體ノ威力ニ依リテ、如何ナル
 運動ヲスルコトモ出來マス、併ナカラ個々
 ノ消費者ニ對シテ、是ノ示威運動ニ俟ツ、
 或ハ宣傳ノ力ニ依リテ、此稅ノ徹底ヲ期スル
 ト云フガ如キハ、大藏省ノ机ノ上デノ議論
 ハ出來ルガ、民衆ニ直ニ面シタル上ニ於テハ
 斷ジテ出來ル議論デハナイ(拍手)斯ノ如キ
 明瞭ナル一事ニ依リテ見テモ、今回ノ案ニ
 於テ社會政策的ノ意味ハ、全然其跡ヲ留メ
 ザルコトハ明瞭ニナルト思フノデアアル(拍
 手)加之昨日小川君ガ此壇上ニ於テ述べラ
 レタ如ク、今回ノ稅制ノ結果、酒ノ増稅ノ

高ハ、政府ノ見積ルガ如キ少額ナルモノノ
 ナイト云フコトハ、與黨ニ等シキ本黨ノ小
 川君デスラ、此壇上ニ述べラレテ居ルノ
 アル(拍手)煙草ノ値上ハ政府ハ二千二百萬
 圓ト唱ヘラレテ居ルガ、是ハ過日此壇上デ
 私ノ質問ニ對シテ、大藏大臣ハ何ト答ヘラ
 レタカ、煙草ハ値上ノ結果自然ニ消費ガ減
 少ヲ生ズルノデアアル、隨テ其減少シタルモ
 ノニ對シテ、値上ヲシタ數ヲ乗ケタモノガ
 國民ノ負擔ノ増加デアアルト云フコトヲ明瞭
 ニ言ハレタ、是ニ於テ私ハ大藏省ニ向ッテ、
 平年——是カラ先キ大正十七年迄ノ間ニ於
 テ、漸次恢復ヲシテ來タ結果、十七年度迄
 ニ於テ幾ラノ煙草ガ賣レル豫定デアリ、ソ
 レニ對シテ今回ノ値上シタ金高ヲ乗ケタ數
 字ハ幾ラニナルカト云フ事ヲ要求シタノデ
 アル、之ニ對スル大藏省ノ答辯ニ依レバ、
 平年度ニ於テ四千九百七十三萬六千圓ノ増
 加ニナルト云フコトハ明瞭ニ分ッテ居ル、
 然ルニ之ヲ大藏大臣ハ何ト胡麻化サウトシ
 タカ(拍手)委員會ニ於テソレモ此儘ニ放
 テ置イタナラバ、三億圓モ四億圓モ十七年
 ニ煙草ガ賣レルノガ、其實レモノガ政府
 ガ値上ヲシテヤ、タカラ賣レナクナツタ、其
 差額ヲ差引イタモノガ國民ノ負擔デアアルト
 云フ(拍手)此議論ヲ徹底セシムルナラバ、
 増稅ノ結果若シ今迄ヨリ收入ガ減タ場合
 ニハ、大藏大臣ハ國民ニ向ッテ、吾々ハ煙
 草ノ値上ヲシテ減稅ヲ行ウテヤ、タト言ハ
 ナケレバ理窟ガ合ハヌ、左様ナ不合理ナ胡
 麻化シヲ以テ國民負擔ノ根本ノ問題ヲ言括
 メルガ如キハ、吾々國民ノ爲ニ斷ジテ許サ
 スノデアアル(三百)ト呼フ者アリ)三百デハ
 ナイ、殊ニ——殊ニ過日此壇上ニ於テ煙草
 ノコトニ付テ、刻ミニ付テハ徹底のニ社會
 政策ヲ考慮シテ、其大キサニ依リテ、色々
 考慮ヲ致シマシタト此壇上デ演說ヲサレ
 タ、其後大藏省カラ貰ッタ此統計書ニ依
 ルト、刻煙草ハ悉ク一貫匁ヲ土臺トシテ單
 價ヲ定メタノデアアル、個々ノモノニ付テハ
 絶對ニ考ヘタコトガナイト此所ニ書イテア
 ルデハナイカ、吾々ハ餘リニ無責任、餘リ
 ニ出鱈目ヲ以テ吾々議員ヲ欺キ、天下國民
 ヲ欺カントスル大藏省ヲ責メナケレバナラ
 スノデアアル(拍手)更ニ清涼飲料稅——清涼
 飲料稅ヲ新設シタコトハ、是ハ全ク麥酒ノ
 稅源ヲ涵養スル爲ニ、斯ウ云フモノヲ飲マ
 サナイヤウニシテ、麥酒ヲ飲マス爲ニ此清
 涼飲料稅ヲ設ケタト云フノデアアル、是ガ大
 藏大臣ノ答辯デアアル(「ソシ」ナコトハナ
 イ)ト呼フ者アリ)大藏大臣ノ答辯デ
 アルカラ疑ガナイ、諸君、酒、所謂「アル
 コール」性ノモノヲ成ベク飲マサナイヤウ
 ニシテ、保健衛生ノ飲料ヲ勸メルト云フコト
 ナレバ吾々此理窟ガ分ル、然ルニ成ベク酒
 ヲ飲マシテ、保健衛生ノ材料ヲ飲マサナイ
 ヤウニスルト云フコトガ、此政府ノ政策デ
 アルト云フコトニ至ッテハ、驚入ッタル議論
 ト言ハナケレバナラヌノデアアル(拍手)而モ
 此點ニ對シテハ、大藏大臣ハ臨時財政經濟
 調査會ノ委員トシテ何ト云ハレタカ、當時
 ノ諮問案ノ中ニ、此清涼飲料稅ヲ新設スル
 ト云フコトガ出テ居タ案ニ對シテ、大正
 十年十二月二十二日ニ、大藏大臣ハ斯様ナ
 些末ナルモノニ課稅ヲスルト云フコトハ斷
 ジテ反對ヲシナケレバナラヌ、若シ政府ガ
 斯ノ如キ諮問ヲシタモノトスルナラバ、宜
 シク此委員會ハ建議案ヲ出シテ之ヲ止メサ
 スガ宜イト云フ演說ヲ爲サツテ居ルデハナ
 イカ(拍手)如何ニ日本ノ經濟界ノ實狀ニ變
 化ガ出來、又如何ニ震災ガ起ッテモ、清涼飲
 料稅ガ大正十年ニハ絶對反對ヲモノガ、今
 日俄ニ震災ガ贊成ヲサレルト云フコトモ言
 ハレマスマイ(拍手)吾々ハ大藏大臣ノ誠意
 ハ何所ニ在ルカト云フコトガ全ク分ラナク
 ナッテシマツデハナイカ(「ヒヤ〜」拍手)更
 ニ個々ノ營業稅ニ付テハ、過日三土君ガ此
 處ニ述べラレマシタ通りデアリマスガ、東
 京商業會議所ノ營業收益稅ノ負擔增加ニ關
 スル調査——六大都市ニ於ケル法人ダケノ
 調査ニ依リマシテモ、其増加ノ割合ハ六大
 都市ニ於テ五割七分七厘ノ増加ニナルノデ
 アル、更ニ之ニ對シテ個々ノ商人ニ對スル今
 回ノ收益稅ノ率ヲ上ゲタ結果ハ、少クトモ
 平均ヲシテ五割ノ増稅ニナルト云フコトハ
 明瞭ナル事實デアアル(拍手)況ヤ此數字ノ上

云フ御議論デアリマス、成程私共ハ地方ニ於ケル家屋稅ガ、營業收益稅ノ中ニモ取立テラレテ居テ重複ヲ致スト云フコトハ、是ハ確ニ認ムル者デゴザイマスルガ、之ニ何ノ不思議ガアルカ、聲ヲ大ニシテ議論ヲスル價値ノナイモノデアルト思フ(拍手)何故ナラバ、家屋稅ハ所得稅補充ノ一ツトシテ、地方ニ設定ヲ致シタノデアリマス、補充稅ノ中ニ於ケル地租ハ如何デアアル、政友會ノ如クニ、地租ヲ委讓サル、ト云フコトデアレバ別デゴザイマスガ、苟モ中央ニ地租ヲ殘ス間ハ、地租ハ中央ニ於テモ府縣ニ於テモ、市町村ニ於テモ、同様ニ課稅ヲサレルノデアリマス、所得稅亦然リ、補充稅中ニ於テ地方ニ課稅ヲサレルモノハ、唯、一ツノ資本利子稅アルノミデアリマス、家屋稅ハ補充稅トシテ取立テラレマスル以上ハ、地方稅トシテ府縣ニ取立テラレルト同時ニ、市町村ニ附加稅ヲ取立テラレル、國稅トシテ營業收益稅ノ中ニ於テ、幾分カノ課稅ヲ家屋ノ上ニ課スルト云フコトハ、何等ノ不思議ノナイコトデゴザイマシテ、是ガ重複スルト云フコトヲ非難スルハ、全ク道理ナキコトデアルト私ハ存ジマス(拍手)私ハ次ニ政府ガ產業政策ノ意味ニ於テ爲シタリト説明ヲ致シテ居リマスル所ノ營業稅ニ對スル、政友會諸君ノ非難ニ對シテ一言ヲ費シテ見タイト思フノデアリマス、政友會ノ諸君ガ、營業稅ニ對スル御非難ハ、其政府ノ計算ニ依ルヨリモ、ヨリ多クノ増稅ヲ見ルト云フコトガ其一ツノ御非難デアリマス、第二ノ政友會ノ營業稅ニ對スル所ノ御非難ハ、昨日大口君ノ御議論ノ中ニアリマシタ所ノ事柄デゴザイマシテ、現行二千圓ノ賣上高ヲ以テ最低ノ標準ト致シテ居ルモノハ、十圓ノ税金ヲ取ラレルニ拘ラズ、今回ノ最低標準デアアル所ノ、四百圓ノ純益ヲ得ル所ノモノハ之ニ二八ノ課稅率ヲ掛ケルトキハ、十一圓三十錢ニナルノデハナイカ、即チ増稅デアルト云フ御議論デアアルノデゴザイマス、洵ニ二ツナガラ殆ド理窟ヲ盡サ、ル所ノ、是コソ子供驕シノ御議論ト云フヨリ外ニ、評シ方ガナイノデアリマス

(拍手)三土君ハ盛ニ物品販賣業者ノ業體ニ付キマシテ、是レ々々ノモノハ増稅デアリ、是レ々々ノモノハ減稅ニナル、結局増稅ニナル方ガ多イト云フ御議論デアッタノデゴザイマスルガ、如何ナル根據ニ依テ斯様ナ事ヲ仰シヤルノデアアルカ、私ハ極メテ斷片ナル根據ヲ以テ、斯様ナル御斷定ヲ爲サルコトハ、三土君ノ爲ニ惜ム所デアアルデアリマス(拍手)政府ノ調査ハ全國三百數十ノ稅務署ニ對シテ、嚴密ナル調査ヲ命ジテ、營業稅ノ今回ノ廢止ニ伴フ收益稅ノ新設ガ、斷ジテ増稅ニナラザルコトヲ、三百數十ノ稅務署ノ實務ノ上ニ照シテ、其計算ノ基礎ノ上ニ算出ヲ致シテ居ルノデアリマス(拍手)三土君ノ御議論ニ依リマス、政府ハ動モスレバ新稅増稅ニ對シテ、其額ノ少カラシコトヲ希望ヲシテ發表ヲシテ居ル、成ベク少ナク發表ヲシテ居ルヤウニ思フト云フガ如キ、御想像デノ御議論デアッタノデアリマス(ヒヤ)「其通り」ト呼フ者アリ)酒、煙草ノ値上ニ對スル增收ニ付テモ亦同様ノ御議論ヲ繰返シタ々々委員會、本會其他ニ於テ、政友會諸君ノ方ヨリ伺フタノデアリマスガ、私ハ申上ゲマス、謎デ政治ハ出來ナカッタ筈デアアル、想像上ノ數字ヲ以テ財政ノ切盛ハ斷ジテ出來ナイノデアリマス(其通り「ヒヤ」)ト呼フ者アリ)大口君ノ昨日ノ御議論ハ、何故ニ私ハ誤テ居ルノカト申シマスルニ、大口君ノ御議論ニ依リマスレバ、從來營業ハ其最低課稅額、賣上金二千圓ハ必ズ二割ノ利益ヲ舉ゲルモノナリト云フ前提ノ下デナクテハ、此御議論ハ出來ナイノデアリマス(拍手)若シ諸君四百圓ヲ還元致シテ御覽ナサイ、今日ノ免稅點ハ四百圓デゴザイマスルガ、四百圓ヲ賣上高ニ還元ヲ致シ、一割ノ利益ト致スナラバ、四千圓ノ賣上高ノモノマデガ今回ノ法律ニ依テ免稅ヲサレルト云フコトニナルノデアリマス(拍手)東京ノ白米小賣商ノ利益ガ...

若シ此白米小賣商ノ利益ヲ以テ換算ヲ致シマスルナラバ、四百圓ノ利益ハ實ニ八千圓ノ賣上高ニ相當スルモノデアリマス、此御議論ハ徒ニ私ノ議論ノ内容ヲ聽カズシテ論評ヲ爲サル御方ニハ別デアリマスケレドモ、冷靜ナル大口君ニハ能ク御分リノコトト私ハ信ジマス、今回私共ガ此整理案ノ骨子ト致シマスル所ノ社會政策ニ付キマシテ、政府ハ本會議ニ於キマシテモ、委員會ニ於キマシテモ、カフ極メテ之ヲ力説致シタノデゴザイマスルガ、此社會政策ノ見地ニ立テル今回ノ稅制整理タルヤ、實ニ我黨ガ多年唱道ヲ致シテ居リマスル所ノ民本政治ノ一三土君ノ口ヲ藉リテ言ヘバ、深遠ナル哲學ニ基イテ居ル所ノモノデアリマス、此考ガ一度觸レテ國民ノ權利ノ問題ニナリマスルト、私共多年ノ普通選舉ノ唱道トナリ、普通選舉ノ實現トナッタノデアリマス、私共ノ民本政治、此哲學ガ、一度國民ノ負擔問題ニ觸レマシタ時、實ニ今回ノ社會政策ノ稅制整理案ヲ生ミ出シタノデアリマス(拍手)私ハ此社會政策ノ稅制整理案ヲ支持シ、贊成ヲ致ス一人ト致シマシテ、政府ノ說明ヲ補足シ、今回ノ整理ガ如何程マデニ社會政策ノ價值ヲ廣汎ニ持ツカト云フコトニ付テ、一言ヲ添ヘナケレバナラス所ノ義務ヲ有スルノデアリマス、諸君、今回ノ社會政策ノ稅制整理ニハ七ツノ要點ガアッタノデアリマス、其一ハ所得稅ノ免稅點ノ引上デアアルノデアリマス、又少額所得者ノ家族ノ扶養料ノ控除ノ引上デアアルノデアリマス、免稅點ノ引上ニ依リマシテ政府ハ財政ニ於テ六百萬圓ノ輕減ヲ致スト共ニ、全國百八十八萬人ノ所得稅納稅者ノ中、其四割ノ八十六萬人ト云フ免稅者ヲ見ルト云フコトガ、今回所得稅ノ改正ニ依テ、如何ニ社會政策ノ價值ガ發揮サレタカト申シマスルコトノ一例デアアルノデアリマス、相續稅ノ免稅點ノ引上、累進率ノ引上ニ付キマシテハ、政友會ノ中ニハ御反對ガアルコトハ明カデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、一委員ハ盛ニ此社會政策ノ施設ニ向テ、御反對ノ聲ヲ放タレタノデアリマ

スガ、此免稅點ノ引上、累進率ノ引上ニ依リマシテ、政府ハ六百萬圓ノ增收ヲ致ス(增收カ)ト呼フ者アリ)增收デアアル、免稅點ノ引上ニ依テ相續稅ノ增收ヲ屬テ居ルコトガ、即チ社會政策ノ租稅立法ノ第二デアアルノデアリマス、地租ノ免稅點ノ引上ニ於キマシテモ、今回ハ委員會ノ修正ニ於テ多少ノ相違ハアリマシタケレドモ、其内容精神ニ於テハ何等異タル所ハゴザイマセヌト共ニ、全國一千一百万ノ農民ノ中ニ於テ、其半バ以上、六百万餘人ノ小農ハ之ニ依テ免稅ノ恩典ヲ得ル結果ニ相成ルノデゴザイマス(拍手)又通行稅ニ付キマシテモ、近年ノ統計ニ依リマスレバ、乘客一年ノ延人員ハ十一億六千三百萬人ヲ數ヘルノデアリマスガ、此中ニ於テ汽車三等客並ニ電車ノ乘客ノ延人員ハ驚クベシ、其九割ヨリ餘人ト云フ多數ノ中流階級以上ノ乘客ガ、此免稅ニ依テ税金ヨリ免レルト云フ大恩典ヲ蒙ルノデアアルノデアリマス、又醬油稅ノ額ハ僅ニ七百萬圓デゴザイマスケレドモ、是ハ生活ノ必需品デアリマスコトハ、政友會ノ諸君モ齊シク御認メノ通りデアリマス、全國自家用ノ醬油ヲ造テ居リマス者ノ數ノミヲ計算致シマシテモ、實ニ二百五十萬ト云フ多數ノ自家用醬油釀造ヲ致シテ居ル者ガアリマシテ、之ニ依テ見テモ如何ニ醬油ガ生活ノ必需品デアアルカト云フコトヲ明ニ立證致スノデゴザイマスガ、今回ハ此必需品ニ向テ全然免稅ヲ致スノデアアルノデアリマス(拍手)次ニ賣藥稅ニ付テ、賣藥稅ノ免稅ノ總額ハ實ニ一千万圓ノ多キニ上ルノデアリマスガ、此一千万ノ賣藥稅タル、實ニ中産階級以下ノ醫藥品デアルト云フコトハ、繰返シ政府ノ說明ヲ致サレタ所デアアルノデアリマス、最後ニ綿織物ノ廢稅ニ依リマシテ、歲入ニ二千五百萬圓ト云フ大ナル減收ヲ見ルニ拘ラズ、敢テ之ヲ斷行致シマシタルハ、是レ全ク社會政策ノ見地ヨリ出タモノニ外ナラヌノデゴザイマス、政友會ノ諸君ノ中ニハ、或ハ賣藥ノ中ニ於テモ仁丹ノ如キモノ、或ハ綿織物ノ中ニ於テモ

某ノ品物ハ決シテ日用品ニアラズト云フ御議論ノ下ニ、之ニ反對ヲ爲サラントスル如キ御口吻ガアルノデアリマステレドモ、如何ナルモノニモ例外ノ無イ原則ハナイノデアリマス、斯ノ如キ一ノ例外ヲ以テ常ニ一般原則ヲ否認セントスルガ如キ御議論ヲ爲サルコトハ、洵ニ政友會諸君ノ爲ニ惜ミテモ餘リアルコト、私ハ存ジマス(拍手)斯ノ如クニ致シマシテ、社會政策ノ減稅總額ハ七千七百七十萬圓ノ巨額ニ達シテ居ルノデアリマスガ、之ヲ補填スルニハ、何等カノ途ヲ講ゼナケレバナラヌコトハ申上ゲルマデモゴザイマセヌ、多年所謂積極的政策ノ餘弊ヲ承ケマシテ、緊縮整理ヲ致シタトハ云ヒナガラ、大正十二年大震災ノ餘殃ハ尙ホ今後數年ニ亘リマシテ、年々二億萬圓以上ノ負擔ヲ長ク國庫ニ煩ハシテ居ルノデアリマスルカラ、此減稅ニ對シテ、補填ノ途ヲ講ジナケレバナラヌコトハ當然ノ事デアリマス、然ラバ其補填ヲ何所ニ求メルカト申セバ、先般來政友會諸君ノ口ヨリ盛ニ說明ヲ御要求ニナツテ居リマス所ノ酒ノ増稅上、煙草ノ値上ニ依ツテ是ガ補填ヲ試ミタノデアアルコトハ、是ハ諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、政友會ノ諸君ノ御議論ハ、動モスレバ煙草ガ嗜好品デアアル、酒ガ嗜好品デアアルト云フコトヲ全ク忘却ヲ致サレタルガ如キ御議論ヲ爲サル、是ハ私ノ洵ニ遺憾トスル所デアリマス(拍手)今回政府ハ必要缺クベカラザル所ノ必需品ノ免稅ヲ致スト共ニ、必シモ是ガ無クトモ生活ニ妨ダザル嗜好品デアアル所ノ酒若クハ煙草ノ値上ヲシ、或ハ清涼飲料水ニ課稅ヲ致シテ、其補填ヲ致シタノデアアルノデアリマスルガ、之ニ關スル政友會諸君ノ御非難ハ斯様デアアルノデゴザイマス、其御非難ノ第一ハ、唯、今回ノ整理ニ依ル所ノ酒、煙草ノ値上ノ一部分ヲ指シテ、政府ノ社會政策の

ノ廢減稅デアアル、稅制整理デアルト唱フルニ拘ラズ、之ヲ見ヨ、酒ノ値上、煙草ノ値上ハ、非社會政策デアナイカ、是アルガ故ニ今回ノ稅制整理ハ社會政策的ニアラズト云フ御議論デアアルノデアリマス、斯ノ如キハ、本會議ニ於テモ、委員會ニ於テモ、幾度モ諸君ガ繰返サレタル所ノ議論デアアル、速記録ヲ通ジテ天下ニ明ニナツテ居ル所ノ議論デアリマス(拍手)諸君、此議論ハ之ヲ譬フルニ、一幅ノ山水ノ名畫ヲ批評シ、賞額ヲスルニ當リマシテ、山水ノ中ニ點ゼラレテアル一ツノ人物ヲ指シテ、是ハ山水ノ畫デアナイ、人物畫デアルト批評スル旨減法ノ御批評デアリマス、第二ノ政友會諸君ノ御非難ハ、酒ト煙草ノ増稅ハ政府ノ說明ヲスル所ニ依レバ、煙草ニ於テ二千二百萬圓、酒ニ於テ三千三百萬圓、更ニ清涼飲料水ニ於テ四百萬圓、詰リ六千萬圓デアアル、併シ政友會ハ之ニ對シマシテ、此數字ガ間違テ居ルノデアアルト云フ御想像デアリマス、何ノ基礎ニ依ツテ之ヲ御判斷ナサ、タノデアアルカ、其收入ガ多イト云フ御判定ニ付テハ、私共未ダ曾テ正確ナル基礎調査材料ヲ戴イタコトハナイノデアリマス(拍手)吾々々々々々タル一片ノ想像論ヲ基礎ニシテ、稅制整理ヲ議論スルコトハ眞平御免ヲ蒙リタイト思ヒマス(拍手)更ニ又政友會ノ諸君ハ今回ノ稅制整理案ガ社會政策的ニアラズト云フコトヲバ、如何ニモシテ高調シ、力説シ、強辯セントシテ居ル結果、過日モ三土君ヨリ御發表ニナリマシタ如ク、直接稅ト間接稅ト比較ヲ爲シテ、是ハ社會政策的ニアラズト云フ御議論ヲ爲サレテ居ルノデアリマス、此御議論モ玆ニ諸君ガ若シ今日ノ冷靜ニアラザル所ノ立場ヨリ去テ、靜ニ御研究ヲ爲サルナラバ、政友會ノ御主張ハ半文ノ價值ナキ所ノ御主張デアリマス、政友會ノ御議論ニハ今回ノ廢減稅ノ中

ニ於テ直接稅ニ關スルモノニ付キ其廢減ノ跡ヲ見ヨ、所得稅、地租、營業稅ニ依テ減ゼラレタル所ノ高ト、同ジ直接稅デアリマス所ノ相續稅ニ依テ増稅ニナリマシタル所ノモノ、及ビ新シク設定ヲ致サレタル所ノ資本利子稅ノ二ツヲ加ヘテ差引勘定ヲ致シテ見ルトキニハ、實ニ一千四百七十萬圓ト云フ茲ニ減稅ヲ見テ居ルノデアリナイカト云フ御議論デアリマス、此減稅ハ直接稅ハ資產階級ノ拂テ居ル所ノ稅デアアルト云フ御議論デアアル、洵ニ一ヲ知ツテ二ヲ知ラヌ、表面ヲ見テ裏面ヲ論ゼザル所ノ胡麻化シ論デアリマス、今回直接稅ニ依テ減稅セラレタル所ノ富豪ノ稅ヲ減ジタモノガ何所ニアル、悉ク其減ゼラレタルモノハ小所得者デアリマス、小資產家デアリマス、小地主デアアル、小營業者デアアル、是等ノ人ニ掛カル所ノ南接稅ガ千四百萬圓差引計算ノ上減ゼラレタコレガ不都合デアアル、非社會的政策デアルト云フナラバ、諸君ハ遺憾ナガラ小所得者、小地主、小營業者ノ敵デアラネバナラヌ、斯ノ如キ議論ガ何レニ在リマセウカ、諸君ハ動モスレバ社會政策ト云フコトヲ踏違ヘテゴザル、社會政策トハ酒カ煙草ノ價下モ下ダレバ社會政策ニ適フ如キ御考ヲ持テゴザイマスガ、小地主ニ免稅スルコトガ、何故社會政策ニ反スルカ、小所得者ニ免稅スルコトガ何故社會政策ニ反スルカ、小サナ營業者ヲ免稅スルコトガ何故社會政策ニ反スルノデアアルカ、洵ニ一知半解、何等ノ辨ヘナキ愚論デアルト申スヨリ外ナイ(拍手)更ニ間接稅ニ付テノ御議論ヲ何ツテ見マス、間接稅中ニ於テ減稅ヲ爲シタル所ノモノハ醬油稅デアアル、通行稅デアアル、賣藥稅デアアル、綿織物稅デアアルガ、是ト今回増稅ヲ致シタル所

ノ酒、煙草並ニ清涼飲料水ノ増加等ノ比較ヲシテ見ルト、六百萬圓ダケノ增收ニナツテ居ルノデアアル、故ニ間接稅ニ於テ六百萬圓ノ增收ハ、是ハ細民ニ對スル増稅デアルト云フ、斯様ナル論理ハ一皮徹サマル所ノ不徹底ナル御議論デアアルデアリマス、諸君、諸君ノ此御考ニ依ルト、此議論ヲ徹底セシメシメガ爲ニハ酒ト煙草ト清涼飲料水、即チ増稅新設ニナツタル是等ノ品物ハ、悉ク細民ガ欲ム物デアアルト云フ前提ガナクテハ此議論ハ立タナイノデアリマス、酒モ煙草モ、細民モ飲メバ中産階級モ飲メバ、上流階級モ飲ミマス、加之其必要ノ程度ヨリ申シマスレバ如何デアアルカ、之ヲ醬油ト比較スルコトガ出來ルカ、之ヲ綿織物ト比較スルコトガ出來ルカ、之ヲ通行稅、賣藥ト比較スルコトガ出來ルノデアアルカ、眼ヲ轉ジテ歐米先進國ニ於ケル事情ヲ御覽ナサイ、或ハ憲法ヲ改正シ、或ハ法律ヲ制定シテマデ、酒ノ如キハ生活ノ有害品トシテ之ヲ禁止ヲ致サントシテ居ルデアリマセヌカ、私ハ禁止令ヲ發布セヨト申スノデアリマセヌカ、生活ノ必需品ノ減稅ニ代ヘテ、嗜好品若クハ贅澤品トモ稱スベキ所ノ高價ナル酒ナドニ稅ヲ課シテ、此收入ノ埋合ハセラスルト云フコトヲ以テ、非社會政策的ナドト云フガ如キハ、洵ニ三尺ノ童子ト雖モ舌ヲ出シテ笑フ所ノ議論デアアル(拍手)次ニ砂田君ハ稅制整理ノ委員會ニ於ケレマシテモ、又當議場ニ於ケレマシテモ、五十圓乃至六十圓ト云フガ如キ、洵ニ小ナル生活ヲシテ居ル人々ノ家計豫算ヲ作シテ、其五十圓乃至六十圓ノ家計豫算ノ中ニ、今回減稅ニナリマス所ノ綿織物、賣藥並ニ通行稅、其他ニ依ツテ負擔ノ輕減スル所ノモノヲ算定シ、更ニ是等ノ家庭ニ於テ一日一個ノ朝日ヲ喫ミ、一夕一合ノ酒ヲ飲ムト云フ場合ニ於テハ、酒及朝日煙草ニ依テ負

擔ヲ重ネル方ガ差引助定多イノデアアルカ
ヲ、今更ノ稅制整理ハ細民ニ對シテハ斷ジ
テ增稅デアルト云フ御斷ヲ致シテ居ラル、
併ナガラ諸君、我ガ國民ハ米價ノ騰貴ヲ
致シ、米價高クナリタ時ニ於テサヘモ、此米
ト云フ必需品ニ對シテサヘモ、米價高ク
ナレバ其消費ヲ控ヘルト云フコトハ諸君ノ
御承知ノ通りデアリマス、酒ガ高クナリ、
煙草ガ高クナリタル後ニ於テ、假ニ其細民ガ
必ズ一日一箇ノ朝日ヲ喫ミ、一夕一合ノ酒
ヲ飲ムト假定致シマシテモ、其消費ハ必ズ自
發的ニ之ヲ減少致スハ當然デアリマスル
ガ、況ンヤ我ガ細民ハ斯ノ如キ假定ノ下ニ
論ゼラル、政友會ノ討論ノ御便宜ノ爲ニ、
一日一箇ノ朝日ト、一夕一合ノ酒ヲ用ヒ
ル所ノ義務ヲ負フモノデハナイノデアリマ
ス(拍手)吾々ニハ生活必需品ヲ減稅致ス爲
ニ、是ナクトモ必シモ生活ヲ妨ケザル所ノ嗜好
品ノ値上ニ依ッテ、其財源ヲ補填スル所ト云
フノデアリマシテ、是ガ爲ニ今回ノ稅制整
理ガ社會政策ノ精神ニ反スルナドト云フコ
トハ以テノ外ノ御議論デアルト云フコトヲ
茲ニ斷定ヲ致シマス(拍手)若シ強テ諸君ガ
非社會的ノ稅制整理ト言ハル、ナラバ、黃
金ヲ目シテ銅ト云フ者デアアル「グイヤモン
ド」ヲ硝子ナリト云フ者デアリマシテ、斯
様ナ曲辯ヲ爲ス者ト長ク此レ以上議論ヲ闘
ハス必要ヲ認メナイノデアリマス(拍手)次
ニ地方ノ稅制ニ付テ私ハ所見ヲ申上ダテ見
タイト存ジマス、地方稅制ハ府縣ニ於キマ
シテハ、雜稅其他附加稅ノ膨脹ニ依リマ
シテ、誠ニ非難ノ聲ガ高カクタノデゴザイマ
ス、市町村ニ於ケル財政ノ膨脹モ又其如
クデアアル、併ナガラ其原因何所ニ在ルヤト
考テ見マスルナラバ、固ヨリ文化自然ノ
發達ニ依リマシテ、財政ノ膨脹トナリ、租稅
負擔ノ膨脹トナリタノデゴザイマスガ、今日
府縣及市町村ガ此稅ノ膨脹ニ依ッテ苦ム所

ノ最大ノ原因ハ、多年ノ間政友會ガ政權ヲ
執テ、放漫限リナキ所ノ積極的的政策ヲ
爲シタ結果デアアル(拍手)今日ハ此
結果ニ依リマンテ亂雜ニ陷タル所ノ地方ノ
財政ノ大整理ヲ致サント致シテ居ルノデア
ル、府縣稅ニ於キマスル整理ノ綱要ハ、其
枝葉ニ互リマシテハ、種々ゴザイマスルケレ
ドモ、第一最モ苦情ノ多カリシ所ノ府縣營
業稅、並ニ雜稅ノ改廢ヲ致シタト云フコト
デアリマス、雜稅中ニ於テ府縣營業稅中
ニ移シマシタルモノハ十四種デアリマスル
ト共ニ、全ク廢棄ヲ致シマシタル數ハ、
實ニ二十七種デアリマス、府縣營業稅中ニ
於キマシテモ二十八種ト云フ數多キ稅ヲ
廢止ヲ致スト共ニ、之ニ依ッテ細民稅六
百萬圓ノ輕減ヲ致シタノデアリマス、之ヲ
目シテ非社會政策のナリト云フナラバ、是
ハ全ク政府ヲ誣ヒントスル所ノ曲辯デアリ
マス、斯ノ如クニ府縣營業稅、並ニ雜稅
ニ於テ六百萬圓ノ整理輕減ヲ致スト共ニ、
戶數割五千三百萬圓ヲバ、之ヲ廢シテ市町
村ニ移スト云フコトデアリマス、之ニ對シ
マシテ代ルベキ財源トシテ補完稅ノ一ツデ
アル所ノ家屋稅ヲバ府縣ニ設ケ、家屋ノ本
稅三千万圓並ニ從來市町村ニ於テ取立テマ
シタル所ノ所得稅附加稅二千万圓ヲ、市町
村ヨリ持ッテ參リマシテ、五千万圓トシテ、
是ガ補填ヲスルト云フコトガ、大體ノ骨子
ノ計畫デアリマス、其結果府縣ニ於キマシ
テハ、實ニ五百四十五萬圓ノ減稅ヲ見ルニ
至ルノデアリマス、家屋稅ニ付テハ政友會
ノ御方ガ御非難ヲ致サレ、本稅ニ於テモ三
千万圓ノ附加稅ニ於テ三千万圓ノ家屋稅ヲ
徵スルコトハ、是ハ貧民ニ重キ所ノ稅デア
ルト云ハレマスルガ、馬ヅ知ラン、今日マ
デ家屋稅本稅、並ニ戶數割ノ中ニ於ケル家
屋ノ非數ニ課スル所ノ家屋稅、及縣稅雜種
稅中ニ於ケル建物、家屋ノ稅ヲ合算ヲ致シ

テ見マスル時ニハ、全ク六千万圓ニ近イ五
千六百五十萬圓ト云フ額ハ、今日マデモ家
屋ニ課稅ヲ致サレテ居タルデアリマス、而
シテ府縣ニ於キマシテハ、今迄五千三百萬
圓ノ戶數割ニ代ヘテ三千万圓ノ家屋稅ヲ起
シ、更ニ中産以上ノ負擔ニ屬スル所ノ所得
稅ノ附加稅ヲ以テ之ヲ補ヒマシタルコト
ハ、全ク社會政策の意義ヲ具體化センガ
爲ノ、今回ノ府縣稅ノ改廢デアルト云フコ
トデアアルノデアリマス、市町村稅ニ付キマ
シテ一言ヲ致シタイト存ジマス、市町村稅
ハ政友會諸君ノ最モ力ヲ入レテ居ラル、所
デゴザイマシテ、是ガ爲ニハ大切ナル國稅
ノ體系ヲ紊シテモ尚且ツ地租委讓ヲセント
マデ力說ヲ致シテ居ラル所ノ市町村稅デ
アリマス、而シテ今回市町村ノ稅制整理ノ
概要ハ如何ナル事柄デアアルカト申シマス
ト、從來ノ戶數割附加稅トシテ取ラレテ居
タル一億七千万圓ノ全廢致シマシテ、更ニ
二千万圓ノ所得稅附加稅ヲ縣ニ移シ、之
ニ代ユルニ戶數割ヲ獨立財源トシテ市町村
ニ設ケ、之ニ依ッテ一億四千万圓ノ財源ヲ
得、更ニ之ニ加フルニ縣ニ於ケル家屋稅ノ
附加稅四千五百萬圓ヲ起シマシテ、而シテ
其補填ヲ爲スノデアリマスガ、此結果ハ實
ニ六百萬圓ノ減稅ト相成ッテ居リマス、併
シハ表面六百萬圓ノ減稅デアリマスケレ
ドモ、今回此議場ニ於テ問題トナリテ居リ
マスル所ノ教育費ノ増額ヲ併セ考ヘマスナ
ラバ、教育費ハ免ニモ角ニモ此議會ニ於キ
マシテ、三千万圓ノ増額ト相成ルノデゴザ
イマスカラ、六百有餘萬圓ノ市町村ノ減稅
ト合セテ一戸當リ丁度二圓ノ減稅ト相成ル
ノデゴザイマス(拍手)斯ノ如キモノガ實ニ
國稅並ニ府縣稅、市町村稅ヲ通ジテノ整理
デゴザイマシテ、歷代ノ内閣ガ企テ、爲サ
ント欲シテ爲ス能ハザリシ所ノ大業ヲ遂ダ
ルモノデアリマス、租稅系統整備ヲシ、

負擔ノ衡平、產業政策ノ助長、特ニ我黨
ノ多年ノ主張デアリ、根本精神デアアル所ノ
民本政治ノ深遠ナル哲學ニ基ク社會政策的
ノ稅制整理ヲ具體化シ、實現ヲ致シタル所
ノモノデアリマス、政友會諸君ハ此稅制整理
案ニ反對ナサレル、私ハ政友會諸君ニ此場合
一言申上ダテ見タイト思フ、吾々ノ此民本
政治ノ主張ニ基イテ提案ヲ致シタル普通選
舉ニ向ッテ、國家ノ害ノアルモノナリトシテ
反對ヲ致サレタル政友會ハ、其後深ク顧ミ
ル所アッテ、吾々ト共ニ此普通選舉ノ成立ニ
寄與致サレタノデアリマスガ、今回此社會
政策的租稅ノ立法ニ反對サレル所ノ政友會
ハ、數年ナラズシテ再ビ普通選舉ニ反對シタ
ルト同ジヤウナ海ヲバ貽サレザランコトヲ
茲ニ御忠告申ス次第デアリマス(拍手)私ハ
終リニ一言政友會ノ地租委讓ニ對シテ論評
ヲ試ミント欲スル者デアリマス、政友會ノ
地租委讓、之ニ對スル所ノ根本的御精神ハ、
本口議ニ於キマスル所ノ三土君ノ御說明、
並ニ委員會ニ於ケル質問應答ニ依ッテ明カ
デアリマス、地租委讓ハ其思想ノ源ヲバ明
ニ地方分權ニ發シテ居ラル所ノデアリマ
ス、私共ハ諸君ノ總裁ガ諸君ニ依ッテ吹カレ
ル所ノ笛ニ踊ッテ、地方分權ヲ高唱サレルヲ
聞イテ、其如何ナル意味デアアルカト云フコト
ヲ解スルニ苦シシタノデゴザイマスガ、今
回御提案ノ機會ニ於テ、政友會諸君ノ所謂
地方分權ナルモノ、眞意ヲ明ニ致シタルコ
トハ、洵ニ一ツノ幸ト心得マス、而シテ其
地方ノ分權ナルモノニ付テ三土君ノ御說明
ハ、地方分權ニ依ッテハ地方ニハ何等仕
ガ殖エルモノデハナイ、又是ガ爲ニ中央ニ
於ケル仕事ガ何等減ズルモノデモナイト云
フコトヲ答辯セラレテ居リマス、果シテ然
ラバ如何ナル事ヲ地方分權ト申サル、カト
云ヘバ、郡役所ノ廢止ナリ其他ニ於キマシ
テ、今迄郡衙其他ノ上級官廳ノ監督ノ下ニ

爲シタル事務ヲバ市町村長ニ委ネルト云フ、市町村長獨立デ以テ其處決ヲ爲シ得ル權利ヲ與ヘヤウト爲サレバヤウデアリマス、私共ハ此點ニ向テ反對ヲ致ス者デアリマセヌケレドモ、其内容ヲ窺ヒマスルト、如何ニモ言ノ壯ナルニ似ズ内容ノ貧弱ナルハ驚イタノデアリマス(拍手)内容ノ貧弱ナルハ姑ク之ヲ許スベシトスルモ、之ヲ前提ニ致シテ地租委譲トハ抑、何事デアアル、地方分權ヲ致シ、事務ノ簡捷ヲ爲シ、而シテ地方ニ於テ是ガ爲ニ事務ハ殖エナイト云フコトデアレバ、寧ロ市町村ノ事務ハ之ニ依ッテ、或ハ上官廳ニ伺フ所ノ往復文書、交通ニ對スル所ノ旅費等ヲバ省クノデアリマスカラ、市町村ノ經費、節減ノ原因トコソナレ、市町村ノ財政ニ對シテ獨立ノ財源ヲ無理強ヒニ強ヒテ興ヘナケレバナラヌト云フ原因ニハ斷ジテ相成ラヌノデゴザイマス(拍手)地租委譲ノ前提ナルモノガ既ニスノ如クニ内容ノ空虚ナルモノデアリト致シマスルナラバ、私ハ他ノ事柄ニ付テ多ク論駁ヲ試ミル必要ハナイト存ジマスケレドモ、政友會ノ御主張デアリマスルカラ、一二茲ニ御相手ヲ試ミル必要ガアルト存ジマス、政友會ハ地租ノ委譲ニ依ッテ國民ノ負擔ヲ輕減ヲ致スト言ハレマスルガ、是コソ地方ノ農民騙シノ議論デアアル、國民負擔ノ輕減ト云フコトハ、斷ジテ經費ノ節減ヲ除イテ外ニ途ハ無イノデアリマス、財源ノ移動ノ爲ニ、財源ヲ中央ヨリ地方ヘ移スガ爲ニ、國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトハ人類ノ「ロジック」ニハ、人間ノ「ロジック」ニハ無イ「ロジック」デアリマス、即チ地租委譲ハ國民ノ負擔ノ平衡ヲ期スルモノナリト言ハレルノデゴザイマスルガ、今日ノ市町村ニ於キマスル所ノ地租附加稅サヘモ、各町村ニ於テ區々ニ取ルガ爲ニ、不公平ノ聲ノアルコトハ諸君ノ能ク御承知ノ通りデアリマス、然ルニ本稅マデモ市町村ニ委譲スルト云フコト

デアレバ、地租委譲ガ負擔ノ公平ヲ圖ルドコロデハナイ、負擔ノ不公平ヲ愈々益助長ヲスル所ノ原因ニナルノデアリマス(拍手)昨日大口君ハ地租委譲ハ先進國ノ例ニアルト云フコトヲ此處デ申サレマシタ、又政友會ノ總務ノ重職ニ居ラハ、八田宗吉君ハ、委員會ニ於テ、全世界何レノ國ト雖モ地租委譲ヲセザル國ナシト云フコトヲバ、何ノ材料ニ依ッテ御調査ニナッタノデアアルカ、國別ニシテ御說明ニナッタノデアリマス、之ニ對シテ私ガ質問致シマスルト、是ハ政友會總務八田宗吉君個人ノ調査デアリ、意見デアルト云フコトデアリマシテ、三土君ハ私ニ答ヘテ、若シ其例ヲ求メラル、ナラバ、「プロイセン」ト英吉利デアルト云フ御答辯デアッタノデアリマス、私ハ奇怪至極ナル御調査ノ材料デアルト申サナケレバナラヌ、世界國ヲ成スモノ多シト雖モ、何レノ處ニカ地租ヲ地方ニ委譲ヲシテ居ル國ガアルデアリマセウカ、試ニ三土君ノ御材料ニ付テ申上ダマス、英國ニ於キマシテハ中央ニ地租ガ無イト云フコトヲ申シテ居リマス、是ハ政友會ノ地租委譲トハ全く別デアリマス、中央ニ地租ガ無イノヲ見テ、之ヲ委譲シタノデアラウト云フ御想像デハ證據ニ相成ラヌ、會テ英國ニ於キマシテハ英佛戰爭ノ軍費ト致シマシテ、時ノ宰相「ピット」ノ手ニ依ッテ、大地主ヨリ永久ニ互ル所ノ地稅ヲ軍費ニ取上ダテシマツテ居ルノデアリマスカラ、中央ニ於テハ地租ガ課セラレナイト云フ原因ガアルノデアリマス、「プロイセン」ハ如何デアアルカ、「プロイセン」ノ例ヲ以テ金料玉條ノ如クサレテ居リマスガ、「プロイセン」ハ地租ヲバ千八百九十三年ニ地方ニ委譲シタト申サレマシタガ、豈圖ランヤソレハ昔ノ話、三土君ノ御若イ時ノ話デアアル、千九百十八年ニ於キマシテハ立派ニ委譲ヲ致シタル地租ヲバ、再ビ中央ニ還元ヲ致シテ居ルノデアリマス、假ニ左様ナ議論ハ別ト致

シマシテ、千八百九十三年ノ地租委譲ノ實際ヲ御覽ナサイ、「プロイセン」ニ於キマシテハ中央ニ於テ所得稅ト、ソレニ對スル補完稅ト致シマシテ、立派ニ財產稅ト云フモノヲ設ケテ、中央デモ地租ニモ自ラ課稅スルノ途ヲ開キ、而シテ之ヲ地方ニ委譲シタノデアツテ、政友會ノ如クニ中央ニ於ケル補完稅ノコトモ、稅ノ體系ノコトモ、何等ノ御構ヒナク無暗矢鱈ニ地方ニ割イテ行クト云フガ如キ、亂暴至極ナル地租委譲ヲヤッタ所ハ、世界何レノ國ニ於テモ無イノデアリマス、佛蘭西ニ於キマシテモ地租トシテハ取ツテ居リマセヌケレドモ、地租ノ形ヲ變ヘテ農業所得稅ト云フヲ取ツテ居ル、伊太利ニ於テモ現在地租ヲ取ツテ居ル、地租ニ於テモ其通り、唯一ツ亞米利加デアリマス、亞米利加ハ「ステート」ニ於テ地租ヲ取ツテ、合衆國ニ於テ地租ヲ取ツテ居ラヌデハナイカト云フカモ知レヌガ、是ハ國ノ成立ガ違ヒマス、亞米利加ハ憲法ニ於テ直接國稅ハ人頭稅以外ニハ取レナカッタ、千九百十年ニ於テ憲法マデ改正致シテ、僅ニ所得稅ヲ直接國稅トシテ取り得ルト云フコトニ致シタノデアツテ、亞米利加ガ各「ステート」ニ於テ地租ヲ取ツテ居ルト云フコトハ聯邦國デアリマスカラ、恰モ日本ニ於テ國稅トシテ地方稅ヲ取ツテ居ルノト少シモ精神ハ變ラナイノデアリマス、斯ノ如キデアルニ拘ラズ、堂々タル大口君ガ此壇上ニ於テ、世界何レノ國カ地租ヲ委譲セザルモノアリヤト言ハル、ガ、平素洵ニ尊敬ヲ致シテ居リマスル大口君ノ御調査ニ對シテハ、今日ダケハ遺憾ナガラ尊敬ノ意ヲ拂フ譯ニハ參リマセヌ、私ハ委員會ニ於キマシテ政友會ノ所謂地租委譲ナルモノハ、全く輿論ト逆行ヲ致シテ居ルモノデアルト云フコトヲ申上ダタ(拍手)其故如何トナレバ、數年前政友會ノ諸君ハ地租委譲ヲ提唱サレタ時ハ、實ニ院內ニ於テ二百八十ノ多數ヲ制シ

テ居ラレタノデアアル、與黨ト致シマシテハ革新俱樂部ガアツテ、三十名前後ノ黨員ヲ率イテ、又地租委譲ノ說ニ同意ヲ致サレテ居ッタノデアリマス、會テハ二派提携、院內三百有餘名ノ地租委譲論ハ今日ハ如何ナル姿デアアルカ、尾羽打枯シテ、一派單獨百六十名ノ主張デハナイカ(拍手)恰モ春ノ日陰ニ置カレタル雪達磨ガ、太陽ノ光デ融ケルガ如キ所ノ地租委譲デアリマス、斯様ニ評シマシタ所、三土君曰ク、私ハサウハ思ハヌ、地租委譲論ハ春萌エ出ツル所ノ草木ノ芽ノヤウナモノデアツテ、是カラ生立ツノデアルト云フコトヲ申サレマシタガ、地租委譲論ガ果シテ草木ノ芽ノ如ク將來生立ツモノデアルトスルナラバ、是ハ田畑山林ヲ荒ス毒草雜木デアリマスカラ、速ニ今日嫩葉ニ於テ刈取ラナケレバナラヌ所ノモノデアラウト存ジマス(拍手)政友會諸君ハ近年極メテ進歩改善ノ跡アルコトヲ見テ、私ハ頻リニ敬服ヲ致シテ居ル、單リ地租委譲ニ於テノミ舊套ヲ墨守シテ居ラル、ハ是レ如何ニ、何ヲカ政友會ノ進歩ト云フカ、會テハ放漫濫恣至ラザルナカリシ所ノ財政策ヲ一擲シテ、我黨ト共ニ行政財政ノ整理ヲ參畫致サレタルハ其一デアリマス、國家ニ害アリ、社會ニ害アルモノトシテ反對ヲ致サレ、解散ノ具ニ使タル普通選舉ニ對シテ、最近是ガ成立ノ爲ニカヲ貸サレタルコトハ其一デアリマス、三派協調内閣破レテ後ニ於テ、政友會ハ昨年十一月十四日中ノ島ノ公會堂ニ於テ大會ヲ開イテ、新米——政友會トシテハ新參ノ一議員犬養毅ヲシテ、政友會中興ノ祖デアアル所ノ原敬君ノ遺訓ヲバ彈劾セシメテ曰ク、從來ノ政黨ガ——犬養毅曰ク、從來ノ政黨ガ政治ハ力ナリト云ヘル如キ誤レル思想ニ依ッテ導カレタルコトハ、政黨腐敗墮落ノ原因ヲ成シテ居ルト思ヒマスト、洵ニ中興ノ祖タル原君ニ對スル彈劾デアリマスケレドモ、政黨ノ精神ト致シマ

シテハ、進歩改善ノ跡ヲ認メテ、私ハ敬服ヲ致シテ居ル、單リ此地租委讓ノミニ於テ相變ラズ舊套ヲ墨守シテ居ラル、コトハ、政友會ノ爲ノミナラズ、國家ノ爲ニ洵ニ遺憾至極ノ事デアリマス、願クハ政友會ノ諸君ハ速ニ地租委讓論ヲ拋棄サレ、又只今議題トナシテ居リマス所ノ政府案ヲ中心トセル修正案ニ贊成セラレ、滿場諸君全部舉テ御贊成投票ヲランコトヲ希望ヲ致ス次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 嶋居哲君

(嶋居哲君登壇)

○嶋居哲君 我ハ委員長報告ノ政府提出法案ヲ一括シテ之ニ反對スル者デアリマス、而シテ我ガ政友會提案ノ地租委讓ニ對シテ贊成ヲスル者デアリマス(拍手)而シテ義務教育費國庫負擔額ニ付キマシテハ、是ハ特別委員會ノ修正案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、此度政友本黨ノ御提案ニ依リマシテ、憲政會ガ二千万圓ヲ要求サレテ居リマシタガ、之ニ對シテ三千万圓ヲ増額、而モ是ハ八千万圓ト云フモノヲ前提トシタル増額ヲ妥協シタルデアリマス、義務教育費ノ増額ハ大正十三年ノ十二月二十日ノ豫算内示會ニ於ケル其質疑應答ニ於テ、加藤總理大臣及大藏大臣……

(此時發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○嶋居哲君(續) 此兩大臣ハ、我黨義務デアル岡崎及小川ノ兩總務カラ、義務教育費ニ對スル此二千万圓ト云フ額ニ對シテ非常ナル懇請ヲシタ結果、遂ニ此二千万圓ト云フノニ應ジタルデアリマスルガ、其當時ニ此總理大臣及大藏大臣ハ、大正十四年度及十五年度ノ二箇年間ハ絕對ニ是ハ増加スルコトハ出來ナイ、即チ是ハ不可能デアルト云フコトヲ言明サレタルデアリマス(拍手)併ナガラ我黨總務ノ熱誠ナル勸告ニ從ハレテ、遂ニ此二千万圓ハ出スコトガ出來タノ

デアリマス(拍手)濱口藏相ハ動モスレバ豫算ヲ切詰メテ、一錢一厘ト云フモノモ出ナイヤウナコトヲ始終仰セラレルノデアアル、實ニ濱口藏相ハ自ら正直ヲ以テ任ジテ居ラレルカドウカハ存ジマセヌガ、世間或ル部分ノ人ハ、非常ニ正直ナヤダト思ウテ居ルデアリマスガ、豈圖ランヤ此濱口藏相ハ義務教育費ノ増額ハ遂ニ飽細工ノ如ク、幾ラデモ引延バシ出スコトガ出來ルト云フ、今度ノ妥協案ガ成立シタルデアリマスルガ、斯ルコトハ一國ノ大藏大臣トシテ洵ニ其定見ニ於テ、其豫算ニ對スル確固タル主義ノナイト云フコトガ、此所ニ暴露サレタモノデアルト云フコトヲ、私ハ斷言シテ憚ラザル者デアリマス(拍手)私ハ此稅制整理案ニ付テ、我ガ同志諸君ヨリ懇切丁寧ニ論議サレテアリマスルカラ、少シク御考ノアル人ハ最早十分ニ御分リニナシテ居ルコトデアラウト思フ、今此處ニ登ラレタル山田君ハ我黨ノ說明ニ對シテ甚ダ荒唐無稽ノ說ナル如ク仰セラレタルデアリマス、併ナガラ山田君ノ前ニ出タ砂田君ハ、非常ニ精密ナル統計ニ依リ、非常ニ精密ナル數字ニ依リ、而モ此速記録ニ是等ノコトヲ別ニ提供シテ正確ナル統計ニ立論ヲ置カレテ居ル、其砂田君ノ說ガ荒唐無稽ナル說デアッテ、山田君ガ哲學ダトカ、或ハ世界ガドウシタトカ、

斯様ナルコトデ何等數字ノ根據ヲ持タザル議論ヲ以テ、他ノ議論ヲ空漠ナリト云フガ如キニ至テハ(拍手)洵ニ私ハ笑止千萬ナル次第デアルト思フ(拍手)私ハ斯様ナル議論ニ對シテ一々反駁スルノ勇氣ヲ持タナイノデアリマス、之ヲ要スルニ内閣殊ニ濱口大藏大臣ノ主張セラル、稅制整理案ヲ維持スル一ツノ辯護論タルニ過ギナイノデアリマスルカラ、私ハ現内閣ノ稅制整理ニ對シテ私ガ批評ヲスレバ十分デアルノデアリマス(拍手)私ハ簡單ニ時間ノ節約上、又先日カラ今日マデ論ジラレ、既二十五日間ト云

フ永イ經過ヲ以テ、委員會デ調査研究シテ居ルコトデアリマスカラ、茲ニ私ガ悉クノ議論ヲ繰返スト云フコトノ煩ヲ避ケタイト存ジマス、先ツ此稅制整理案ニ對シテ問題ノ中心トナリマシタルモノハ、四ツノ點カラ吾々ハ考ヘ得ルノデアリマス、第一ハ體系論デアリマス、第二ハ立法並ニ行政ノ問題、即チ此稅ノ立法方ト、サウシテ稅務行政ニ對スル問題デアッタノデアリマス、其次ハ此社會政策の見地カラ是ガ論ジラレタノデアアル、第四ニハ此稅制整理案ガ果シテ増稅ナリヤ、減稅ナリヤト云フ點ニ付テノ論議デアリマスルカラ、此四ツノ點ニ對シテ、此稅制整理案ノ論點ハ盡サレテ居ルモノデアラウト私ハ信ズルノデアリマス(拍手)體系論ニ付テハ既ニ小川、大口諸氏カラ繰返サレテ居リマスカラ、私ハ此體系論ガ是等ノ人ニ依リテ述ベラレナカッタ他ノ方法ニ依テ之ヲ申述ベテ見タイ、即チ繰返スマデモナク、我國ノ租稅體系ト云フモノハ、所得稅ヲ中樞トシテ之ニ地租營業稅ト云フモノヲ配シテ居ルノデ、此體系ノ下ニ我ガ租稅ト云フモノハ出來テ居ルノデアリマスカラ、此大體ノ從來ノ體系ヲ、此度ノ政府モ是認シテ、之ニ少シノ變革ヲ爲シタルデアリマスカラ、今度ノ稅制整理ニ於テ變ヘラレタル體系、即チ此變化ヲ及ボシタルモノガ果シテ適當ナリヤ否ヤト云フコトヲ考ヘテ見レバ宜シイノデアリマス、此度地租ヲ從來ノ如ク致サナイデ、近キ將來ニ於テハ是ガ課稅標準ヲ賃賃價格ニ求メルト云フノデアリマスカラシテ、是ハ即チ今迄ノ地租ノ狀態ト變リマシテ、一種ノ財產稅ノ形ヲ取リタモノデアリマス、營業稅ヲ變ヘテ營業收益稅ト變革シタルデアリマス、其課稅標準ト云フモノハ、純益ト云フモノヲ標準トシタルデアリマスカラ、是ハ即チ特別所得稅ノ形式ヲ持ッテ來ルノデアアル、サウシテ新ニ設定セラレタル、此資本利子稅ト云

フモノハ即チ所謂收益稅デアリマス、デアリマスルカラ此度改正サレタル所ノ此地租ガ一種ノ財產稅デアリ、營業收益稅ガ特別所得稅デアアル、サウシテ此資本利子稅ト云フモノガ所謂收益稅デアリマスルカラシテ、是等ノ三ツノ補完稅ト云フモノハ、各其性質ヲ異ニシタモノデアリマシテ、其間何等ノ連絡ナク、唯、是ガ補完稅ナリト云フ概括的觀念ノ下ニ羅列サレタルニ過ギナイノデアリマス(拍手)デアリマスルカラ、斯様ナル租稅體系ヲ變更スルコトニ依リテ、而カモ現政府ガ其租稅體系ヲ整ヘ得タリト稱スルニ至ラレハ、洵ニ驚入タル次第デアリマス(拍手)斯ル變態的ノ租稅體系ハ、文明國ハ愚カ野蠻國ニモ如何ナル外國ニモ、我ガ日本ノ此度ノ改正セラレタルヤウナ、變態的體系ヲ有スル國ハ一國モ無イト云フコトヲ、私ハ此壇上ヨリ言明シテ憚ラナイ者デアリマス(拍手)デアリマスカラ、之ニ依リテ當然生ズル所ノ負擔均衡論ノ如キハ、到底出來得ナイコトデアリマスルカラ、此一點ニ於テ、私ハ既ニ今回ノ稅制整理案ト云フモノガ、贊成スベカラザルモノデアルト云フコトヲ、言明シテ憚ラザル者デアリマス(拍手)次ニハ立法技術ト申シマスルカ、或ハ稅務行政ト申シマスルカ、其方面カラノ論點ヲ論ジラレタルデアリマス、

此問題モ有ユル問題ニ觸レタルデアリマス、既ニ多クノ前ノ方ミカラ申述ベラレタルデアリマスカラ、是等ノ人ガ申述ベラレナカッタ點ニ於テ、一ニ私ハ申述ベタイト思ヒマス(拍手)今回設ケラレマシタル所ノ營業收益稅ト云フモノ、此營業收益稅ト云フモノハ、今迄ノ營業稅ヲ營業收益稅ニ變ヘタルデアリマスルカラ、其營業收益稅ニ變ヘタルデアリマスルガ、前ノ營業額ニ課稅サレテ居ッタノデアリマスルガ、今度ハ總收入ヨリ必要ナル經費ヲ差引イタル純益ニ課稅スルト云フノデアリマスルカラ、今度ノ政府

五〇三

ノ改正ガ如何ニモ机上論トシテハ立派ニ聞
 エルノデアリマス、此點ニ付テハ此實際ノ
 問題ガ出來得ルナラ、吾々ハ勿論雙手ヲ舉ゲ
 テ賛成スルノデアリマス、吾々ハ元來、憲
 政會ノ諸氏ハ永ク營業稅ヲ廢止スルコト
 ヲ唱ヘラレテ居、タノデアリマスルカラ、
 朝ニ在レバ必ズ此事ハ廢稅サレルモノト信
 ジテ居、タノデアリマス、併ナガラソレヲ爲
 サズシテ、實ニ机上論トシテハ其前美ニ
 シテ、實ニ於テハ寧ろ營業稅ヨリ惡クナッ
 ト云フヤウナ實情ヲ呈シテ居ルノデアリマ
 シテ、此營業收益稅ニ對シテ、先ヅ如何ナ
 ル點ニ於テ其所得標準ヲ決メルカト云フコ
 トニ付テ、之ヲ我ガ當局ニ尋ネテ見マシタ
 所ガ、即チソレニ對シテハ答辯ハ出來ナイ
 ノデアリマス、即チ是ハ所得稅調査委員會
 ニ付スルノダト云フ、此所得稅調査委員會
 ニ付スル、其付スベキ前提ハ何ニ依ルカト
 云ヘバ、稅務署長ノ調査ニ依、タル其調査
 書ヲ基準トシテ、此調査書ヲ即チ所得稅調
 査委員會ニ廻シテ、サウシテ此調査委員會
 ノ決ヲ經テ、之ニ課稅スルノデアルカラシ
 テ、然ラバ稅務署長、ソレ等ノ稅務官吏ガ
 果シテ如何ナル課稅標準、即チ所得ノ課稅
 標準ヲ如何ナル標準ニ於テ爲スカト云フ點
 ニ至、テハ、大藏當局ハ——私ハ其節ハ
 口頭ニ答辯ガ出來ナケレバ、書面ニ答辯シ
 テ吳レテモ宜イト云ウタノデアリマス、併
 ナガラ此點ハ遂ニ答辯ハサレマセナシ、
 私ハ收益課稅ト云フコトハ、名前ハ美ニシ
 テ實ハ到底出來ナイコトデアラウト信ズル
 ノデアル、即チ此課稅標準ト云フモノハ、
 結局各地方々々ノ狀況ニ從、テ、即チ推定
 的ノモノニナリマスルカラシテ、實際ノ利
 益ヨリハ遠ザカル或ル一ツノ推定標準ニ
 從、テ課稅ヲ定メラレルモノデアアル、例ヘ
 バ販賣業者ノ收入ヲ實際ニ幾ラアルカト云
 フコトヲ調ベテ見ル折ニハ、即チ其販賣業者
 ノ持テル商高、ソレニ對スル價格ノ調

査及全體ノ販賣及仕入、諸雜費ヲ差引ク
 等、悉クノモノヲ調査シナケレバ、實際ノ
 純益ト云フモノハ現レテ來ナイノデアリマ
 ス、併ナガラ斯ル事ヲ調ヘルト云フコト
 ガ、稅務官吏ニ果シテ出來ルデアリマセウ
 カ、ドウデアリマセウカ、斯様ナル事ハ速
 モ稅務官吏ニ於テハ出來得ナイコトデア
 カラシテ、名前美ニシテ其實之ニ伴ハズト
 云フ結果ヲ生ズルノデアリマス(拍手)而
 モ此度此營業收益稅ノ免稅點ヲ四百圓ニ
 シタト云フコトハ、先刻山田君ガ二千
 圓ヨリ是ハ免稅點ヲ上ダテアルト言フ、
 二千圓ハ即チ一割儲ケレバ二百圓デア
 ルガ、今度ハ四百圓純益ヲ見タノデアルカ
 ト云フヤウナ議論ガアリマシタガ、是ハ議
 論ニナラヌ、二千圓ノ額ニ對シテ一割課稅
 年ニ二百圓ヲ儲ケテ、是デ國民ガ食、テ行
 ケマスカドウデアリマスカ、左様ナ事ヲ議
 論スル餘地ハ無イト私ハ考ヘルノデアリマ
 ス(ヒヤ)——私ハソレヨリ外ノ方面カラ御
 互ニ攻究シテ見タイ、即チ此四百圓ト云フ
 免稅點ヲ設ケテアリマスカラシテ、是ハ四
 百圓以上千二百圓マデハ、此販賣業ヲスル
 營業者ハ課稅ヲ受ケルノデアリマス、而モ
 所得稅ヲ納ムル者ハ、即チ千二百圓以下ハ
 免稅サレル結果トナルノデアリマスルカラ、
 即チ國民ノ生活限度ハ千二百圓デアリマシ
 テ、千二百圓以下ノ販賣業者、小賣人、小
 商人ト云、夕風ナ者ハ、特ニ課稅ヲ受ケル結
 果トナルノデアリマス、當局ハ是ハ間接稅
 ヲ布イテアルカラダト言ハレルノデアアル、
 各、其所得稅トサウシテ此營業收益課稅ト
 ハ、ソレハ違フコトハ明カデアリマス、是
 ハ間接稅デアアルノデアリマスルカラ、ソレハ
 違フコトハ明カデアリマスケレドモ、其實
 際ニ於テハ、私ハ此補完ハ惡イ意味ニ使用
 サレタル補完作用デア、斯ノ如ク惡用サ
 レタル補完作用ハ、斷平トシテ吾々ハ此他
 ノ方法ヲ執ラナケレバナラスノデアアル、尙

ホ此度本黨ト憲政會トハ、非常ニ親シク妥
 協サレタヤウデアリマスガ、其妥協ノ中カ
 ラ生レテ出テ來タ其中ニ、市町村ノ即チ地
 租二百圓以下ノ免稅點ヲ設ケラレテ居リマ
 ス、是ハ今度ハ活カスコトニナッテ居ルノデア
 リマスルカラシテ、此二百圓以下ト云フモ
 ノヲ定ムルコトモ、相當調査ヲ要シテ之ヲ
 調査スルト云フコトモ、中ニ是ハ面倒ナ事
 デアルガ、隣村市町村ヲモハ包括スルト云
 フコトニナルノデアリマアルカラ、其爲ニ
 二百圓以下ノ其免稅點ノモノヲ定ムルト云
 フコトハ、是ハ洵ニ其帳簿ヲ作製スル上ニ
 付テ、實際ニ於テ非常ニ私ハ困難ヲ生ズル
 コトデアラウト思フノデアリマス(拍手)又
 自作農ト小作人トノ其違ヒニ於テモ、是ハ
 小作人デアアル、是ハ自作農デアルト云フコ
 トヲ定メル場合ニ於テ、是ガ認定ト云フモ
 ノハ、一々其第一地ニ當、テ行カナケレ
 バナラスノデアリマスルカラ、是等ノ面倒
 ヲ生ズル、實際ノ稅務行政ノ上カラ甚ダ煩
 雜ナル結果ヲ來シテ、爲ニ私ハ市町村ノ財
 政ト云フモノガ非常ニ大キクナッテ、此今
 度ノ改正ノ爲ニ私ハ數百圓ノ膨脹ヲ來ス
 モノナリト云フコトヲ、茲ニ壇上ヨリ申上
 ダル次第デアリマス(拍手)此點カラ言ウテ
 モ、今度其立法及行政ノ問題ニ付テモ、多
 クノ缺點ヲ有シテ居リマスルカラシテ、私
 ハ此稅制整理案ニハ賛成出來ナイノデアリ
 マス、次ニ行政整理ノ社會政策ノ見地カラ、
 私ハ此事ヲ取扱、テ見タイト思フ、此事ハ
 色々諸君ガ論議サレテ盡シテ居リマスカ
 ラ、私ハ此事モ出來得ル限リ簡單ニ申上
 ダマス、今ノ大藏大臣並ニ政府當局、先
 刻山田君ノ說モサウデアリマシタガ、今度
 廢止サレタル醬油稅、或ハ其他ノ營業印紙
 稅トカ、通行稅トカ、織物消費稅トカ、
 是等ノモノヲ一々捉ヘテ、是ガ即チ社會政
 策デアアル、通行稅ヲ廢サレル是ガ社會政策
 デアル、醬油稅ヲ廢サレル是ガ社會政策デ

アルト云、テ、寧ろ是ガ總テ社會政策的見地
 ヨリ來、テ居ルモノデアルト云フノデアリ
 マス、併シ私ハ或ル盲人ガ象ヲ評シタ言葉
 ヲ聞イテ居リマス、盲人ガ象ヲ評スルノニ
 足ヲ握、タ者ハ大キナ柱ナリト言ヒ、耳ニ
 觸、タ者ハ大キナ風呂敷ト云、タヤウニ、
 此政府ノ社會政策ノ論據ハ、恰モ盲人ガ象
 ヲ評スルガ如キモノデアリマス(拍手)苟モ
 一國ノ内閣ニ在、テ社會政策ヲ論ズル以上
 ハ、稅制整理ノ總體、即チ全體ノ見地カラ
 見テ、果シテ是ガ國民中產階級以下ノ負擔
 ヲ輕減セルモノナリヤ否ヤノ見地ニ立、テ、
 此社會政策ヲ論ジナカ、タナラバ、個々別々
 ノモノニ對シテ、是レ社會政策ナリト言
 フニ至、テハ私ハ實ニ政府當局ノ其見方ニ
 對シテ、甚ダドウモ不思議ナル觀念ヲ懷ク
 ノデアアル(拍手)大體ニ於テ今度廢止サレタ
 ル稅ニ對シテ、通則的ニ大藏大臣モ認メラ
 レ、吾々モ認メテ居ルコトガアル、此醬油
 稅ニシテモ、賣藥稅ニシテモ、通行稅ニシ
 テモ、又織物消費稅ニ致シマシテモ、國民
 ハ此稅ノ爲ニ其負擔ヲスルカガ無イ程ニ國
 民ガ衰ヘテ居ナイト云フ點デアリマス、即
 チ是等ノ點ニ付テハ、現ニ大藏大臣ハ委員
 會ニ於キマシテ、負擔ニ堪ヘナイ稅デナイ
 ト云フコトヲ言明サレテ居ルノデアリマス
 カラ、此點ニ於テハ大藏大臣モ同感デア
 ルノデアリマス、是ハ特別委員會ニ於ケル速
 記録ヲ御覽下サレバ、賣藥稅ニ付テ宮島
 君ト應答サレタル折ニ、賣藥印紙稅廢止ニ
 付テ、濱口大藏大臣ハ答辯シテ居ル、明ニ
 其事ハ申述ヘラレテ居リマス(拍手)是ハ速
 記録ヲ御覽ニナレバ明カデアリマス、斯様
 ナル稅ガ一律ニ國民負擔ガ之ニ堪ヘラレナ
 イト云フ狀態デナイト云フコトガ明カデア
 リマス、而モ其額タルヤ醬油稅ハ七百萬
 圓、賣藥稅ハ一千万圓、斯ウ云フコトニナ
 ルノデアリマシテ、是等ノ稅ガ大體ニ於テ
 國民ノ負擔ガ堪ヘ得ナイト云フノミナラ

ズ、醬油税ノ如キハ、醬油同業組合カラ私ノ所へ醬油税存置ノ請願ト云フモノガ參テ居ルノデアリマス、此醬油税ヲ廢メテ吳レテハ困ルト云フコトヲ、醬油同業組合カラ言ウテ來テ居リマス、サウシテ其一節ヲ讀ンデ見マシレバ「從來ノ醬油ハ一石ニ付テ一圓七十五錢ナレハ、一人當リ頗ル輕微ニシテ使用者ノ苦痛トスル程度ニアラズ實ニ況ヤ此稅アルカ爲ニ、能ク粗製濫造ノ弊ヲ防グト共ニ品質改善向上ヲ企圖スルノ便アリ其ノ冥々ノ裡ニ國民保健ヲ維持シ加フルニ毫モ生活ノ安定ヲ脅威スルモノニアラス」ト云フコトガ其一項ニ在ルコトハ、吾々ト考テ同ジウスルモノデアリマス(拍手)賣藥稅ノ如キニ至ラテハ、私ハ内務衛生局長ニ、特別委員會ノ席上ニ來テ貫テ、果シテ此賣藥印紙稅ヲ廢止スルコトニ依テ、國民保健ノ上ニ如何ナル施設ト、如何ナル手續ヲ執テ居ルカト云フコトヲ聽イタノデアリマス、是ハ詳シク説明スレバ明ニナリマスガ、憲政會ニ於テハ中原君ノ如キ、又宮島君ノ如キ、其道ニ掛ケテノ精シキ方ガアリマスルカラ、私ハ此點ハ説明シナクテモ分ルデアラウト思ヒマス、即チ此印紙稅ヲ廢スルコトニ依テ、非常ニ國民ノ保健ニ害ヲ及ボスト云フ結果ヲ生ズルノデアリマスカラ、政府當局ハ此廢稅ヲ行フト共ニ、相當ナル國民保健上ノ施設ヲ爲サナケレバナラヌ、即チ取締規則、其他ノモノヲ設ケナケレバナラヌノデアリマス、デアリマスカラ此廢稅スルニ付テハ、豫メ大藏省ト内務省トノ間ニハ、一定ノソコニ連絡ト提携ガナケレバナラヌノデアリマス、ソコニ於テ、大藏省ト内務省トハ何等提携連絡ガ無クテ、憲政會ト本黨ハ連絡ガアツテモ、大藏省ト内務省ハ無イノデアリマス(拍手)私ハ斯ル事ヲシテ、斯ル事ヲシテ、果シテ國民ガ安心シテ此印紙稅ヲ撤廢シテ貰フコトガ出來ルカドウカト云フコトニ付テ、洵ニ私ハ危險

ナル狀態ニ置カレテ在ルモノデアルト思フノデアリマス、通行稅ニ於テモ亦同ジ議論ガ生ズルノデアリマス、即チ通行稅ノ中ノ大部分ハ何デアアルカト云ヘバ、即チ電車ヨリ上テ來ル所ノ金デアリマシテ、是ガ六百七十萬圓ノ金デアリマス、而モ汽車カラ上テ來ル金ハ、四百萬圓ニ過ギナイモノデアテ、汽船其他カラ上テ來ル金ハ、洵ニ微々タルモノデアリマスカラ、此通行稅ヲ廢止スルト云フコトハ、都會ニハ洵ニ宜イコトデアアル、即チ文化ノ餘澤ニ浴シテ、此都ニ住メル人々ノ爲ニハ、洵ニ都合ナル廢稅デアリマス、此事ニ付テハ私モ同ジ意見デアリマス、併ナガラ一度農村ニ足ヲ向ケレバ、即チ此通行稅ニ依テ恩惠ヲ受クルコトハ甚ダ少ナイ、殆ド無イト斷言シテ宜イノデアリマス(拍手)此點ニ付テハ、大藏大臣ニ私ガ此事ヲ問フタ折ニ、即チ是モ速記録ヲ御覽ニナレバ明ニナルノデアリマスカ、成程都會ニハ此通行稅ト云フモノハ、明ニ都會ニノ輕減サレルモノデアアル、其代リニ政府ノ方デハ地租ニ於テ田畑地租ノ一分減ヲ行テ、ソレデ以テ平均ヲ取テ行ク、即チ負擔ノ均衡ヲ取テ行クンダト云フテ居ルノデアアル、所ガ其地方ノ地租一分減ト云フモノハ、即チ妥協ノ産ム所トナツテ消エテ無クナツタノデアリマシテ、此言明ニ對シテ大藏大臣ハ何ト御答ガ出來ルデアリマセウカ(拍手)私ハ洵ニ大藏大臣ノ其言明ノ無責任ニシテ、既ニ數日前此特別委員會ニ於テ述ベラレタ言明ガ、妥協ニ依テ裏切ラレテ居ルノデアリマス(拍手)而モ今度ノ問題ハ、斯様ナ社會政策ト稱スルモノモ、其悉クニ當テ見レバ、一ツモ満足ナモノハ無イノデアリマス、其背後ニハ増稅ト云フコトヲ行テ居ルノデアリマス、即チ清涼飲料稅ヲ課シテ、サウシテ峠ノ茶屋ニモ、或ハ其處ノ車屋ノ前ニモ「ラムネ」ヲ一杯飲ムト云フコトニ依テ、此課稅ガ行ハレルノデアリマ

スカラ、實ニ馬車挽ナドガ夏汗水ヲ垂ラシテ掛テ、一杯ノ「ラムネ」ヲ飲ムト云フ其人達ニモ、政府ガ此度新稅ヲ掛ケテ來タノデアリマス、而モ此新稅ヲ設定シタ其陰ニハ、如何ナル理由ガ潜シテ居ルカト云ヘバ、麥酒ノ稅源涵養デアルト云フコトヲ說明サレテ居ルノデアリマスカラ、是ハ明カナルコトデアアル(拍手)然ラバ麥酒ノ稅源ヲ涵養スルト云フコトハ、國民ニ酒ヲ飲メト言テ國民ニ勸メテ居ルノデアリマス、サウシテ國民ニ對シテ酒ヲ勸メテ其酒ニウント稅ヲ掛ケタノデアアルカラ、此掛ケラレタ國民ト云フモノハ、實ニ洵ニ迷惑千萬ナ話デアアル、而モ是ハ所謂一定ノ基礎トカ、或ハ主義ノ下ニ酒煙草ニ課稅セラレテ居ルノデナクシテ、是等ノモノヲ一面獎勵シ、一面增稅ヲ行フト云フノデアリマスカラ、政府ノ遣方ハ何處ヲ叩イテ社會政策ナリト云フノデアリマセウカ(拍手)殊ニ營業收益稅ニ於テ四百萬圓程ノ減稅ガ行ハレルト稱シナカラ、全國商業會議所ガ舉テ之ニ反對スル理由ヲ證明シ、其材料ヲ提供シテ居ル所ニ依レバ、却テ三萬圓ノ增稅トナル結果トナルノデアリマシテ、殆ド政府ノ減稅ノ四萬圓ノ增稅デアルト云フ、茲ニ大ナル險違ヒガ來テ居ルノデアリマス、此他資本利子稅ニ付テ見テモ、千四百萬圓ノ增稅トナツテ居リ、相續稅ニ付テハ六百萬圓ノ增稅トナツテ居ルノデアリマス、是等ノ增稅ヲ見マシルトキニハ、即チ政府ニ於テハ酒ニ付テハ麥酒ヲ合セテ三千三百萬圓ト稱シテ居リマスカ、ケレドモ吾々ノ調査スル所デハ、明ニ是ハ四千七百萬圓ヲ超ユル收入ガアルノデアテ、煙草ノ如キハ二千三百萬圓ト稱スルケレドモ、其實四千八百萬圓以上ノ收入ガアルト云フコトハ、是ハ吾々ノ統計ニ依リ計算ニ微シテ明カデアリマスカラ、此計算ニ依テ見ルト、今回增稅セラレル金額ハ一億

五千萬圓ニ達スルノデアリマス、而モ是等ノ免稅點ガ二ツ、廢稅サレタモノガ四ツ、是等ノモノ、全體ノ廢稅總額ヲ合計シテ見マシレバ、七千四百萬圓トナルノデアリマスカラ、其差異七千六百萬圓ト云フモノハ國民ガ增稅ヲ受ケタル結果トナルノデアリマス(拍手)是ハ先程三王先輩モ其他ノ我ガ同志カラ述ベラレタヤウニ、洵ニ上流階級ニ薄クシテ、中流及ビ其以下ノ、國民ノ大多數ヲ占ムル下層階級ニ增稅ヲ爲シタルト同ジ結果ト相成ルノデアリマス(拍手)諸君ガ若シ此事實ニ對シテ然ラズト言ハレルナラバ、煙草ノ賣上價額ハ大藏省ニ依テ明ニナルノデアリマス、煙草ハ外國人ガ買フノデアリナイ、日本國民ガ買フ煙草ノ代デアルノデアリマスカラ、此事ハ國民ノ大多數ニ向テ增稅ノ結果ヲ生ズルト云フコトヲ、如何ナル點ニ於テモ私ハ否定スルコトガ出來ナイト信ズル者デアリマス、而モ其點ハ詳細ナル統計ニ依テ、農林省ノ統計ニ依テ又社會局、內務省ノ統計ニ依リ、又此總テノ點ノ材料ヲ集メテ之ヲ見出シタル、詳細ナル計算ノ上ニ立テテ議論デアリマスカラシテ、吾々ハ今回行ハレル稅制整理案ニ對シテハ、徹頭徹尾反對スルモノデアツテ、我ガ政友會ノ地租委讓ニ依テ將來我國ヲ改造スルニ非ズンバ、眞ニ我ガ日本國民ヲ安全ニスルコトガ出來ナイト云フコトヲ申上デマシテ、私ハ此壇ヲ降ル者デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 三輪市太郎君

(三輪市太郎君登壇)

○三輪市太郎君 私ハ委員長ノ報告ヲサレマシタル委員會ノ結果ニ賛成スル者デアリマス(憲政會ヲ餘リ攻撃シナイデ下サイ)ト呼フ者アリ)議題ノ件數ハ多數ニ上テ居リマスルガ、其中重キヲ爲シタル我黨ノ主張ノ二大法案ニ對シテ、贊成ノ意見ヲ述ベヤウト思フノデゴザイマス、而シテ其重要案ニ對シマシテハ、既ニ本會若クハ委員會

ニ於テ十分論議サレテ居ル問題デアリマシテ、最早意見ヲ述ルノ必要ナキ感ヲ持テ居ル者デゴザイマスルガ、委員長報告ノ政府案修正說ニ反對ヲサレタル所ノ人々ノ唱ヘラレル本黨案ノ義務教育費ノ點ニ誤リアルコトヲ、私ハ見出シテ居ルノデアアルカラシテ、先ツ此點ニ向テ國民ノ誤解ナキヲ望ム爲ニ、正サントスル者デゴザイマス

〔此時私語スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君) ドウゾ私語ヲ少シク御慎ミテ願ヒマス

○三輪市太郎君(續) 議員諸君ニ向テハ固ヨリ茲ニ申述アル迄モナク御承知ノコトデアラウト思ヒマスルガ、先刻砂田君ヨリ述ベラレタル事柄ニ付テ、若シモ傍聽諸君カ演說ノ巧妙ナル言論ニ釣ラレテ、遂ニ誤リタル議論ヲ信ジラレトイケナイノミナラズ、國民ニ能ク徹底スルヤウ、茲ニ私ハ現行法ニ基イテ之ヲ正シテ置カウト思フノデゴザイマス(ヒヤ、拍手) 市町村義務教育費國庫負擔法ナルモノ、第一條ニハ「市町村立尋常小學校ノ教員ノ俸給ニ要スル經費ノ一部ハ國庫之ヲ負擔ス」トアル、第二條ニハ「前條ノ規定ニ依リ國庫ノ負擔トシテ支出スヘキ金額ハ毎年度四千万圓ヲ下ラサルモノトス」是ガ現行法デアリマス、然ルニ茲ニ大正十四年度ノ決算ニ依レバ、小學校ノ教員俸給費ノ總額ナルモノハ一億八千三百萬圓デアリマスルガ、是ハ高等小學校及尋常小學校、即チ義務教育ノ部分モ加ヘタ合計高デゴザイマス、而シテ之ヲ内譯シテ一億二千五百萬圓ナルモノハ尋常小學校ニ、高等小學校ヲ併置シタル部分ノ教員俸給ヲ加ヘマシテモ、尙ホ未ダ一億二千五百萬圓ヨリ上ラナイノデゴザイマス、若シ之ヲ詳細調ベテ此併置シタル分ヲ除イテ、眞ノ義務教育ト名ツケベキモノダケノ俸給ヲ計算致シマシタナラバ一億二千萬圓以下デアルコトモ、是亦明カナル事實デゴザ

イマス、(拍手)尙ホ又大正十四年度ハ、未ダ年度半バデアリマスカラシテ、正確ナル數字ハ分リマセヌガ、砂田君ノ言ハレル如ク年々五六百萬圓ノ増加ヲナスト、假定シテモ、大正十四年度ハ一億三千万圓餘、大正十五年度ハ一億三千五百萬圓餘ニ過ギナイノデゴザイマシテ、政友會ガ半額ト云フコトヲ基準トシテ贊成ヲ表シタト云フコトハ、此數字ニ依リテ明ニ意味ヲ爲サナイト云フコトガ評シ得ラレルデアラウト思フノデゴザイマス、而シテ私ハ、政友會ノ諸君ハ舊友ノ關係デ、諸君ト論戰スルコトハ好マナイノデアアルガ、斯カル間違ハ是ハ正シテ置カンケレバナラヌノデゴザイマス(拍手) 尙又政友會諸君ガ、吾々ノ主張、即チ大正十五年度ニ於テ七千万圓ニ増加スル、此問題ニ對シテ昨日委員會ニ於テ贊成サレ、又今日此處ニ於テ其點ニ御同意下サレタノハ今申述ベタ數字ニ依リテ、明瞭デ、賢明ナル政友會諸君ノ御存知ナキ筈ハナイガ、是ハ全ク吾々ノ主張ヲ相當ナリ國是ナリト感ジテ、前説ヲ糾シテ其鳴サレタル其聲度ニハ、私ハ國家ノ爲ニ慶賀スルノデゴザイマスナレドモ茲ニ今一ツ正シテ置カンケレバナラヌ問題ハ、今尙ホ地租委讓論ヲ唱ヘラレルコトデアル、此地租委讓論ニ對シテハ、私ハ可否ヲ言フコトハ好ミマセヌ、否寧ろ私ハ前ノ持論トシテハ、府縣ニ委讓スルコトハ反對デアアルガ、市町村ニ委讓スルコトハ最モ熱心ニ唱ヘタル一人デゴザイマス、其後財源等ノ關係ニ依リ、或ハ震災等ノ爲ニ、財源ニ於テ未ダ確信ガナイノト、又一面ニ於テハ政府ガ聲明サレマシタ地價ノ不公平ヲ改ムル爲ニ、賃賃價格ニ改正スルコト云フコトヲ唱ヘラレテ居ルノデアリマスガ、此點ニ對シテモ、未ダ具體案ノナイ今日トシテハ、私ハ可否ヲ唱ヘルノ勇氣ハナイノデアアル、何レニ致シマシテモ政友會諸君ガ、地租ヲ地方へ委讓スルコト云フ議論ヲ抛タズ

維持サレテ居リ、而シテ一面ニ於テ吾々ノ主張スル義務教育費國庫負擔增加ニ贊成サレルト云フニ於テハ、政友會諸君ハ此財源ハ何レニ求メラレルノデアアルカ、是ハ私ノ不可解ニ感ズル所デゴザイマス、或ハ自ら提案ヲ致シテモ、必ズ否決サレルベキモノトノ御考ヲ以テ(ノウ、)吾々ノ主張ニ共鳴サレルコトナラバ、此上追窮スルニ及バヌ、然ラバ今ニ至リテ地租ヲ地方へ委讓スルト云フ論ハ寧ろ唱ヘラレナイ方ガ男ラシクアルマイカト思フノデゴザイマス、殊ニ三主君ハ、政府ガ十六年度以後ニ於テ他ノ緊急支出ト共ニ一千万圓増加ヲ考慮スルト言ハレタ、其言葉ヲ文字通り解釋サレマシテ、不安ノ念ニ驅ラレテ見ラレルガ如キヤウデゴザイマスガ、是ハ私共ハ眞ニ安心致シテ居ル、決シテ間違ヒナイト云フコトヲ信ジテ居ルノデゴザイマス、唯、茲ニ信ズルト云フノミデハ御會得ガ出來ヌカモ知レマセヌカラ、是ガ信ズベキ證據ヲ一言申述ベテ見タイト思フノデゴザイマス、諸君前ノ第五十議會ノ當時ハ、憲政會、政友會、革新俱樂部ノ三派協同内閣デアリマシテ、其五十議會ノ開會前ニ、慣例ニ依リテ豫算内示會ヲ開カレタノデゴザイマス、是ハ私ガ今申スマデモナク諸君モ御承知、其五十議會ノ内示會ニ御列席ニナツタ諸君モ多數見受ケルヤウデアリマス、私モ其一人デアラノデゴザイマス、然ルニ大正十四年度ノ豫算面ニ、義務教育費國庫負擔金額ノ數字ガ計上サレテアリマセヌ爲ニ、吾々同僚ヨリ濱口藏相ニ向テ之ヲ質問致シタ所ガ、財源ニ餘格ナキガ爲ニ大正十四年度ニハ之ヲ計上スルニ至ラナカッタ答ヘラレタノデゴザイマス、續イテ然ラバ大正十五年度ハドウスルカト云フコトヲ重ネテ問ヒマシタル所、藏相ハ大正十五年度ニ於テモ財源ノ餘格ハ見出サナイ、計上スル考ハナイト云フ、御答デアッタノデゴザイマス、所ガ愈、

議會ノ開カレマスルニ當リマシテ、此義務教育費增加問題ハ、憲政會ノ諸君ガ野黨ニナリマシタル當時ニ絶叫サレタル問題デアアルカラシテ、吾々ハ之ヲ期待致シテ居リマシタル所ガ今申ス如ク遂ニ此計上ヲサレナカッタ、爲ニ政友本黨ハ議會ニ於テ此義務教育費國庫負擔增加ノ提案ヲ致シタノデゴザイマス(拍手) 之ト同時ニ、全國津々浦々ニ至ルマデ、憲政會ノ野黨時代ニ於テ叫バレル事ヲ信ジ期待致シテ居ッタ爲ニ、議會ノ模様ガ知レルト共ニ、期セズシテ各方面ノ知識階級ノ人々ガ集リテ、一大運動ヲ試ミテ、吾々ハ議會ニ於テ正門カラ之ヲ責メル、國民ノ輿論ハ裏門カラ之ヲ攻撃シテ、遂ニ豫算内示會ト議會ノ開カレルマデノ間ハ、僅ニ二十數日ノ短キ其間ニモ拘ラズ、政府ハ大ニ之ヲ反省サレマシテ、ソレデ加藤首相及濱口藏相ハ、此演壇ニ於テ義務教育費増額二千万圓ハ、十五年度ニ於テ考慮スルト云フ言葉ヲ述ベラレタノデゴザイマス、吾々ハ(吾ガガヤッタカラダ)ト呼フ者アリ)君ハマダ御存知ハナイ、其當時ノ事ハ高橋君ハ御存知ナイノデアアル、君等ノ知ル所デナイ(拍手) 其當時政友會ハ内閣ノ中ニ加ハテ居ラレタノデアアル、即チ責任者ノ中ニ加ハテ居ラレタノデアアル、所デ、其當時濱口藏相ガ聲明サレル言葉ニ於テハ、考慮スルト云フダケデアッタ、加藤首相モ考慮スルト云フノデアッタ、私ハ當時全ク今日ノ三土君ト同様ニ不安ヲ感ジタノデアアル、考慮ハ讀ンデ字ノ如ク、考慮スルマデノコトデ、考慮ノ結果計上サレヌトキハ之ヲ如何ニスルカト云フコトノ不安ノ念ニ驅ラレタノデゴザイマスルガ、流石ニ濱口藏相ハ唯考慮ト言ハレタナレドモ、十五年度ニ其考慮ノ言葉ニ基イテ、責任觀念ヲ重シセラレテ、現二二千万圓計上サレタノデアアル(拍手) 所ガ今回ハソレト是トハ趣ガ大ニ異テ居ルノ

議會ノ開カレマスルニ當リマシテ、此義務教育費增加問題ハ、憲政會ノ諸君ガ野黨ニナリマシタル當時ニ絶叫サレタル問題デアアルカラシテ、吾々ハ之ヲ期待致シテ居リマシタル所ガ今申ス如ク遂ニ此計上ヲサレナカッタ、爲ニ政友本黨ハ議會ニ於テ此義務教育費國庫負擔增加ノ提案ヲ致シタノデゴザイマス(拍手) 之ト同時ニ、全國津々浦々ニ至ルマデ、憲政會ノ野黨時代ニ於テ叫バレル事ヲ信ジ期待致シテ居ッタ爲ニ、議會ノ模様ガ知レルト共ニ、期セズシテ各方面ノ知識階級ノ人々ガ集リテ、一大運動ヲ試ミテ、吾々ハ議會ニ於テ正門カラ之ヲ責メル、國民ノ輿論ハ裏門カラ之ヲ攻撃シテ、遂ニ豫算内示會ト議會ノ開カレルマデノ間ハ、僅ニ二十數日ノ短キ其間ニモ拘ラズ、政府ハ大ニ之ヲ反省サレマシテ、ソレデ加藤首相及濱口藏相ハ、此演壇ニ於テ義務教育費増額二千万圓ハ、十五年度ニ於テ考慮スルト云フ言葉ヲ述ベラレタノデゴザイマス、吾々ハ(吾ガガヤッタカラダ)ト呼フ者アリ)君ハマダ御存知ハナイ、其當時ノ事ハ高橋君ハ御存知ナイノデアアル、君等ノ知ル所デナイ(拍手) 其當時政友會ハ内閣ノ中ニ加ハテ居ラレタノデアアル、即チ責任者ノ中ニ加ハテ居ラレタノデアアル、所デ、其當時濱口藏相ガ聲明サレル言葉ニ於テハ、考慮スルト云フダケデアッタ、加藤首相モ考慮スルト云フノデアッタ、私ハ當時全ク今日ノ三土君ト同様ニ不安ヲ感ジタノデアアル、考慮ハ讀ンデ字ノ如ク、考慮スルマデノコトデ、考慮ノ結果計上サレヌトキハ之ヲ如何ニスルカト云フコトノ不安ノ念ニ驅ラレタノデゴザイマスルガ、流石ニ濱口藏相ハ唯考慮ト言ハレタナレドモ、十五年度ニ其考慮ノ言葉ニ基イテ、責任觀念ヲ重シセラレテ、現二二千万圓計上サレタノデアアル(拍手) 所ガ今回ハソレト是トハ趣ガ大ニ異テ居ルノ

デアル、今年ハ既ニ先刻來同僚ヨリモ述ベタル如ク、裁相ハ先ツ前段ニ於テ、義務教育費國庫負擔ノ八千万圓ハ同意スルト云フコトヲ聲明シテ居ラレドモ、而シテ十五年度ニ於テハ七千万圓ヲ認メルガ、不足ノ一千万圓ハ未ダ財源ガ此十五年度ニハ無イカラシテ、十六年度以後ニ考慮スルト言ハレ、ノミナラズ其考慮ノ中ニ緊急事業ト共ニト言ハレドモ、是ハ懇談會ニ於テモ、此一千万圓ハ次ニ剩餘ヲ生ジタ當時ノ優先權、即チ何事ヲ捨置テモ、先ツ一千万圓ヲ計上スベシト云フコトヲ極力主張シタノデアル(拍手)然レドモ、國家ノ大局ヨリ觀レバ、一方ニ國防上ノ問題モアツテ、既ニ諸君ガ論難シテ居ラレルガ如ク、海軍ノ關係モアルガ故ニ、ソレモ是モ優劣ハナシ、矢張此一千万圓モ、海軍ノ國防等ノ重要問題ト同様ニ認メテ、茲ニ聲明ヲサレタノデアツテ、堅イ約束手形ヨリモ何ヨリモ、是位堅イモノハナイノデアル(拍手)之ヲ以テ吾々ハ無遠慮ニ申セバ、即チ政友本黨ハ僅ニ九十名内外ノ代議士ナリト雖モ、天下國民ノ望ム所ノ此義務教育費國庫負擔増額ヲ四千万圓増シタ功績ハ、全ク我黨ニ在ルモノト斷言スルヲ憚ラナイノデゴザイマス

(拍手)次ニ述ベントスル事ハ、地租條例中改正法案ニ付テアリマス、此地租條例改正ノ政府案ハ、諸君ノ御承知ノ如ク、居住ノ町村ニ所有スル土地ニ對シ、法定地價二百圓以下ノモノヲ免稅スルト云フコトデゴザイマス、一方ニ吾々ガ提案致シマシタル自作農地租全免トハ、趣旨ニ於テ稍、近付イテ居ルヤウデモ、餘程マダ隔リガアツタノデゴザリマス、政府案ニ依リマスレバ、委員會ノ速記録デ諸君御承知ノ通り、全ク缺點ガ多イノデゴザリマシテ、自己ノ住居シテ居ル其宅地ニ程遠カラヌ所ニ土地ヲ所有シテ、而シテ其土地ヲ自ラ耕ス者ト雖モ、行政區畫ガ他町村ナルガ故ニ、此免稅

恩惠ヲ蒙ラヌト云フ所ノ不備ノ點ガアツタノデゴザイマス、ノミナラズ、又各地到ル處ノ都市ノ附近ト云フモノハ、土地ガ暴騰致シテ居ルノデアツテ、農業ニ從事セザル者ト雖モ、一方ニ商工業ヲ本業ト致シテ居ル者デ多少財政ニ餘裕アレバ耕地ヲ持テ居ル例ハ澤山アルノデゴザリマスガ、政府案ニ依レバ、サウ云フ富ノ程度ノ比較的高イ、而モ農業ニ從事セザル者ヲ持テ居ル土地ト雖モ、免稅ノ恩典ニ浴スルト云フヤウナ法案デアリマシテ又田舎ニ至リマシテハ、一方ニ商工業ヲ營ンデ、大資本ヲ有スル者ト雖モ、地價二百圓以下ナルトキハ此恩典ニ浴スル...

〔粕谷議長議席ヲ退キ、小泉副議長代リ着席〕

ト云フノ法案デ、今申ス如ク、己ノ所有地ガ隣接村ニ在リテモ其恩惠ヲ蒙ラヌト云フ不當ナル案デアツタカラシテ、吾々ハ之ニ對シテ、極力我黨ノ自作農免稅法案ノ農業獎勵若クハ社會政策ニ適フベキ點ヲ極論致シタノデゴザリマス、政府モ之ニ顧ミル所アツテ、遂ニ其鳴ヲサレマシテ茲ニ政府案ニ基イテ修正ヲ致シタノガ、即チ委員長ノ報告修正案デゴザリマス(拍手)吾々此修正案ヲ以テ満足スルモノデハナイ、ナレドモ爲サルヨリハ宜イ、強ヒテ吾々ノ主張ノ通り貫徹ナサント努力致シタノデアルガ、又一面カラ見レバ政府ノ唱フル所ニモ多少考フベキ點ガアツタノデゴザイマス、其考フベキ點タルヤ何事デアアルカト言ハ、全ク吾々ノ主張通りニ之ヲ貫徹セントスレバ、茲ニ歳出ハ尙ホ數百萬圓ヲ増加スルノデアアル、政府ノ計算ニ依レバ二千万圓餘ニ當ルノデアアルガ、是ハ政府ノ計算ノ誤レルコトハ、私ハ茲ニ指摘スルコトハ難シトセヌノデアアルガ、餘リ時間ガ長クナルカラシテ、最早修正案ニ同意シタ以上ハ其點ハ除キマス、然レドモ一言殘シテ置クベキコトハ、

自作農ノ獎勵ヨリ視ルトキハ即チ地價二百圓以上ヲ聊カタリトモ超過シタ場合ニハ免稅トナラズ、却テ是ガ爲メ自作農獎勵ヲ阻止スル結果ニナルト云フ缺點ハアルノデゴザイマス、尙ホ不公平ナル法定地價ノ一方ニノミ依ルノ不當、是モ政府ハ認メテ居ルノデアアルガ、之ヲ認メナガラ應ジラレナイト云フ理由ハ、立法技術ノ上ニ於テ至難ナルト云フコトデゴザイマス、是等ノ事ハ私ハ其答辯デハ首肯スルコトハ出來ナイ、法律ハ常識ノ結晶デアツテ、吾々ガ常識上之ヲ爲シ得ルト思フニ、大藏省デハ俊才ガ集テ居テ、斯ル法案ノ制定ガ出來ナイト云フコトハ、不可解デアアルガ、濱口藏相ハ向ホ引續イテ研究ヲ致シテ、幸ニ其法案ノ制定ノ途ヲ見出ス場合ニハ改正スルモ厭ハヌ、各カナラヌト云フノ御趣意デゴザイマシタ爲ニ、大局ヨリ眺メテ、而モ吾々ノ主張ノ自作農免稅ノ趣旨ニ於テハ、大體ニ於テ微シテ居ルノデアツテ、僅ニ數字ノ點ニ於テ聊カ不満足デアアルガ之ニ吾々モ同意ヲ表シタノデゴザイマス、吾々ノ主張ノ二大政策ニ付テハ此程度ニ止メマス、又序ナガラ申シテ置キマスガ、地租一分減ニ對シテノ問題デゴザイマス、是ハ憲政會多年ノ御主張ニ因ハレテ、其責任觀念ノ上ヨリ一分減ノ提案ヲサレタモノデアラウト思ヒマス、固ヨリ吾々ト雖モ廢減稅ニ反對スルモノデハナイガ、此一分減ナルモノヲ實行ヲ爲ス上ニ於テハ、財源ニ缺陷ヲ生ズルト云フノデアツテ、又實際問題トシテハ今回ノ此免稅點ニ於テ、小農ハ既ニ恩惠ヲ蒙リ、之ヲ除イテハ地租一分減ノ恩典ヲ蒙ル者ハ、比較的の中産階級以上ノ者デアアル、假ニ之ヲ實行致シタラバ、茲ニ憂フベキ點ハ地主ト小作トノ關係デアアル、各地ニ小作爭議ガ起ルノデゴザイマシテ、地租ノ一分減ヲ爲シタルコトヲ動機トシテ、一層小作爭議ノ滋カランコトヲ憂フルノデ其減稅ヲ蒙ル地

〔小泉副議長議長議席ヲ退キ、粕谷議長復席〕

主モ、其點ニ依リテ寧ロ喜バナイ事デアラウト思フ、尙ホ現政府ハ何時マデ續クカ固ヨリ未知數ノ事デアアルガ、現政府ノ唱ヘル如ク、十七年度ニハ既ニ此不當ノ法定地價ヲ修正スル爲ニ

賃賃價格ニ改メルト云フコトヲ聲明シテ居ル以上ハ、此間僅ニ二年デアアル、二年間ノ事ノ爲ニ臺帳等ヲ訂正シ、之ニ伴フ經費等ヲ考ヘレバ、之ヲ行フノモ如何デアラウカト思フ、此一分ヲ減ジタル金ガ何レニ用ユルカト云ハ、即チ今申ス比較的小農ノ者ガ恩惠ヲ蒙ル方面ニ充當サレルト云フコトニナツテ見レバ、農業獎勵及社會政策ノ上ニ於テ、是ハ廢案ニナルモ敢テ差支ナイカト考ヘタノデゴザイマス(拍手)終リニ臨ミマシテ、今一點申述フベキ事ハ、此壇上ニ於テモ、若クハ操觚界ニ於テモ、妥協々々ト云フ聲ガ屢、繰返サレルノデアアル(其通リ)ト呼フ者アリ)妥協ト云フ事ハ一體今日ノ此政局ヲ解決スル、而モ此頃中ノ言動ニ照シテハ私ハ當嵌マラヌ言葉デアルト思フガ、免角耳障リノアルヤウニ、社會ニ宣傳スル爲ニ妥協ト云フ言葉ヲ用キラレマシタガ、假ニ妥協トシテモ何等私ハ差支ナイト思フ(妥協ダ「ヒヤ」ト呼フ者アリ)妥協トシテ何ガ差支ヘマスカ、五ニ誠意ヲ披瀝シテ其結果一致點ヲ見出シタモノデアリマシテ、今日此議員ナルモノハ四百六十四名アリマス、是ガ各派ニ別テ居ルノデゴザリマス、一黨内ノ意見ヲ纏メル上ニ於テモ、ソレト問題毎ニ各自ノ意見ノアルモノデアアル、是ハ何レモ結局ハ互讓ノ態度ヲ以テ纏メルノデアアリマセカ、況ヤ今日ハ何レノ黨派ト雖モ絕對多數ノ黨派ハナイノデアアル、茲ニ絕對多數ノ黨派ガアツテ、二大政黨モ對立シテ居ル場合ニハ、若シ其意見一致セザルトキニハ、是ハ衝突モ

已ムヲ得ヌガ、何レノ黨派ト雖モ一黨ニシテ自黨ノ政策ヲ行フ實力ガナイ以上ハ、何レカノ黨派ト一致點ヲ見出サナケレバ政策ヲ行フコトハ出來ヌノデアリマセヌカ(拍手)加之(此時發言スル者多シ)騒ガズニ能ク御聽キナサイ、加之今ヤ普選ト云フモノガ實行サレテ、此處ニ議員數別表ハ一選舉區ニ於テ三名ノ單位ヲ標準トシテ改正ヲサレタルモノデ、今後ノ選舉ニ於テ如何ナル有力ナル黨派ト雖モ、絶體過半數ヲ握ルコトハ思ヒモ依ラヌノデアル、然ラバ今後ノ政治ヲ行フ上ニ於テ、何レ小黨分立ノ結果ハ、何レカ政策、意見ノ一致致シタルモノガ協調ヲ保ツト云フコトハ當然ノ歸結デア(拍手)況ンヤ此協調ナルモノハ公明正大デアツテ、何ノ恥ル所モナイ、殊ニ現在ノ此議院法ハ如何デアルカ、此立法部ハ我國ノ憲法ニ二院制度ニサレテ居テ、衆議院ト貴族院ト意見相反スル時ニハ、茲ニ兩院協議會ヲ開クベキ途ヲモ設ケラレテアルデハアリマセヌカ(拍手)、此論理ヨリ推シテ、協調或ハ妥協ヲスルト云フコトガ、何故惡イノカ、如何ニ諸君ガ妥協非ナリト云フモ、實際ノ政治ヲ行フ上ニ於テ何ノ妨ゲル所ガアルカ(拍手)唯、高橋君ガ解散遊ケト云フコトヲ以テ頻リニ野次ラレルガ、吾輩序ナガラ一言致シテ置ク、高橋君ノ如キト、不肖市太郎ノ如キハ少シク違フ(拍手)君ノ如キハ口ニ強硬ヲ唱ヘルト雖モ、其内心ハ解散ニ戰々競々タルモノデアアル、實ニ戰々競々タルモノデアアル不肖三輪ノ如キハ却テ國家本位ニ基イテ、獨リ私ニ限ラズ、政友本黨ノ者ハ眞ニ國家本位ニ基キ、政策本位ニ基イテ勇往邁進シテ居ルノデアアル、口ニ強キヲ唱ヘテ、内心戰々競々タル者トハ大ニ異テ居ルノデアアル(拍手)今今日ノ此國民ノ状態ヲ詳ニ觀察致シタナラバ、平地ニ波瀾ヲ起スガ如キ事ハ國民ノ多數ハ望マナイノデアアル、多クハ口ニ唱ヘルコト、心ト

大變矛盾ヲ致シテ居ルノデアアル、固ヨリ政策ノ爲ニハ吾々モ解散ヲ回遊スル者デハナイ、ナレドモ好シク解散ニ導クモノデハナイ、眞ニ國家本位、政策本位デ進ムノデア、公明正大デアアル、何カ豫メ政府ト諒解ガアツテ此舉ニ出タモノト云フノ疑ヲ招クコトウニ宣傳セラル、ノミナラズ、諸君ニ其通リト言ハレルカラ私ハ言フベカラザルコトト思ヒマシタガ、序ナガラ一言ヲ致シテ置キマスガ、小委員會ニ於ケル懇談會ノ場合等ニ於キマシテモ、實ニ元田委員長ノ如キハ、濱口藏相ガ吾々ノ主張ノ道理アルヲ認メラレナガラ、斷乎トシテ同意ヲサレヌ爲ニ、隨分思切ク、藏相ハ頑迷不靈デアルトマデ罵ラレタノデアアル(拍手起ル)或ハ私共モ大體先刻申シ通りニ、政府ガ吾々ノ唱ヘルコトニ道理アリト認メラレタ以上ハ、之ニ對シテ誠意アレバ此法律ノ制定ガ出來ナイ筈ハナイ、而モ大藏省ハ秀才ノ集、テ居ル所デ、決シテサウ云フ道理ハナイ、是ハ立法ノ技術ト云フコトノ樞ニ隱レテ、吾々ノ主張ヲ容レラレヌノデアアル、財源等モ斯ノ通りデアルト云フコトヲ指摘シテ極論シ、將ニ交渉ガ破レントスルノ危機一發ニ際シタコトハ二回モアツタノデアアル、眞ニ吾々ハ誠意ト熱心ヲ以テ努力致シタノデアアルガ、之ヲ傷ケンガ爲ニ豫メ妥協ガアリシトカ、云フ中傷ヲ試ミラレルノハ女々しい態度デアアル、舊友ノ諸君ハ今少シク政策本位ニ基イテ、正々堂々ト闘ハレンコトヲ此機會ニ切ニ希望シテ此壇ヲ降ルモノデゴザイマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 一身上ノ辯明ニ關シテ發言ヲ求メラレマシタ、之ヲ許シマス、高橋熊次郎君

○高橋熊次郎君登壇

○高橋熊次郎君 只今本黨ノ三輪市太郎君ノ御發言中ニ、私ノ議席ヲ指サレ、而シテ私ノ名ヲ呼ンデ、高橋ノ如キ解散ヲ恐レテ居ルヤウナ者デナイノデアルト云フヤウナコトヲ言、テ居ル

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○高橋熊次郎君(續) 斯ノ如キ侮辱サレタハ出來ヌノデアリマス、本黨ノ人々ハ解散ヲ避ケルナドト云フコトハ何デモナイト思、テ仰シヤル、併ナガラ吾々議席ニ列シ、而シテ立憲政治家ヲ以テ任ジテ居ル者ハ、解散ガ怖クテドウナル、解散ガ怖イナドト言フ者ハ恐ラク憲政會ヤ本黨、或ハ其邊ニ二三アルカモ知レナイケレドモ、眞中アタリニハ一人モ居ラスノデアリマス、昨年マデハ諸君ハ敵トシテ闘、タ憲政會デハナイカ、憲政會ノ人々モサウデア

〔發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○高橋熊次郎君(續) 護憲三派トシテ本黨ノ人々ノ行動ヲ非立憲ナリ、足輕黨ナリトシテ罵倒シテ居、タデハナイカ、其人々ノ言フコト、妥協符合シテ居ル、何ノ憲政ノ妙道ナドハ何處ニアルカ(拍手)即チ諸君ハ解散ガ恐シイカラ茲ニ出デタト云フコトハ、私ノ言ヲ俟タズシテ分ルコトデナイカ、三輪君ノ如キ自分ハ代議士會ニ於テ自分達ノ論議ガドウナルカト云フヤウナコトデ色トト論議シタトキニ、涙ヲ流シテ解散サレタラドウダト、卓ヲ叩イテ論ゼラレタト云フコトハ世間ニ漏レテ居ルデハナイカ(拍手)斯ノ如キ事ヲ致シテ、自分達ガ恥カシイトハ思ハナイノカ(議場騒然)恐ロシイトモ思、テ居ラナイ人々ヲ指シテ、解散ガ怖カラウナド、云フノハ、マルデ病犬ガ強イ犬ヲ遠クノ方カラ吼エテ居ルノト何等違フ所ハナカラウト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手、發言スルモノ多ク議場騒然)

本黨ニモ主張ガアルダラウ、憲政會ニモ大ナル主張ガアルダラウケレドモ、多年ノ主

張ヲ弊履ノ如ク打捨テ、本黨ニ降参ヲスルナドト云フコトハ、是ハ憲政ノ常道デモ何デモナイ、憲政史上ニ於テ悲シムベキコトデハナイカ(拍手)是ガ五十年ノ昔ナラザラ知ラズ、今日普通選舉モ斷行サレヤウト云フ今日ニ、斯ル珍現象ガ此議會ニ現ハレルト云フコトハ、是ハ世間ノ物嗤ヒデアアルト云フコトハ諸君ハ知ラナイコトハナカラウ(拍手) (何ガ物嗤ヒゲ)ト呼フ者アリ議場騒然、少數政黨ガ分立シテ居ルト云フコトハ憲政常道デモ何デモナイ、憲政會ハ速ニ議會ヲ解散シテ國民ノ輿論ニ問フテ、自分ノ主義主張ニ忠實ナラバ、民衆ニ懇ヘテ大多數ヲ得タラ宜イデハナイカ、茲ニ出ツルコトガ出來ナイデ、徒ニ好意ヲ右ニ求メナガラ、チヨイ、左ノ手デ解散ヲスルト云フオ禁厭ヲ以テ脅カシ、ヤッタナラバ、ドウニカ此議會ガ満足ニ通セルダラウト云フヤウナ考カラ、此間マデ色々ノ事ヲ造リ、大體幹部決メタコトヲ小委員會ト云フヤウナ密會所ヲ拵ヘテ、其所デ乳線リ合、タノデヤナイカ、ソナ密會所ニ政友會ノ歴々ニ顔ヲ出シテ吳レナドト云フテデナイ:

〔議場騒然〕

○議長(粕谷義三君) 高橋君、高橋君

○高橋熊次郎君 ソレデ恥カシイトモ思ハナイデ(議場騒然)大和魂ヲ持、テ居ル、此高橋熊次郎ハ解散ガ恐ロシイナドト云フコトハ少シモ思、テ居ラス、少シ顔デモ洗、テ再ビ出直シタラ宜カラウト云フコトヲ諸君ニ忠告ヲスル、苟モ... (議場騒然)議長注意シタマヘト呼フ者アリ)此高橋ノ真意ヲ毛煎ジテ飲ンダラ、國家ニ忠實ナ民心ヲ基礎トスル立派ナ政治家ニナレルト云フコトヲ言ヒ殘シテ此壇ヲ降ルノデアリマス

○議長(粕谷義三君) 作問耕逸君

○作間耕逸君 原案ヲ一括シテ茲ニ討論ヲ
終結スベキコトノ動議ヲ提出致シマス
○議長(粕谷義三君) 只今作間君ヨリ討論
終結ノ動議ヲ提出セラレマシタ
〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 同時ニ濱口大藏大臣
ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、作間君ノ
動議ヲ保留シテ、大藏大臣ノ發言ヲ許シマ
ス、濱口大藏大臣
〔國務大臣濱口雄幸君登壇〕議場騒然

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○國務大臣(濱口雄幸君) 諸君、討論當ニ
終局セントスルニ當リマシテ私ハ茲ニ一言
ヲ致シタイト思ヒマス(「大ニヤルベシ」ト
呼フ者アリ) 稅制ノ諸案ニ對スル政府ノ所信
ハ提案ノ際ニ於テ十分ニ述べテアリマス、而シ
テ委員會ニ於ケル所ノ修正案ニ對スル政府
ノ態度ニ付キマシテハ、昨日元田委員長ヨ
リ報告ヲサレタ通りテアリマス(「醜態百出」
「黙レ」ト呼フ者アリ) 隨テ此場合ニ於テ多
クヲ申述スル必要ハナイト思ヒマスルガ、昨
日來反對黨諸君ノ御議論ノ中(「反對黨トハ
何ダ」ト呼フ者アリ) 聊カ誤解ニ基クト思フ
點ニ付キマシテ(議場騒然) 其誤解ヲ正スコ
トヲ主ト致シマシテ、極メテ簡單ニ一言ヲ
致シタイト思ヒマス、其第一點ハ三土君ノ
御議論デアッタト思ヒマスルガ、此度ノ稅
制ノ整理ニ依ル所ノ政府ノ歳入ノ見積ハ少
キニ過ギテ居ル、之ヲ正確ニ見積ルナラバ
數千萬圓ノ増稅ニナルト云フ御説デアリマ
ス(「其通り」ト呼フ者アリ) 政府ハ責任ヲ以
テ此豫算ヲ提案ヲ致シ、其歳入ノ見積ニ付
キマシテハ、正確ナル材料ニ依リテの確ニ
之ヲ計上致シテアリマス、此材料ノ正確ト
云フコトニ對シテハ、政府ハ責任ヲ以テ其
誤リガナイト云フコトヲ確信スル者デアリ
マス(拍手) 責任ヲ持テ居ナイジヤナイカ
ト呼フ者アリ) 政友會ノ諸君ハ如何ナル材
料ニ依リテ數千萬ノ増稅デアルト云フコト

ヲ断定セラレタカハ知りマセヌガ、其材料
ノ根據並ニ計算ノ基クソ付キマシテハ、
私不幸ニ致シマシテ之ヲ知ルコトガ出來マ
セヌ(拍手) 甚ダ失禮ナル申分カモ知レマセ
ヌガ、勝手ナル所ノ數字ニ依リ、勝手ナル
所ノ計算ヲ以テシテ(「其通り」ト云フ者アリ) 政府ノ計算ヲ中傷セントス
ルガ如キハ、吾々ノ斷ジテ承服シ能ハザル
所デアリマス、殊ニ政友會ノ諸君ハ煙草
ノ値上ニ依ル所ノ増收ノ見込ヲ舉ゲラレ、
或ハ酒稅ノ増率ニ依ル所ノ増收ノ見込ヲ舉
ゲラレ、營業收益稅ノ増稅ナリト云フ事柄
ヲ指摘サレマシタケレドモ、其計算ノ根據
ニ至ラズテハ漠然トシテ之ヲ知ルコトガ出來
ナイノデアリマス(拍手) 惟フニ政友會ノ諸
君ハ酒ノ増率ヲ行フテモ酒ノ消費ハ少シモ
減ジナイ、煙草ノ値上ヲ行フテモ煙草ノ消
費ハ少シモ減ジナイト云フ、誤、タル根據
ニ基イテ計算ヲサレタモノデアリマス(拍
手) 誤解ノ第二點ハ是又三土君ヨリノ御議
論デアリマシタガ、此度ノ政府ノ稅制整理
ハ社會政策ヲ標榜シテ居ルケレドモ、社會
政策ノ趣旨ニ反シテ居ルト云フ御説デアリ
マス(「其通り」ト呼フ者アリ) 而シテ其理由
ト致シマシテ直接稅ニ於キマシテハ増減ノ
差引千四百萬ノ減收デアルガ、間接稅ニ於
テハ増減ノ差引六百六十萬圓ノ増收ニナ
テ居ル、是レ即チ社會政策ニ反スル所以デ
アルト云フ御議論ヲ承クノデアリマス、
此場合ニ於テ私ハ明ニ申シテ置キマスル
ガ、社會政策ト云フコトハ必ズシモ間接稅
ニハ限ラナイノデアリマス

〔發言スル者アリ議場騒然〕
○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○國務大臣(濱口雄幸君) (續) 直接國稅ノ
減免ニ致シマシテモ、社會政策ヲ實行スル
コトハ出來ルト思フノデアリマス、例ヘバ
地租ニ新ニ免稅點ヲ設ケ千二百萬圓ノ減收
ヲ生ジタルガ如キハ、是レ即チ農村ニ於テ

ル社會政策デアリマス(拍手) 更ニ所得稅ノ
免稅點ヲ千二百圓ニ引上ゲ之ニ依リテ數百
萬圓ノ減收ヲ來シタト云フコトハ、是亦社
會政策デアリマセヌカ(拍手) 其他相續稅
ノ免稅點ヲ引上ゲマシタコトモ、是亦直接
稅デアリマセヌケレドモ、其社會政策タ
ル點ニ至ラズテハ同様デアリマス(拍手) 政友
會ノ諸君ハ徒ニ直接稅ト間接稅トノ形式的
ノ區分ニ拘泥致シ、間接稅ヲ免稅センケレ
バ、社會政策デアナイト云フコトヲ主張セラ
レテ居ルト云フコトハ、洵ニ驚入タル議
論デアリマス(拍手) 第三點ハ是ハ又三土君
ノ御説デアリマシタガ、私が在野當時、即
チ大正十二年ニ於テ減稅論ヲ唱ヘタニ拘ラ
ズ、此度ノ稅制ノ整理ニ於テハ、減稅的ノ
整理ヲシテ居ナイト云フコトハ是レ即チ在
野當時ノ言責ニ背クデハナイカト云フ御議
論デアッタヤウデアリマス、此點ニ付キマ
シテハ明瞭ニ私ハ申上ゲテ置キタイト思フ
ノデアリマス

〔議場騒然〕
○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○國務大臣(濱口雄幸君) (續) 是ハ極メテ
簡單ニ申上ゲマス、大正十二年ニ於テ、吾々
ガ減稅ノ主張ヲ致シマシタ其當時ト今日
トニ於キマシテハ、非常ナル所ノ事情並ニ
目的ガ大分變テ居ルノデアリマス、其當
時私ハ憲政會ヲ代表致シ、此壇上ニ立テテ
減稅案ノ說明ヲ致シタノデアリマス、其減
稅論ノ據テ基ク所ハ、御承知ノ通り時恰
モ華盛頓會議ノ結果ト致シマシテ、軍備制限
ノ條約ヲ締結ヲ致シ、是ト同時ニ陸軍ニ於テ
ハ數千萬圓ノ緊縮ノ整理ヲ行ヒマシタ、即
チ陸海軍ノ軍備ヲ縮小制限致シタ結果ト致
シマシテ、茲ニ國庫ノ上ニ餘カラザル所ノ
餘裕ヲ生ズルニ至ラノデアリマス(拍手)
是ニ於テ其當時ニ於テ吾々ハ我國ノ増稅ノ
沿革ニ鑑ミ、軍備縮小ニ依リテ生ジタル所
ノ財政上ノ餘裕ハ、之ヲ以テ減稅ノ財源ニ

充當スベシト云フ議論ヲ唱ヘタノデアリマ
ス而シテ其當時私が申上ゲマシタ事ハ、昨
日三土君ノ御演說中ニ於テ速記録ヲ御朗讀
ニナリマシタガ、正ニ其通りデアリマス、
唯、附加ヘテ申上ゲマス事ハ、私ハ其當時ニ
於テ斯様ニ申シタノデアリマス、今日ハ減
稅ノ絶好ノ機會デアアル、若シ此機會ヲ失
ナラバ恐ラクハ他日減稅ノ時機ヲ捉ヘルコ
トハ出來ナイデアラウ(拍手) ト云フ事ヲ明
ニ申シタノデアリマスルガ、不幸ニ致シマ
シテ我が憲政會ノ減稅ノ諸案ト云フモノ
ハ、貴方ガタノ反對ニ依リテ實行不可能ニ
陥ラノデアリマス(拍手) 其事ハ今日ニ於
テモ尙ホ大ニ遺憾ト致シテ居ル所デアリマ
ス(拍手) 然ルニ大正十二年ノ九月ニ於テ大
震災ガ起リマシタ結果ト致シマシテ、歳入
ハ非常ニ減少ヲ致シ、歳出ハ非常ニ激増ヲ
致シ、其結果トシテ帝國ノ財政ニ急激ナル
變化ヲ起シタノデアリマス、此ニ於テ御承
知ノ通り聯合内閣ノ時ニ於テ一億五千二百
萬圓ノ整理ヲ行フタニ拘ラズ、我が帝國ノ
財政ノ現狀ハ減稅的ノ整理ヲスルト云フコ
トヲ許サナイ狀況ニ在ルト云フコトハ、御
互ニ最モ遺憾トスル所デアリマス(拍手) 此
ニ於テ此度ノ稅制ノ整理ハ屢、申上ゲマス
ル通り、國庫ノ歳入ニ於テ著シキ増減ヲ生
ゼザル範圍内ニ於テ、出來得ル限リ租稅ノ
體系ヲ正シ、負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコト
ヲ目的トスルニ止メタノデアリマス、隨テ
私が在野當時ニ於ケル所ノ減稅ノ主張ト、
此度ノ稅制ノ整理トハ、其間ニ於テ少シモ
衝突矛盾ヲスル所ハナイノデアリマス(拍
手) 政友會ノ諸君ハ此稅制ノ整理ニ對スル
大體ノ御方針ト致シマシテ、租稅ノ整理ハ
國稅ヨリモ地方稅ニ重キヲ置クベキモノデ
アルト云フ御議論デアリマスガ、政府ノ見
ル所ハ左様デアリマセヌ、地方稅ニモ重
キヲ置キマスルガ、國稅ノ整理ニモ無論重
キヲ置クナケレバナラヌ、國稅ト地方稅ト

官報號外 大正十五年二月二十二日 衆議院議事速記第十九號 所得稅法中改正法律案外二十三件 第一議會ノ續(前會ノ續)

ノ間ニ於テ輕重スル所ハナイノデアリマス
〔拍手〕隨テ政府ハ此見地ニ基イテ、國稅ニ
關スル所ノ整理案ト、地方稅ニ關スル所ノ
整理案ト云フモノヲ併セテ議會ニ提案ヲ致
シ御協賛ヲ求メテ居ル次第デアリマス〔拍
手〕然ルニ政友會ノ諸君ハ稅制ノ整理ハ地
方稅ガ主デアッテ、國稅ガ從デアルト唱へ、
寧口重キヲ地方稅ニ置カレテ結果ト致シマ
シテ、地租ヲ委讓スルト云フ案ヲ出サレ、
其結果トシテ國稅ノ體系ヲシテ非常ナル所
ノ紊亂ノ状態ニ陥ラシムルト云フコトヲ願
ミラレナイノデアリマス〔拍手〕

〔議場騷然〕
○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議場騷然〕

ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
〔贊成者起立〕
○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス
〔拍手、議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 宣告ヲ致シマス、討
論終結ノ動議ハ多數ニ依リテ討論終結ヲ決シ
マシタ〔拍手起立〕是ヨリ各案ノ第二讀會ヲ開
クヤ否ヤヲ御諮リスルノデアリマスガ、日
程第二十三及第二十四、即チ山本悌二郎君
外十三名御提出ノ市町村稅地租法案(發言
者多ク議場騷然) 靜肅ニ願ヒマス(議場騷
然) 靜肅ニ願ヒマス(議場騷然) ドウゾ靜肅
ニ願ヒマス、山本悌二郎君外十三君御提出ノ
市町村稅地租法案外一件ハ、他ノ稅制整理
案トハ其根本義ニ於テ異リテ居リマスカラ、
先ツ此二案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮
リ致シマス、而シテ後ニ政府案ノ二十一
件、床次君外二十三君御提出案一件ト、之ヲ順
次御諮リヲ致シタイト思フノデアリマス、
之ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程第二十二及第二十三、即チ山本
悌二郎君外二十三名御提出ノ市町村稅地租
法案及市町村稅地租法ノ施行ニ關スル法律
案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマ
ス、是ハ記名投票ニ依ッテ採決ヲ致シマス
〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 即チ山本悌二郎君外
十三名御提出ノ兩案ノ第二讀會ヲ開クヘ
シトスル、之ニ贊成ノ諸君ハ白票デアリマ
ス、反對ノ諸君ハ青票デアリマス、是ヨリ
氏名點呼ヲ行ヒマス——閉鎖

〔書記官氏名ヲ點呼ス〕
○議長(粕谷義三君) 投票漏ハアリマセヌ
カ——投票漏ナシト認メマス、投票兩閉
鎖——開函——開鎖

○議長(粕谷義三君) 投票ノ結果ヲ書記官
長ヨリ御報告致シマス
〔中村書記官長朗讀〕
投票總數三百七十七
可トスル者 白票 百二十二
否トスル者 青票 二百五十五

○議長(粕谷義三君) 只今ノ投票ノ結果ニ
依リマシテ、兩案共ニ第二讀會ヲ開カザルコト
ニ決シマシタ
〔參照〕
第二讀會ヲ開クヘシトスル議員ノ氏名左
ノ如シ

磯部 尙君 板野 友造君
岩崎 勳君 今里準太郎君
石井 三郎君 石坂 豐一君
石原正太郎君 飯村 五郎君
井上敬之助君 泰 豐助君
濱口吉兵衛君 濱田 國松君
濱田 精藏君 鳩山 一郎君
原 惣兵衛君 西澤 定吉君
西方 利馬君 本田 義成君
堀切善兵衛君 星島 二郎君
土井 權大君 長田 桃藏君
大竹 謙治君 大口 嘉六君
小川 平吉君 小野 義一君
岡崎 邦輔君 岡田伊太郎君
若尾幾太郎君 若宮 貞夫君
渡邊 祐策君 加藤 知正君
加藤久米四郎君 兼松寅太郎君
笠原 忠造君 河上 哲太君
川口 義久君 吉津 度君
吉植庄一郎君 米原於菟男君
竹原 樸一君 竹内友治郎君
田中 定吉君 高井 商二君
高木 音藏君 高橋熊次郎君
高草美代藏君 中島 守利君
中村 巍君 中村 清造君
武藤 金吉君 向井 倭雄君
内田 信也君 植原悅二郎君
上埜安太郎君 野田 俊作君
熊谷 巖君 熊谷 直太君

黒住 成章君 倉元 要一君
工藤十三雄君 矢野 鈺吉君
山本 芳治君 山本榮太郎君
山口 義一君 山口恒太郎君
山下 谷次君 山内 範造君
山崎達之輔君 前田 米藏君
松岡 俊三君 松山常次郎君
松實喜代太君 牧野 良三君
藤井忠兵衛君 藤田胸太郎君
藤田 包助君 藤澤萬九郎君
藤川 清助君 二木 洵君
古川 清君 木暮武太夫君
小久保喜七君 小泉策太郎君
兒玉 右二君 神崎 勳君
近藤 達兒君 安藤 正純君
安保 庸三君 青木 精一君
青山 憲三君 青柳郁次郎君
秋田寅之介君 秋田 清君
赤間嘉之吉君 有馬 賴寧君
東 武君 榊原 經武君
佐々木文一君 佐々木長治君
坂井 大輔君 坂梨 哲君
木戸 豐吉君 木村政次郎君
木下謙次郎君 宮崎三之助君
宮本 逸三君 三善 清之君
三土 忠造君 志賀和多利君
嶋居 哲君 島本 信二君
平山爲之助君 森 瀧昶君
森 恪君 望月 圭介君
瀨沼伊兵衛君 砂田 重政君
鈴木 隆君 菅原 傳君
隅田 豐吉君 猪野毛利榮君
第二讀會ヲ開クヘカラストスル議員ノ氏
名左ノ如シ

石塚 三郎君 石黒大次郎君
飯塚春太郎君 井本 常作君
井上 利八君 一柳仲次郎君
橋本 喜造君 原 脩次郎君
服部 英明君 土生 彰君

名左ノ如シ

服部 英明君 土生 彰君

早速 整爾君 濱口 雄幸君
 西 英太郎君 本田 恒之君
 戸井 嘉作君 戸田 由美君
 戸澤氏十郎君 富田幸次郎君
 中馬 興丸君 大津淳一郎君
 大島 要三君 大里廣次郎君
 小野 重行君 岡本實太郎君
 奥村 千藏君 片岡 直温君
 川崎 克君 神谷 彌平君
 神田 正雄君 神部 爲藏君
 加藤政之助君 加藤 鯛一君
 加藤 六藏君 加藤十四郎君
 河野 正義君 河野 曉君
 河波荒次郎君 金澤安之助君
 金田平兵衛君 横山勝太郎君
 横山金太郎君 吉原 義雄君
 吉田 磯吉君 高木益太郎君
 高木 正年君 高田 稔平君
 頼母木桂吉君 武内 作平君
 武富 濟君 田中 万逸君
 田中 善立君 建部 遷吾君
 谷口宇右衛門君 谷口源十郎君
 俵 孫一君 中原徳太郎君
 中野 寅吉君 中野 正剛君
 中野 實君 永田善三郎君
 永井柳太郎君 村上 國吉君
 村上紋四郎君 村山喜一郎君
 村松龜一郎君 紫安新九郎君
 室木彌次郎君 生方 大吉君
 内ヶ崎作三郎君 野村 嘉六君
 黒田重兵衛君 工藤 鐵男君
 栗延敬太郎君 八並 武治君
 山宮 藤吉君 山田 又司君
 山田 助作君 山田 道兒君
 山口 嘉七君 山本 勝次君
 山本 厚三君 山本 儀重君
 松井 郡治君 松本 忠雄君
 松田 三徳君 丸山 五郎君
 町田 忠治君 古屋 慶隆君

深井 功君 隆旗元太郎君
 藤澤幾之輔君 藤井 敬慎君
 福田 五郎君 小島 謹作君
 小寺 謙吉君 小山 松壽君
 小池 仁郎君 木槍三四郎君
 近藤重三郎君 紺野九右衛門君
 寺島 權藏君 手代木隆吉君
 淺賀長兵衛君 淺川 浩君
 青木知四郎君 蟻川五郎作君
 荒井 建三君 安達 謙藏君
 作間 耕逸君 佐竹 庄七君
 佐藤 實君 佐藤球三郎君
 齋藤 隆夫君 齋藤太兵衛君
 齋藤仁太郎君 齋藤 金吾君
 柘瀬車之佐君 澤田 利吉君
 木村小左衛門君 由谷 義治君
 三木 武吉君 三橋四郎次君
 宮崎松次郎君 箕浦 勝人君
 斯波 貞吉君 清水留三郎君
 信太儀右衛門君 鹽田 團平君
 下元流之助君 重松 重治君
 廣瀬 徳藏君 平沼 亮三君
 平川松太郎君 平野 光雄君
 平井光三郎君 樋口 秀雄君
 比佐 昌平君 森田 茂君
 望月小太郎君 栗山 博君
 關矢 孫一君 關 俊吉君
 鈴置倉次郎君 鈴木富士彌君
 杉浦 武雄君 菅原 英伍君
 菅村 太事君 井出繁三郎君
 池田 龜治君 池田 泰親君
 禱 苗代君 原 夫次郎君
 原田藤次郎君 原田佐之治君
 原田 十衛君 本多貞次郎君
 星 廉平君 堀 喜幸君
 富田應之助君 床次竹二郎君
 東郷 實君 千葉宮次郎君
 陣 軍吉君 沼田嘉一郎君
 折原巳一郎君 小島 善作君

小川郷太郎君 小野 寅吉君
 大園榮三郎君 大石 大君
 大藤 唯男君 大城幸之一君
 奥野小四郎君 川原 茂輔君
 加藤鎌五郎君 柏田 忠一君
 兼田 秀雄君 金光 庸夫君
 神村 吉郎君 吉松 忠敬君
 高見 之通君 高木第四郎君
 丹下茂十郎君 田中 隆三君
 田口 文次君 津崎 尙武君
 中林 友信君 中村四郎兵衛君
 中村啓次郎君 中村 嘉壽君
 中山 貞雄君 長峰 與一君
 植場 平君 上原 好雄君
 浦野 謙朗君 則元 由庸君
 野村治三郎君 熊谷五右衛門君
 藏園三四郎君 栗林 五朔君
 八木 逸郎君 前田房之助君
 牧山 耕藏君 松浦五兵衛君
 松田 源治君 丸山 浪彌君
 福井 甚三君 麓 純義君
 小橋 一太君 兒玉 實良君
 寺田 市正君 榑田清兵衛君
 櫻内 幸雄君 佐藤 重遠君
 宜保 成晴君 三輪市太郎君
 宮島幹之助君 志波安一郎君
 志村清右衛門君 清水市太郎君
 清水 長郷君 平田民之助君
 森田 政義君 森 肇君
 元田 肇君 石川長右衛門君
 林田龜太郎君 坂東幸太郎君
 馬場 義興君 富永孝太郎君
 岡田 温君 堤 清六君
 長岡 外史君 永田新之允君
 野原種次郎君 山口 政二君
 増田 義一君 松山兼三郎君
 小屋 光雄君 佐々木安五郎君
 佐々木平次郎君 佐藤 潤象君
 清瀬 一郎君 湯淺 凡平君

關 直彦君 千葉 三郎君
 鷲野米太郎君 小林 彌七君
 井上 雅二君 堀田義次郎君
 岡田 忠彦君 太宰 孫九君
 高島 兵吉君 成田 榮信君
 菊池謙二郎君

○議長(粕谷義三君) 次ニハ日程第一乃至第二十一ニ付テ採決ヲ致シマス、即チ政府提出所得稅法中改正法律案外二十件ノ第二讀會ヲ開クヘシトスル諸君ノ起立ヲ求メマス

(賛成者 起立)
 ○議長(粕谷義三君) 起立多數デアリマス

(拍手、發言スル者多シ)
 ○議長(粕谷義三君) 静肅ニ願ヒマス——起立多數デアリマス、仍テ本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○作間耕逸君 政府提出所得稅法中改正法律案外二十件、即チ日程第一乃至第二十一ノ各議案、及床次竹二郎君外二十三名提出、市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案、即チ日程第二十四ノ議案ヲ一括シテ、直ニ其第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(異議ナシ)「賛成」ト呼ビ拍手起ル

○議長(粕谷義三君) 作間君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ政府提出所得稅法中改正法律案外二十件、及床次竹二郎君外二十三名提出、市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案

律案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

所得稅法中改正法律案 第二讀會

大正九年法律第十二號中改正法律案所得稅法ノ施行ニ關スル件 第二讀會

地租條例中改正法律案 第二讀會

明治三十七年法律第十二號中改正法律案(地租徵收ニ關スル件) 第二讀會

營業稅法廢止法律案 第二讀會

營業收益稅法案 第二讀會

資本利子稅法案 第二讀會

相續稅法中改正法律案 第二讀會

通行稅法廢止法律案 第二讀會

酒造稅法中改正法律案 第二讀會

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案 第二讀會

麥酒稅法中改正法律案 第二讀會

醬油稅則廢止法律案 第二讀會

自家用醬油稅法廢止法律案 第二讀會

織物消費稅法中改正法律案 第二讀會

賣藥稅法廢止法律案 第二讀會

骨牌稅法中改正法律案 第二讀會

清涼飲料稅法案 第二讀會

大正九年法律第五十一號中改正法律案(朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル件) 第二讀會

地方稅ニ關スル法律案 第二讀會

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件) 第二讀會

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案 第二讀會

○議長(粕谷義三君) 別ニ討論ノ通告モアリマセヌカラ、直ニ採決ヲ致シマス、此採決ノ順序ニ付テ一言致シマス、採決ノ順序ハ先ヅ政府案ヲ採リマス、次デ床次君外二十三名提出案ニ付テ採決ヲ致シマス、即チ政府案中、日程第三ノ地租條例中改正法律案、及日程第二十一ノ明治四十一年法律

第三十七號中改正法律案、此兩案ニ對シマシテハ委員長ノ報告ハ修正デアリマス、他ハ總テ可決デアリマス、故ニ先ヅ前ノ兩案ノ修正ヲ一括シテ採決ヲ致シマス、兩案ノ委員長報告ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕

○議長(粕谷義三君) 起立多數デアリマス(拍手) 仍テ兩案ノ其他ノ部分ハ原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案共委員長ノ報告ノ通り修正議決致シマシタ(拍手) 其他ノ政府提出ノ各案ハ、委員長ノ報告ハ可決デアリマス、之ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ其通りニ決シマシタ、是ニテ政府案ノ第二讀會ヲ終リマシタ、次ニ床次竹二郎君外二十三名提出、市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案、委員長ノ報告ハ修正デアリマス、此委員長ノ報告ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕

○議長(粕谷義三君) 起立多數デアリマス(拍手) 仍テ本案ハ委員長報告ノ通り修正議決致シマシタ、是ニテ總テ第二讀會ハ修了致シマシタ

○作間耕逸君 只今第二讀會ヲ通過シタル各議案ヲ一括シテ、直ニ其第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 作間君ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

所得稅法中改正法律案外二十件 第三讀會

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案 第三讀會

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 別ニ御異議ナシト認メマス、仍テ採決ヲ致シマス、政府案二十一件ハ第二讀會議決ノ通り賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕

○議長(粕谷義三君) 起立多數デアリマス(拍手) 仍テ政府案二十一件ハ何レモ第二讀會議決ノ通り可決確定致シマシタ(拍手) 最後ニ床次竹二郎君外二十三名提出、市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案ハ第二讀會議決ノ通り、即チ委員會修正ノ通り御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ第二讀會議決ノ通り可決確定致シマシタ(拍手) 是ニテ全部議了致シマシタ(拍手起リ) 萬歲ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ報告致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時二十五分散會